



中尾佐助文献・資料総目：照葉樹林文化論の源流

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-08-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/14561">http://hdl.handle.net/10466/14561</a>

照葉樹林文化論の源流

# 中尾佐助文献・資料総目

大阪府立大学総合情報センター



照葉樹林文化論の源流

# 中尾佐助文献・資料総目

大阪府立大学総合情報センター

表紙写真：O.F.H.E. (大阪府立大学東北ネパール学術調査隊 1962年)  
撮影：中尾 佐助  
スライド番号 N62-24-7

## 『中尾佐助文献・資料総目』の刊行にあたって

中尾佐助先生の最終講義は1980年2月に本学農学部で行われた。その記録を見ると、照葉樹林文化の着想は1952年の最初のネパール行の終わり近く、眼下の夕闇迫るカトマンズ盆地奥に、黒々と浮かぶ森を認めてからであるという。常緑カシの照葉樹林帯であったが、これが東ヒマラヤに続き、中国南部から日本南部まで続く東アジア温帯の大構造であるという認識に、即座に思い至ったという。このエピソードは、中尾史観の雄大さと足腰の確かさを物語っている。しかしまた同時に、中尾先生はその照葉樹林帯に共通するさまざまな食文化要素などにも精緻な観察の目を注ぎ、エッセイスト・クラブ賞にも示された筆力をもって、学会やジャーナリズムを賑わせたのである。今日、中尾先生の照葉樹林文化論は日本や東アジアの基層文化の重要なセクターとしての地位を獲得している。

本目録すなわち『中尾佐助文献・資料総目―照葉樹林文化論の源流』は、多方面にわたる中尾先生の知的世界を証言する著書・論文等や各種オリジナル資料、研究用資料その他を、生前の先生ご自身がなされた仕分けの大綱を踏まえて、作成したものである。

植物分類学者でもあった先生晩年の著書『分類の発想』は、生物が繁殖や栄養摂取の上で自他を区別する機構を内蔵することに着目して、そういう機構に基づく生理的分類が生物個体のアイデンティティに関係するという、きわめて意欲的な見方を提示している。とりわけ人間は複雑なアイデンティティを発達させて、中尾先生流に言えば頭脳的分類機能をもつようになったのである。かつてフランシス・ベーコンが全学問の基礎に博物学を据えたのも、博物学の手法である分類という思想が人間のもっとも根源的な知的行為になっているのを見抜いたためだが、それも中尾先生にいわせればきっと人間の知も生理的分類機構を引き継いで発達したためであると付記するだろう。もともと類に「分ける」という行為の「分」は刀で切り分ける象形文字でもある。その結果、人間には「分別」が生じ、知を持つようになったといえるのである。

中尾先生はそういう分別をもってしても、なお図書分類一般の困難さは十分認識していたようである。数百万種程度である生物の種類にくらべて、図書の種（これを中尾先生はタクソンという分類単位で呼んでいる）は数千万のオーダーで一桁は多いはずだとしている。生態学とか植物学とか、伝記、小説とか類型区分を細かくして区分を数字化するのが10進法の分類方法だが、まだ類型分類である限り、生物分類学でいう「本草学の段階」にあると書いている。つまり中国の『本草綱目』の体系だといわれたら、異議を唱えるライブラリアンも出てくるであろう。この小さな目録は、期せずして中尾式類型分類を踏襲した一例になっている。われわれは中尾先生のスライド分類のコード化にも興味をもった。連想で時間的に記憶を甦らせやすいように、たとえば「N76-26-23」という番号をふっているのである。NはNAKA0、76は1976、26はその年のフィルム番号、23は36枚撮りのコマ数なのである。中尾先生の合理性は見事にこうした細部にも現れている。

本目録は中尾先生の仕事の種目や範囲を十分に伝えてくれるであろうが、これを手引きにして直接先生の書かれたものをぜひ読んでもらいたい。その上でなお中尾佐助という人の息づかいを聞こうと思ったら、本学総合情報センター地下1階にある中尾佐助コーナーに足を運んで頂きたい。陳列台には、いくつかの腊葉標本、博士論文とともに、探検先の

ブータンから、もう旅費もなくなってお土産は買えない、などというような家人に宛てた手紙も並んでいる。探検地域の地図もあるから、それをなぞることもできる。なによりも中尾文化論の知のマシーンになった全蔵書が、ここに総記・哲学などと分類されて配架されているのである。どの1冊でも自由に手にとってみられるし、一般図書同様、借りることもできる。しばらくここで知的散歩を試みれば、書齋における1人の知的営みの全容を支えた資料が、一見カオスのようでありながら秩序あるコスモスを創っていたのだ、ということが実感できるだろう。

本学としても最初の書誌・目録となるこの『中尾佐助文献・資料総目』の刊行に至るまでには、多くの人々のご協力とご好意に与ってきた。まず先生のご遺族で本学総合科学部におられる平木康平教授のお申し出により、貴重な中尾先生の学術的な遺品の一切が総合情報センターに寄贈されたのが始まりである。研究資料などの多くについては、農学部の保田淑郎名誉教授が率先して仕分けに協力して頂いた。本学主催の講演会では、前国立民族学博物館長の梅棹忠夫先生に貴重な講演をして頂いた。先生のご好意で、本目録に「中尾佐助との交遊」が掲載されている。またスライド映写を含むコレクション展は、多くの見学者を集め、マスコミにも大きく報道され、このような世間の強い関心が当総合情報センターの整理作業を支えてくれた。とりわけ村田製作所の3年にわたる研究奨励寄付金がこの作業を現実に推進する力になっている。またこれがはずみになって、学内に照葉樹林文化研究会が組織された。すでに2回の研究発表会が行われ、またこれがきっかけになって日本生命財団の援助による新たな共同研究も展開中である。学問的なコレクションになるためには、十分な研究の裏打ちがなければならないが、この願いも叶えられるであろう。そのためにも今後の一層の研究の深化が期待されている。

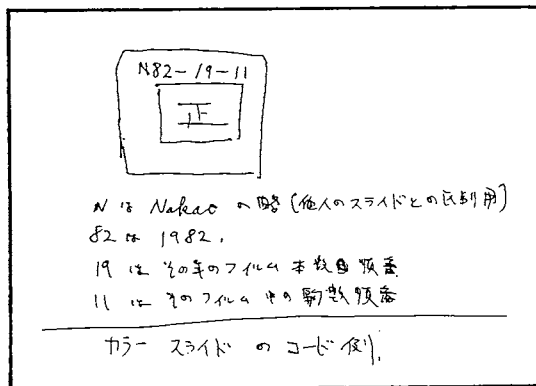
本目録はそのような流れの中で纏められたものである。著書を除く雑誌・新聞その他のフルテキストを全6部だけ製本した『中尾佐助著述彙編』は純粋な内部資料であったが、今回の『中尾佐助文献・資料総目』は広く流布して活用して頂くのが狙いである。スライド資料等の電子メディア化も現在検討が進められている。これまでの関係各位のご好意に深く感謝するとともに、本学としてもさらに一層の努力を重ねて、より充実したコレクションにするようにしていきたいものである。

平成9年3月

大阪府立大学総合情報センター  
所長 金子 務

## <目次>

『中尾佐助文献・資料総目』の刊行にあたって	3
略年譜・海外探検調査歴	7
梅棹忠夫「中尾佐助との交遊」	11
中尾佐助文献・資料総目	21
凡例	23
第1部 文献目録	25
1. 著書（共著及び単著）	25
2. 分担執筆（図書の一部負担）	27
3. 新聞・雑誌・その他（記事、エッセイ、書評、対談、講演等）	35
第2部 オリジナル資料	69
1. スライド	69
2. スクラップブック	71
3. 遠征アルバム	73
4. 記録ノート	75
5. フィールドノート	76
6. 写真パネル	78
7. 写真ネガ	79
8. 8ミリテープ	80
9. 録音テープ	81
10. 地図・計画書類	82
第3部 研究用資料	84
A. 著作原稿（手書き、コピー、ゲラ、タイピング原稿等）	84
B. 著作関連資料（メモ、資料、文献、写真等）	91
C. 調査・学会関連資料（調査資料、チャート、ノート類）	97
D. 講演等関連資料（シンポジウム、対談、速記録、講演要旨集、プログラム等）	100
E. メモ・素案・図等（原図、ノート、チラシ、メモ等）	103
F. TV・ラジオ台本	106
G. 海外遠征関連資料（調査概要、計画書、資料、文献、パッキングリスト等）	111
H. 地図・チャート（書込みのある地図、手書きチャート類）	114
I. その他一般的資料（メモ、通信文等）	117
J. その他個人的資料（手紙、日記、アルバム等）	120
第4部 参照資料	121
P. 農耕・植物関連	121
Q. 食文化関連	125
R. 山・登山関連	127
S. ネパール・ブータン関連	129
T. その他	131
タイトル索引	135
あとがき	159



カラー・スライドのコード例 原図



## 略年譜

(年齢は満年齢による)

大正 5年(1916)		8月12日	愛知県豊川市金屋町に生まれる
昭和 10年(1935)	19歳	4月 1日	第八高等学校(理科甲類)入学
13年(1938)	22	3月31日	第八高等学校(理科甲類)卒業
14年(1939)	23	4月 1日	京都帝国大学農学部(農林生物学科)入学
16年(1941)	25	12月31日	京都帝国大学農学部(農林生物学科)卒業, 農学士 京都帝国大学農学部(応用植物学講座)副手
17年(1942)	26	2月 1日	臨時召集(陸軍中部62部隊)
		5月11日	召集解除(歩兵二等兵)
		5月15日	財団法人木原生物学研究所嘱託
19年(1944)	28	7月25日	善隣協会西北研究所所員兼務
20年(1945)	29	4月25日	臨時召集(陸軍15604部隊)
		10月10日	復員(歩兵一等兵)
		10月31日	善隣協会西北研究所所員辞職 財団法人木原生物学研究所副所員
23年(1948)	32	10月19日	稲垣和子と結婚
24年(1949)	33	5月31日	京都大学農学部副手辞職 浪速大学農学部(遺伝育種学講座)講師
		10月 1日	長女百合子誕生
26年(1951)	35	4月 1日	浪速大学農学部助教授
27年(1952)	36	3月 6日	次女麻里子誕生
30年(1955)	39	4月 1日	浪速大学大学院農学研究科修士課程(園芸学) 授業分担
35年(1960)	44	6月20日	著書『秘境ブータン』について日本エッセイストク ラブより第8回エッセイスト・クラブ賞受賞
36年(1961)	45	4月 1日	大阪府立大学農学部教授(浪速大学は昭和30年 9月より大阪府立大学に名称変更される)

昭和 37年(1962)	46歳	3月31日	主論文「Studies on the taxonomy, origins and transmittance of the crops in the Sino-Himalayan range」により京都大学から農学博士の学位を授与される
		11月 3日	昭和37年度なにお賞受賞（文化振興につくした業績）
40年(1965)	49	4月 1日	大阪府立大学農学部附属農場長（兼務） 大阪府立大学農学部大学院農学研究科博士課程授業 分担および同修士課程担当
44年(1969)	53	3月31日	大阪府立大学農学部附属農場長（兼務）辞任
45年(1970)	54	4月 1日	大阪府立大学農学部大学院農学研究科博士課程担当 （兼務）
49年(1974)	58	3月 6日	妻和子逝去
51年(1976)	60	8月 1日	大阪府立大学評議員
53年(1978)	62	9月15日	国立民族学博物館評議員
55年(1980)	64	3月31日	大阪府立大学農学部教授を停年退職
		4月 2日	鹿児島大学教授（水産学部附属水産実験所） 鹿児島大学南方地域総合研究センターに配置換 鹿児島大学南方地域総合研究センター長
56年(1981)	65	4月 1日	鹿児島大学南方海域総合研究センター配置換 鹿児島大学南方海域総合研究センター長事務取扱
		8月 1日	鹿児島大学南方海域総合研究センター長
57年(1982)	66	4月 1日	鹿児島大学南方海域総合研究センター教授を停年退官
62年(1987)	71	4月 1日	著書『花と木の文化史』について毎日新聞社出版文化 化賞受賞
平成 元年(1989)	73	11月 3日	正四位勲三等旭日中綬章受章
2年(1990)	74	3月12日	第26回秩父宮記念学術賞受賞（栽培植物と農耕の起源 に関する文化複合の民族植物学的研究）
5年(1993)	77	11月20日	京都市北区紫野西野町に歿す 京都嵯峨野天龍寺三秀院墓地に眠る 法名 樹学佐助居士

## 海外探検調査歴

昭和 14年(1939)	7～ 8月	23歳	西部小興安嶺 [京都大学旅行部]
15年(1940)	7～ 8月	24	朝鮮北部狼林山脈 [京都大学旅行部]
15年(1940)	12月～		カラフト [京都大学旅行部]
16年(1941)	1月		
16年(1941)	7～10月	25	ミクロネシア [京都大学探検地理学会]
18年(1943)	9～11月	27	東部小興安嶺 [満州国軍小興安嶺調査隊]
19年(1944)	9月～	28	内蒙古 [蒙古善隣協会西北研究所]
20年(1945)	2月		
27年(1952)	8～12月	36	ネパール [日本山岳会マナスル踏査隊]
28年(1953)	2～ 9月	37	ネパール [日本山岳会マナスル登山隊科学班]
30年(1955)	4～ 9月	39	パキスタン [京都大学カラコルム・ヒンズークシ探検隊]
33年(1958)	6～11月	42	ブータン [個人調査]
34年(1959)	9～12月	43	シッキム, アッサム [ロックフェラー財団助成]
37年(1962)	4～ 9月	46	東ネパール [大阪府立大学東北ネパール学術調査隊]
43年(1968)	1～ 3月	52	西アフリカ [京都大学大サハラ学術探検隊] (ガーナ, 象牙海岸, マリー, ニジェール, ダホメイ, ナイジェリア, カメルーン, チャド, スーダン, エチオピア)
51年(1976)	5月	60	西ヨーロッパ [個人調査] (フランス, スイス, ドイツ, オランダ, 連合王国)
51年(1976)	12月～		東南アジア [日本科学協会助成]
52年(1977)	1月		(タイ, マレーシア, シンガポール, インドネシア)
52年(1977)	3月	61	地中海地域 [個人調査] (スペイン, イタリア, ギリシャ, トルコ)
	5月		中国 [中国政府招待]
53年(1978)	8～ 9月	62	ソビエト連邦 [国際遺伝学会]
	11～12月		東南アジア [文部省科学研究費] (タイ, マレーシア, インドネシア)
55年(1980)	8～ 9月	64	パプア・ニューギニア, ソロモン [文部省科学研究費]
56年(1981)	1～ 2月	65	インド, ネパール [個人調査]
	3～ 4月		南太平洋 [個人調査] (ハワイ, フィジー, パプア・ニューギニア)
	10月		ブータン [個人調査]
56年(1981)	12月～		フィジー [鹿児島大学南方海域研究センター・オセア
57年(1982)	1月		ニア海域における水陸総合学術調査隊]
59年(1984)	8月	68	中国雲南省麗江 [個人調査]

照葉樹林文化	その他の近接文化
--------	----------

~~ワラビ~~

~~サトウ~~

コンニャク

ヤマノイモ

レン

カイコ

△クロジ

ウルシ

クサ

ミカン

ヤマモモ

ビワ

Alnus

~~Alnus macrocarpa~~

A. campanulata

D. alata

ツルシ

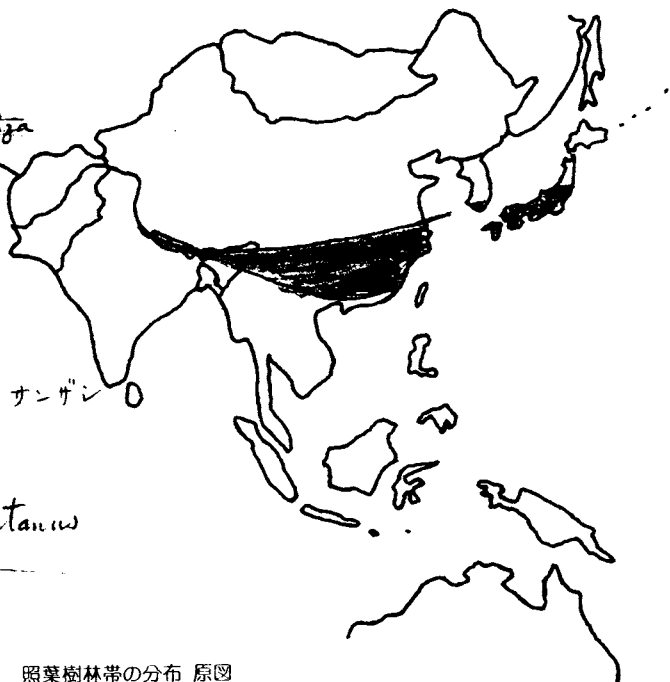
タハ

Acacia sp.

モモ, ナシ, ナツメ, サンザシ

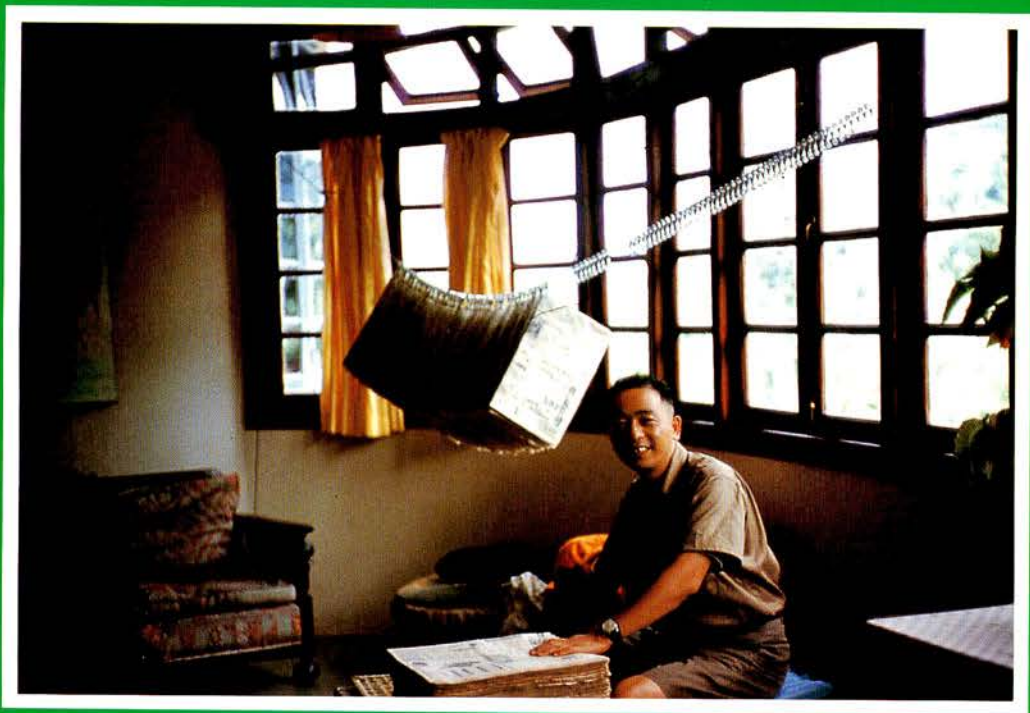
バナナ, マンゴー

Salix, Populus, Platanus

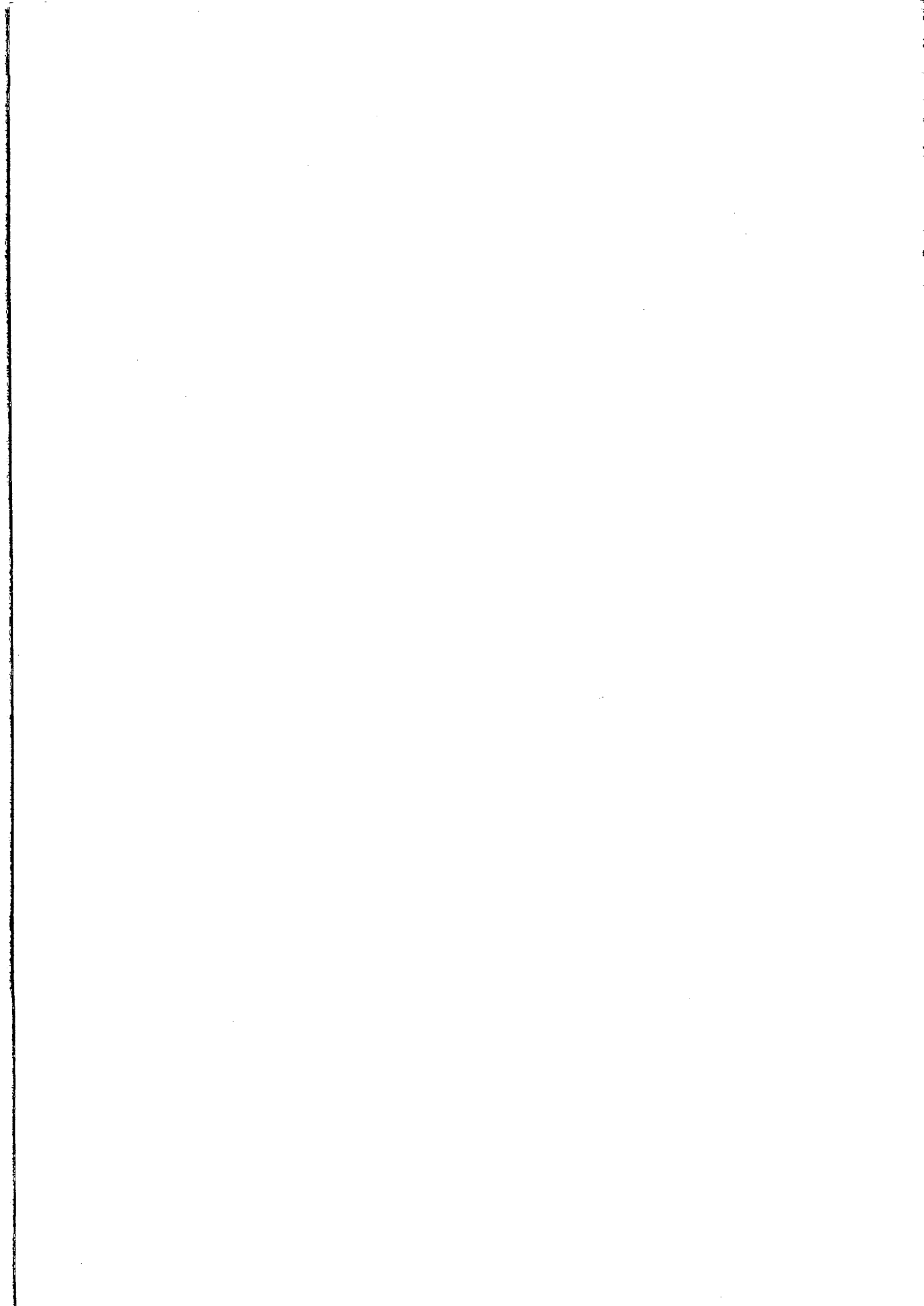


照葉樹林帯の分布 原図

## 中尾佐助文献・資料総目



採集した植物標本を整理中の中尾先生。単独でブータンに入る直前に滞在したシッキムのカーリンボンにて。(1958)



# 凡 例

## 1. 収録範囲

1997年2月末日までに確認できた中尾佐助先生の全文献、および総合情報センターに寄贈された研究関連の資料類を収録した。ただし、本学図書館システムに登録済みの中尾先生旧蔵書（図書約3,500冊・雑誌約60誌）は、本目録からは除いた。

## 2. 収録件数

文献 658件、オリジナル資料 121件、研究用資料 273件、参照資料 118件、  
計 1,170件

## 3. 目録の構成と排列

### (1) 第1部 文献目録

- ① 「中尾佐助教授退官記念号目録集：略歴・海外探検調査歴・著作目録」（『鹿児島大学南海研紀要』 3巻2号 1983 pp.3-22）の編成法に準拠して、著書、分担執筆、新聞・雑誌・その他の3つのカテゴリーに区分し、文献の発表年順にまとめた。

### (2) 第2部 オリジナル資料

- ① スライド、フィールドノートなど探検・調査で収集された研究の原資料を収録した。
- ② 資料形態別に区分し、記録された年代順で排列した。

### (3) 第3部 研究用資料

- ① 手稿、メモ、原図、講演要旨など研究の記録となる資料および研究に使用された関連文献・資料等を収録した。
- ② 研究活動の種類別または資料形態別に区分し、整理順に排列した。

### (4) 第4部 参照資料

- ① 中尾先生が研究過程で参照されたとと思われる資料を収録した。
- ② 関連分野別に区分し、整理順に排列した。

#### 4. 記載事項

目録の記載事項は下記の順とした。

- (a) タイトル
- (b) 共著者
- (c) 収載資料
- (d) 巻号
- (e) 収載資料の著者
- (f) 出版者
- (g) 出版年
- (h) 頁・数量
- (i) 注記
- (j) 請求記号

##### (1) 第1部 文献目録

- ① 新聞記事等で中尾先生が付けられたタイトル以外に、出版者による包括的な見出しがある場合は、タイトルの後に、丸括弧を付けて記載した。
- ② 共著者がある場合には、「中尾佐助著」も記載した。
- ③ 現時点で未入手の文献（4点）については、(j)請求記号の位置に「\*」を付した。

##### (2) 第2部 オリジナル資料

- ① (a)タイトル、(h)頁・数量（冊数）、(i)注記、(j)請求記号を記載した。

##### (3) 第3部 研究用資料、 第4部 参照資料

- ① (a)タイトル、(i)注記、(j)請求記号を記載した。
- ② タイトルについては、資料の整理単位ごとに当センターで付与した。その単位に含まれる各資料についての情報は、注記に記載した。

#### 5. タイトル索引

- ① 文献および資料のタイトル、サブタイトル（主題を表すもの）、収載資料のタイトルを収録した。また、注記からも中尾先生の文献タイトルを抽出した。
- ② 索引の排列は、タイトルの読みの五十音順とした。数字・アルファベットで表記されるタイトルは、数字・アルファベット順とした。
- ③ 索引中の表記で、《サ》はサブタイトル、《収》は収載資料、《オ》はオリジナル資料、《研》は研究用資料、《参》は参照資料を表す。また、頁数の前の②等は、その頁に含まれる同タイトルの文献・資料数を表す。

<記入例>	タイトル	頁
	↓	↓
	照葉樹林文化その周辺《サ》	1
	秘境ブータン	②10



## 第1部 文献目録

### 1. 著書

(単著及び共著)

1. 『秘境ブータン』 毎日新聞社 1959 315p  
第8回エッセイスト・クラブ賞授賞 1960  
292. 58/N41
2. 『ヒマラヤの花 : Living Himalayan Flowers』 毎日新聞社 1964 194p  
470. 3/N41
3. 『栽培植物と農耕の起源』 (岩波新書 青版583) 岩波書店 1966 192p  
612/N41
4. 『アジア文化探検』 (講談社現代新書 139) 講談社 1968 171p  
302. 2/N41
5. 『ニジェールからナイルへ : 農業起源の旅』 講談社 1969 200p  
612. 4/N41
6. 『照葉樹林文化 : 日本文化の深層』 上山春平編 (中公新書 201) 中央公論社  
1969 208p  
シンポジウムの参加者 : 中尾佐助, 吉良竜夫, 岡崎敬, 岩田慶治, 上山春平 (司会)  
210. 2/U51
7. 『秘境ブータン』 (現代教養文庫 727) 社会思想社 1971 289p  
もとの出版は毎日新聞社(1959)  
292. 58/N41
8. 『料理の起源』 (NHKブックス 173) 日本放送出版協会 1972 225p  
596/N41
9. 『続・照葉樹林文化 : 東アジア文化の源流』 上山春平, 佐々木高明, 中尾佐助著  
(中公新書 438) 中央公論社 1976 238p  
389. 2/U51
10. 『栽培植物の世界』 (自然選書) 中央公論社 1976 250p  
615/N41
11. 『現代文明ふたつの源流 : 照葉樹林文化・硬葉樹林文化』 (朝日選書 110)  
朝日新聞社 1978 228p  
290. 1/N41
12. 『日本文化の系譜 : 照葉樹林文化とその周辺』 中尾佐助, 上山春平著 (対論 3)  
徳間書店 1982 271p  
210. 04/N41

## 1. 著書

13. 『ブータンの花 : Flowers of Bhutan』 中尾佐助, 西岡京治著 朝日新聞社 1984  
145p  
472. 25/N41
14. 『稲作文化 : 照葉樹林文化の展開』 上山春平, 渡部忠世編 (中公新書 752)  
中央公論社 1985 230p  
シンポジウム参加者 : 中尾佐助, 渡部忠世, 佐々木高明, 谷泰, 上山春平 (司会)  
612. 2/U51
15. 『花と木の文化史』 (岩波新書 黄版357) 岩波書店 1986 216p  
毎日新聞社出版文化賞授賞 1987  
627/N41
16. 『分類の発想 : 思考のルールをつくる』 (朝日選書 409) 朝日新聞社 1990  
331p  
116. 5/N41
17. 『照葉樹林文化と日本』 中尾佐助, 佐々木高明著 (フィールド・ワークの記録 3)  
くもん出版 1992 241p  
612. 2/14
18. 『農業起源をたずねる旅 : ニジェールからナイルへ』 (同時代ライブラリー 150)  
岩波書店 1993 226p  
『ニジェールからナイルへ : 農業起源の旅』 (講談社 1969) の改題  
612. 4/N41

## 2. 分担執筆

(図書の一部分担)

1. 「採種及び種子貯蔵」 『農学講座』 第5巻 柏葉書院 1949 pp. 151-205
2. 「Ecological notes」 『Fauna and flora of Nepal Himalaya : Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. 2 H. Kihara (ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1955 pp. 278-290  
図版22枚  
462. 258/KI17
3. 「植物個体群の変異について」 中尾佐助, 山下孝介著 『集団遺伝学』 駒井卓, 酒井寛一編 培風館 1956 pp. 246-259
4. カラコラム (中尾佐助撮影写真13枚) 『世界大百科事典』 Vol. 6 平凡社 1956  
031/HE4
5. 「Agricultural Practice」 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956  
pp. 95-107  
グラビア29p (写真58枚)
6. 「Agriculture Improvement」 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956  
pp. 109-113
7. 「Grain Amaranths」 (with J. Sauer) 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 141-146
8. 「Chilli」 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 191-192
9. 「Barley」 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 313-343
10. 「Wheat」 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 345-353  
グラビア5p (写真10枚)
11. 「Oats」 (with S. Mori) 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara (ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 355-361

## 2. 分担執筆

12. 「*Hordeum brevisubuatatum* Link」 (with T.Yabuno) 『Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. II H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 363-364
13. 「Transmittance of Cultivated Plants through the Sino-Himalayan Route」 『Peoples of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953』 Vol. III H. Kihara(ed.) Fauna and Flora Research Society, Kyoto University 1956 pp. 397-420
14. 「中央アジアの植物界」 『世界文化地理体系 8 中央アジア』 平凡社 1958 pp. 12-16  
290/SE49
15. 「ヒマラヤの植物」 『世界文化地理体系 8 中央アジア』 平凡社 1958 pp. 16-18  
290/SE49
16. 「中央アジアとヒマラヤの栽培植物」 『世界文化地理体系 8 中央アジア』 平凡社 1958 p. 18  
290/SE49
17. 「中央アジアの動物」 『世界文化地理体系 8 中央アジア』 平凡社 1958 pp. 18-19  
290/SE49
18. 「ネパール」 (「ブータン」部分) 『世界文化地理体系 8 中央アジア』 平凡社 1958 pp. 68-71  
290/SE49
19. 「秘境ブータン」 『世界の旅 Vol. 2 インドから熱砂の国へ』 中央公論社 1962 pp. 221-250  
290. 9/094
20. 「稲・麦の起源」 『古代史講座』 Vol. 2 学生社 1962 pp. 242-251  
209. 3/I78
21. 「アッサム地方」 『世界地理風俗体系 Vol. 11 インド半島』 誠文堂新光社 1963 pp. 125-133  
290. 8/SE49/11
22. 「ヒマラヤの生物」 『世界地理風俗体系 Vol. 11 インド半島』 誠文堂新光社 1963 p. 325  
290. 8/SE49/11
23. 「ネパール」 『世界地理風俗体系 Vol. 11 インド半島』 誠文堂新光社 1963 pp. 326-347  
290. 8/SE49/11

24. 「ブータン」 『世界地理風俗体系 Vol.11 インド半島』 誠文堂新光社 1963  
pp. 348-361  
290. 8/SE49/11
25. 「生物学」 『アジア・アフリカ地域研究のあり方についてのシンポジウム（スワヒリ語地域を中心に）記録』 日本学術会議アジア・アフリカ研究特別委員会 1963  
pp. 4-5  
開催：於大阪外国語大学, 1962. 9. 29
26. 「Maize from Afghanistan and Karakoram」 (with Y. Sofue) 『Results of Kyoto Univ. Sci. Expedition to the Karakoram and Hindukush 1955』 Vol. I  
The Committee of the Kyoto University Scientific Expedition to the Karakoram and Hindukush 1965 pp. 176-182
27. 「Millet from Afghanistan and Karakoram」 (with T. Matsumoto & T. Tanaka)  
『Results of Kyoto Univ. Sci. Expedition to the Karakoram and Hindukush 1955』  
Vol. I 1965 pp. 183-186
28. 「農業起源論」 『自然：生態学的研究』 森下正明, 吉良竜夫編 中央公論社  
1967 pp. 329-494  
今西錦司博士還暦記念論文集  
612/145
29. 「人類生活とイネ」 『大日本百科事典』 2 小学館 1968 pp. 245-246  
「イネ」の一部を分担
30. 「秘境ブータン」 (部分収載) 『世界冒険シリーズ』 1 山王書房 1968  
pp. 127-239  
290. 9/F32
31. 「米, 酒, すし：食生活」 上山春平司会, 篠田統, 中尾佐助対談  
『シンポジウム日本と東洋文化』 新潮社 1969 pp. 195-208  
122. 04/U51
32. 「スーダンの農耕文化とヤム・ベルト」 『大サハラ』 山下孝介編 講談社 1969  
pp. 104-115  
内4pグラビア  
294. 35/Y44
33. 「Meconopsis Vig. メコノプシス属」 『最新園芸大辞典』 Vol. 4 誠文堂新光社  
1969 pp. 1650-1652  
620. 3/SA22/4
34. 「Rhododendron L. シャクナゲ属」 『最新園芸大辞典』 Vol. 5 誠文堂新光社  
1970 pp. 2320-2333  
620. 3/SA22/5

## 2. 分担執筆

35. 「高山の花」 『高山の花：高山植物写真図譜』 青山富士夫写真 佐竹義輔，  
中尾佐助，亙理俊次文 毎日新聞社 1971 pp. 201-216  
471. 7/5
36. 「インド亜大陸のくびとと文化：討論会第二部」 中尾佐助，梅棹忠夫，佐々木高明  
(まとめ) 『探検と冒険』 2巻 朝日新聞社 1972 pp. 35-74  
290. 9/A82/2
37. 「ヒマラヤとその周辺：討論会第三部」 中尾佐助，梅棹忠夫，谷泰，佐々木高明  
(まとめ) 『探検と冒険』 2巻 朝日新聞社 1972 pp. 75-105  
290. 9/A82/2
38. 「照葉樹林文化と稲作文化：植物栽培からみた東アジア文化論」 『探検と冒険』  
2巻 朝日新聞社 1972 pp. 158-176  
290. 9/A82/2
39. 「雲南周辺の植物探検概史」 『探検と冒険』 2巻 朝日新聞社 1972  
pp. 269-283  
290. 9/A82/2
40. 座談会「探検組織論」 中尾佐助(ゲスト)，加納一郎，泉靖一，樋口敬二，  
本多勝一，梅棹忠夫(司会とまとめ) 『探検と冒険』 3巻 朝日新聞社 1972  
pp. 411-463  
290. 9/A82/3
41. 「最後の秘境ニッポン」 『探検と冒険』 7巻 朝日新聞社 1972 pp. 107-116  
290. 9/A82/7
42. 「自然と人」 『わが思索わが風土』 (朝日選書 23) 朝日新聞社 1972  
pp. 236-250  
049/A82
43. 「栽培植物と農耕の起源」 『第29回都市銀行研修会講義集』 東京銀行協会 1974  
pp. 50-89
44. 講演「栽培植物の起源をたずねて」 『昭和49年度理科研修会研究集録』 私学研究  
福祉会. 私学教育研究所 1975 pp. 87-97
45. 「ブータン」 『万有百科大事典 10 世界地理』 小学館 1975 pp. 527-528  
031/SH95
46. Editor's Note (『Tanaka's Cyclopedic of Edible Plants of the World』)  
by Tyozaaburo Tanaka, ed by Sasuke Nakao Keigaku Pub. Co., Tokyo 1976
47. 序にかえて (『山岳 森林 生態学』加藤泰安，中尾佐助，梅棹忠夫編) 中央公論  
社 1976 pp. 1-7  
今西錦司博士古稀記念論文集 1  
グラビア1p  
468/KA86

48. 「自然と人間」 『新編現代国語 2』 (高等学校国語科用) 学校図書株式会社  
1976 pp. 116-123  
「私たちの風景」より一部再録
49. 「日本の高山植物は亜高山帯にある」 『自然と生態学者の目』 (共立科学ブックス  
35) 生態学講座編集委員会編 共立出版 1977 pp. 142-145
50. 「肉と魚の料理」 『人生読本, たべもの』 河出書房新社 1978 pp. 142-151  
『料理の起源』より一部再録  
596. 04/TA12
51. 「世界のキク」 『菊』 (エナジー対話 12) 川添登, 山田宗睦 [著]  
エッソ・スタンダード石油株式会社 1978 pp. 108-115  
380/KA98
52. 「食物と社会」 座談会 石毛直道 (司会), 中尾佐助, 大塚滋対談 『世界の食事文  
化』 ドメス出版 1978 pp. 178-206  
383. 8/I73
53. 「田園都市には小植物園を数多くつくれ」 『田園都市構想と森林』 日本林政ジャー  
ーナリストの会 1979 pp. 88-89
54. 「東南アジア農耕文化試論」 『東南アジアの農村における果樹を中心とした植物利  
用の生態学的研究』 (昭和53年度文部省科学研究費補助金による海外学術調査報告書)  
小合龍夫編 1980 pp. 82-97  
内グラビア2p  
625/Q25
55. 「文明の母胎となった農耕文化」 『冬休み朝日科学教室第12回 地球と人類の歴史』  
朝日新聞社 1980 pp. 20-26  
開催: 於第一生命ホール, 1980. 12. 26-27
56. 「食物文化史: 料理の起源について」 『昭和55年度大阪府立大学府民講座テキスト』  
大阪府立大学 1980 pp. 33-34  
開催: 1980. 10. 2  
041/64/80
57. 「ダーウィン、今西錦司と並ぶ」 (解説) 『はみだし生物学』 小松左京著  
平凡社 1980 pp. 285-288
58. 「料理の起源」 『食事の文化』 (世界の民族: ゼミナール) 朝日新聞社 1980  
pp. 130-187  
383. 8/U73
59. 「食べるということ」 『食の文化』 講談社 1980 pp. 47-79  
朝日ゼミナール講演集  
383. 8/TA16

## 2. 分担執筆

60. 「農耕の食」 『食の文化シンポジウム'80 人間・たべもの・文化』 平凡社  
1980 pp. 139-150  
383. 8/4
61. 「歌垣考」(対談) 中西進, 中尾佐助 『よみがえる平城京: 天平の生活白書』  
第5章 坪井清足監修 日本放送出版協会 1980 pp. 180-194
62. 「天平のメニュー」(対談) 中尾佐助ほか 『よみがえる平城京: 天平の生活白書』  
第6章 坪井清足監修 日本放送出版協会 1980 pp. 200-258
63. 討論「日本の茶・将来と伝播」 『シンポジウム「茶」の文化: 報告と討論の記録』  
(国立民族学博物館共同研究「茶の文化に関する総合的研究」) シンポジウム「茶  
の文化」事務局 1980 pp. 49-53  
383. 8/M072
64. 「照葉樹林のおもかげ」(1. 農耕文化の源流を訪ねて 2. アジア農耕文化に思う)  
『歴史と文明: 板倉康二郎対談集: 農耕文化と共に』 畑地農業振興会 1981  
pp. 128-146  
610. 4/H41
65. 「死の谷プナカ」 『エッセンス・オブ・エッセイ: エッセイスト・クラブ賞受賞作  
選文集』 下 日本エッセイスト・クラブ編 PHP 1981 pp. 249-255  
1960年, 第8回受賞『秘境ブータン』より  
914. 6/N71/2
66. 「作物と雑草」 『野の草: 人知れず咲きかおる季節のめぐみ』(自然読本)  
河出書房新社 1981 pp. 184-187
67. 解説(『ニューギニア高地人』本多勝一著) (本多勝一シリーズ) 本多勝一著  
朝日新聞社 1981 pp. 269-278  
389. 73/H84
68. 「植物油の文明史」 『これからの10年: 食と健康』 日本油脂協会 1982  
pp. 7-15  
日本油脂協会創立20周年記念シンポジウム  
498. 5/N71
69. 序(『オセアニア海域における水陸総合学術調査(NAV. '81) I』) 鹿児島大学南  
方海域研究センター・オセアニア海域における水陸総合学術調査隊 1982 p. 1  
文部省特定研究経費・昭和56年度研究経過報告書
70. 「パプア・ニューギニアにおける半栽培植物群について」 『東南アジア及びオセア  
ニアの農村における果樹を中心とした植物利用の生態学的研究』(昭和55年度第2次  
文部省科学研究費補助金による海外学術調査報告書) 小合龍夫編 1982 pp. 7-19  
内グラビア5p  
625/Q25
71. 「栽培植物の起源」 『医科学大辞典』 Vol. 17 講談社 1982 pp. 229-232



72. 「東アジアの農耕とムギ」 『日本農耕文化の源流：日本文化の原像を求めて』  
佐々木高明編 日本放送出版協会 1983 pp. 122-148  
『同書』（討論 中尾佐助ほか）  
① 「討論 イモ類と根栽農耕文化」 pp. 43-57  
② 「討論 雑穀の特性と農耕文化」 pp. 107-120  
③ 「討論 半栽培とシベリア・ルートとツブ酒」 pp. 149-161  
④ 「討論 稲作の展開をめぐる諸問題」 pp. 195-210  
⑤ 「討論 大家畜の伝播とブタの家畜化」 pp. 255-268  
⑥ 「討論 水田化をめぐる諸問題」 pp. 333-345  
⑦ 「討論 非稲作から稲作へ」 pp. 374-387  
⑧ 「討論 伝統的食事文化の系譜をめぐる」 pp. 415-429  
⑨ 「討論 作物起源伝承の系譜と伝播」 pp. 454-469  
⑩ 「終章 日本農耕文化源流論の展望と課題」 pp. 472-502  
612. 1/SA75
73. 「個体と集団：生物の本性をさぐる」 『あいまいさを科学する：トワイライト・カテゴリーへの招待』（ブルーボックス 556） 林知己夫，坂本賢三ほか著 講談社  
1984 pp. 125-154  
404/H48
74. 「日本の森林文化」 『森林浴のすすめ』 講談社科学図書出版部編 講談社 1984  
pp. 64-69
75. 講演「調理とは何か」，質疑応答 『食のワークショップ／2001年の調理学：“プリセッション”記録』 味の素株式会社食文化・史料室 1985 pp. 10-37  
開催：於パレスホテル，1985. 9. 13  
596. 04-A27
76. 「21世紀農耕文化の発展方向」 『21世紀と農業技術』 4 農林水産技術情報協会  
1986 pp. 38-69  
610. 1/N96/4
77. 「黄河流域の風土・文化そして生活」 中尾佐助，小松左京対談 『黄河物語』  
旺文社編 旺文社 1986 pp. 6-18
78. 「栽培植物：豊富だった古代のメニュー」 『古代技術の復権：技術から見た古代人の生活と知恵：森浩一対談集』 中尾佐助，森浩一対談 小学館 1987 pp. 246-269  
210. 02/M045
79. 「雲南に照葉樹林をたずねて」 『中国の少数民族を語る：梅棹忠夫対談集』  
中尾佐助（ゲスト），梅棹忠夫対談 筑摩書房 1987 pp. 58-79  
389. 22/U73
80. 「先農耕段階とその類型：農耕起源論と関連して」，総合討論「縄文の畑作農耕とその検証の可能性をめぐる」 『畑作文化の誕生：縄文農耕論へのアプローチ』  
佐々木高明，松山利夫編 日本放送出版協会 1988 pp. 325-344, pp. 345-383  
612. 1/SA75

## 2. 分担執筆

81. 特別講演「調理とは何か」 『二〇〇一年の調理学』 松元文子, 石毛直道共編著  
光生館 1988 pp. 3-11  
596/MA81
82. 「自己体験からみた花と緑の文化」 特別講演『第1回花の万博国際シンポジウム・  
花とひと：花と木の文化史』 開隆堂出版 1988 pp. 52-59  
「花と木の文化史」特別講演  
606. 9/4/1
83. 「朝市」, 「石蒸し料理」 『オセアニア物語』 鹿大南海研センター めこん  
1989 pp. 90-91, pp. 134-135  
302. 7/KA19
84. 解説(『アジア食文化の旅』大村次郷著) (朝日文庫) 朝日新聞社 1989  
pp. 236-243  
383. 8/064
85. 「自然と人」 『史話日本の歴史 1 日本の源流を探る：縄文弥生文化』 作品社  
1991 pp. 132-145  
『わが思索わが風土』(朝日新聞社 1972)より再録
86. 「江戸期の花卉園芸文化」 『史話日本の歴史 18 元禄の美と粋：町人文化の勃興』  
作品社 1991 pp. 159-164  
『花と木の文化史』(岩波書店 1986)より再録
87. 鼎談「乳食文化の系譜」 石毛直道, 谷泰, 中尾佐助, 和仁皓明司会 『乳利用の民  
族誌』 石毛直道, 和仁皓明編著 中央法規出版 1992 pp. 267-293  
648. 1/Y97
88. 「民族植物学と文化複合」 『海外の学術調査 1 アジアの自然と文化』 中尾佐助  
ほか著 日本学術振興会 1993 pp. 1-14  
292/N41

## 3. 新聞・雑誌・その他

(記事、エッセイ、書評、対談、講演等)

1. 「ゴビとマンハ」 『学芸』 No. 30 秋田屋 1947 pp. 38-40
2. 「骨うらなひ：蒙古族の奇習」 『学芸』 No. 34 秋田屋 1947 pp. 10-11
3. 「中国周辺山岳地帯の農耕文化類型について：苡麦とそのなかまの穀物」 『学芸』 No. 37 秋田屋 1947 pp. 5-10
4. 「ダルハン・オーラ」 『岳人』 No. 3 岳人社 1947 pp. 18-21, 33(とびページ)
5. 「日本とチベットの大麦」 『Saiensu』 No. 3 秋田屋 1947 pp. 1-5  
本文はローマ字表記
6. 「大麦の概念のうつりかわり」 『遺伝』 Vol. 2, No. 4 北隆館 1948 pp. 9-11
7. 「作物と雑草」 『人文地理』 1巻3号 人文地理学会 1949 pp. 27-32
8. 「小興安嶺湯旺河紀行」(上・下) 『岳人』 No. 15(1949. 5), No. 16 岳人社  
1949 pp. 8-11, pp. 21-25
9. 「大陸の花の憶い出」 『日本花卉園芸協会会報』 No. 7 1950 pp. 35-39
10. 「集団遺伝学」 『生物の変異集団と環境』 Vol. 23(科学文献抄) 岩波書店 1950  
pp. 41-52
11. 「苡麦文化圏：穀類の品種群から見た東北アジアに於ける新しい一つの文化類型」  
『自然と文化』 No. 1 自然史学会 1950 pp. 163-186
12. 「糯大麦について」 『生研時報』 No. 4 木原生物学研究所 1950 pp. 111-114
13. 「近畿4府県の大麦変種の分布：大麦採集報告Ⅱ」 『生研時報』 No. 4 木原生物学研究所 1950 pp. 149-152
14. 「On the Mongolian naked oats, with special reference to their origins」  
『Sci. Rep. Fac. Agr. Naniwa Univ.』 No. 1 1950 pp. 7-24
15. 「Notes on the Mongolian vegetation」 『Bull. Biogeograph. Soc. Japan』  
Vol. 15, No. 1 1951 pp. 13-22
16. 「Cytological and ecological studies on Japanese barnyard millet (*Echinochloa frumentacea* (Roxb.) Link.) and its wild relatives. I. Classification of Japanese indigenous species in relation to cytology and ecology.」  
with Tomosaburo Yabuno 『Seiken Ziho』 No. 5 木原生物学研究所 1952  
pp. 58-64  
内グラビア1p
17. 「ヒマラヤの植物」 『スポーツ毎日』 1953. 2. 21 1953

### 3. 新聞・雑誌・その他

18. 「生物の変異集団」 『生物の変異性』 Vol. 25(科学文献抄) 岩波書店 1953  
pp. 1-13
19. 「ヒマラヤの春の花」 『毎日新聞』 1954. 2. 24 1954
20. 「ガネシュ・ヒマールの神秘」 『毎日新聞』 1954. 5. 5(夕刊) 1954
21. 「ヒマラヤの自然を見る」 『少年写真ニュース』 No. 8(1954. 6. 8号) 少年写真新聞社 1954  
写真
22. 「科学班の旅」 『山岳』 第49年 日本山岳会 1954 pp. 55-73  
抜き刷りのタイトル: 「マナスル1953年科学班の旅」
23. 「カラコルムの印象」 『大阪府立大学新聞』 1955. 10. 5 1955
24. 「カラコルムの氷河」 中尾佐助, 藤田和夫, 松下進撮影 『科学朝日』 1955. 12  
月号 1955
25. 「カラコラム探検隊の食糧」 『イカリニュース』 Vol. 4, No. 10 イカリニュース社 1955 pp. 6-7
26. 「カラコラムの印象 上」 『岳人』 No. 93 1956 pp. 12-18
27. 「カラコラムの印象 下」 『岳人』 No. 94 1956 pp. 16-20
28. 「マナスル登山によせて: ヒマラヤの高山植物の生態」 『郵政』 Vol. 8, No. 8  
1956 pp. 36-41
29. 「ヒマラヤ, カラコルムを写す」 『マミヤクラブ』 Vol. 4, No. 6 マミヤカメラクラブ 1956 pp. 14-17
30. 「Information of Norin wheat varieties in Japan」 (with T. Kawase)  
『Wheat Information Service』 No. 3 1956 p. 35
31. 「資料写真の撮り方」 『探検』 Vol. 1 京大探検部 1957 pp. 29-31
32. 「Bread fruit, yams and taros of Ponape Island」 『Proc. Seventh Pacific Sci.  
Cong. Wellington』 1957 pp. 159-170
33. 「河南省洛陽漢墓出土のコメについて」 『東洋史研究』 Vol. 16, No. 3 1957  
pp. 93-96  
グラビア1p
34. 「秘境ブータン: 中尾助教授の探検記」 (1. 出発 2. 山ヒル地帯に行く 3. 豊かな二  
千メートルの山国 4. チョモラリへの道 5. チベット国境へ) 『毎日新聞』  
1958. 8. 18-8. 24 1958  
タイトルの異なるグラあり

35. 「Veronica persica in Hiroshima」 (with K. Yamashita) 『Research in the effects and influence of the nuclear bomb test explosion』 1958 pp. 643-644
36. 特別ルポ「世界の秘境ブータンをゆく」 『毎日グラフ』 1959.1月 1959 pp. 24-29
37. 「秘境ブータン：中尾助教授の探検記」 (1. 離宮パロ・ゾン 2. ニュースの辺境 3. ハ郡の統治者 4. 大名行列とともに 5. かくし妻 6. 日かげの谷 7. テス・ラさんの恋 8. 氷河期の足あと 9. 農家への招待 10. 進化が眼前に 11. 大まき狩り 12. ネール首相の道 13. のんびりした囚人 14. 士・農・工・商 15. 王様にお目見え 16. 奥地への希望 17. すばらしい食事 18. 危機 19. ヤクの牧人たち 20. ヒマラヤの屋根 21. 雪男 22. 温泉と悪夢と 23. 古都プナカ 24. ミタンという牛 25. 地酒 26. 農夫たち 27. まぼろしの山 28. 妻どい 29. 怪物探検 30. 近代化する国 31. 密林 32. 自然児たちの生活 33. 高山の草や木 34. 青いケシ 35. 大弓コンテスト 36. 漆の国 37. 生活のリズム 38. バターとチーズ 39. 服地 40. 男女のスタイル 41. 住まい 42. マチャンの中の恋 43. 麦 44. 稲 45. 遷都 46. 七人の王様 47. ことば 48. 民族の感情 49. かかあ天下 50. さようなら) 『毎日新聞』 1959. 1. 4-3. 23 (夕刊) 1959
38. 「ヒマラヤの花」 『毎日新聞』 1959. 4. 8(東京版), 4. 12(大阪版) 1959
39. 「ブータンを旅して」 『大阪府立大学新聞』 49号(1959. 4. 30) 1959
40. 特別寄稿「ヒマラヤのシャクナゲ」 『日本つつじ協会報』 Vol. 2 1959 pp. 20-27
41. 「ヒマラヤの蕎麦：ブータン王国に招かれて」 中尾佐助, 稲田伝左衛門ほか対談 『そば』 No. 1 蕎麦のれん社 1959 pp. 8-15
42. 「ブータン西北の旅：タカコンのことなど」 『THAKTO』 No. 2 大阪府立大学山岳部 1959 pp. 4-8
43. 「ブータンの旅」 『れいえん』 No. 9 東洋レーヨン滋賀工場 1959 pp. 26-28
44. 「Bhutan Himalaya」 『American Alpine Journal』 The American Alpine Club 1959 pp. 244-245
45. 「雪男は存在するか」 『モンキー』 No. 23 日本モンキーセンター 1959 pp. 4-5  
アンケート
46. 「Bhutan Himalaya」 『Estratto della Rivista del Club Alpino, Italiano』 1959 pp. 7-8
47. 「龍国(ブータン)王に招かれて」 中尾佐助, 小泉啓三ほか対談 『今橋ニュース』 No. 86 1959 pp. 4-21

### 3. 新聞・雑誌・その他

48. 「ヒマラヤの高山植物」 『遺伝』 Vol. 13, No. 8 1959 pp. 25-28  
グラビア1p  
特集夏休みの生物学習
49. 「ブータンの山山」 『岳人』 No. 132(1959.4月号) 岳人社 1959 グラビア3p
50. 「なぜ“イネの起源”をさぐるか」 中尾佐助, 木原均, 山下孝介対談 『毎日新聞』  
1959.10.3 1959
51. 「対馬へ大麦の採取旅行に」 『産業経済新聞』 1960.6.17(夕刊) 1960
52. 「稲のふるさと: シッキム・アッサム調査記」 (1. 国境を越えて 2. 消えゆくチベット人 3. レプチャ族 4. ミスター・ラクスム 5. 血をとる日本人 6. 山かげのオレンジ 7. 歌声の民族 8. カシアの丘 9. カイコの話 10. はるかなる道) 『毎日新聞』  
1960.2.11-2.24(夕刊) 1960  
8のゲラは別のタイトル: オリザ・ペレニス (野生稲)
53. 「“稲の祖先”をさぐる」 『毎日新聞』 1960.2.29 1960
54. 「謎の国ブータン探検」 中尾佐助, 小学生対談 『少年画報』 1960年4月号  
1960 pp. 104-111
55. 「稲の祖先を訪ねて: シッキム・アッサム探検紀行」 中尾佐助, 木村音吉ほか対談  
『今橋ニュース』 No. 99 1960 pp. 4-15
56. 「ヒマラヤの植物帯」 『日本人の記録による大ヒマラヤ展パンフレット』 1960  
[pp. 7-8]
57. アンケート「私の好きな旅行家と旅行記」 『文芸春秋』 第38巻, 第8号(1960夏の  
増刊) 1960 p. 131
58. 「北満に似た植物」 『朝日新聞』 (北海道版) 1960.8.31(夕刊) 1960
59. 「ネパール産の新野生型大麦について」 『育種学雑誌』 Vol. 10, No. 4 日本育種  
学会 1960 p. 60  
日本育種学会第18回講演会講演要旨, 昭和35年8月29日-30日
60. 「受賞式に孤独の出席」 『日本エッセイスト・クラブ会報』 No. 12 1960  
pp. 3-4  
グラビア1p
61. 「ヒマラヤの蘭」 『Jap. Orchid Soc. Bull.』 Vol. 6, No. 1 1960 pp. 1-8
62. 「植物遺伝学より見た秘境ブータン」 『一水会会報』 Vol. 3, No. 7 1960  
pp. 136-141
63. 「The rice plant in Sikkim: a report of the Scientific Mission」 H. Kihara  
and S. Nakao 『Seiken Zihō』 No. 11 木原生物学研究所 1960 pp. 46-54

64. 「食べる食物史」 (1. すべての文化はバナナから 2. 私のラバさんのイモ 3. タローイモとズイキ 4. ヤムイモとトロロ 5. サトウキビ 6. コンゴをつくった根栽文化 7. パンの木のはんらん 8. 余暇を生むサゴヤシ 9. 石器時代からのクズ 10. コンニャク談議 11. ヤクも食べぬワラビの芽 12. 照葉樹林の文化 13. レーベツトというお茶 14. 宜昌柑 (イーチャンカン) を求めて 15. アゼマメのひろがり 16. 石ケンの代用品 17. 純日本産のヤサイ1 18. 純日本産のヤサイ2 19. マラソンのひけつ 20. 雑草のような穀物 21. キビとアワの始まり 22. ニゼル川の雑穀文化 23. 不思議なシコクビエ 24. 果物でないスイカ 25. ソバの味 26. ハトムギとモチ 27. タマリンドの木陰 28. パルミラヤシ 29. ピーナッツのような豆 30. マメの国インド 31. 水湿地の雑穀 32. アフリカ産のイネ 33. アジアの野生イネ 34. バラバラ落ちる野生イネ 35. ムギと雑草 36. ピラミッドをつくったムギ 37. パンコムギの秘密 38. コムギと粉食 39. 二次作物とは? 40. 四つの農業起源) 『朝日新聞』 (大阪版) 1961. 1. 29-12. 14 1961
65. 「ヒマラヤの花」 『朝日新聞』 (大阪版) 1961. 4. 20 1961
66. 「花の王しゃくなげ」 『産業経済新聞』 (大阪版) 1961. 5. 13 1961
67. 「茶は末代養生の仙薬なり」 木村康一, 中尾佐助, 森鹿三対談 『淡交』 1961. 10月号 1961 pp. 78-86
68. 「ヒマラヤを越えながら運ぶ」 (運ぶ No. 12) 『文芸春秋』 Vol. 39, No. 12 1961
69. 書評 (『集団遺伝学概論』 木村資生著) 『生物科学』 Vol. 13, No. 2 岩波書店 1961 p. 96
70. 「Bhutan Himalaya」 『Sangaku』 No. 55 日本山岳会 1961 pp. 17-19  
グラフィック
71. 「ヒマラヤにかおる野生のバラ」 『ばら』 No. 70 朝日バラ協会 1961 pp. 6-7
72. 「料理の材料」 『日本経済新聞』 (大阪版) 1962. 1. 31 1962
73. 「探検する学者 7」 談 『東京新聞』 1962. 4. 7(夕刊) 1962
74. 「ヒマラヤと日本人」 『国際文化』 No. 92 国際文化振興会 1962 pp. 14-16
75. 「ヒマラヤの結婚式」 『三和家庭グラフ』 No. 70 三和銀行 1962 p. 4
76. 「ヒマラヤの奥深く」 (1. 文化の秘境 2. おそい山の春 3. テルテル坊主 4. キャンプ 5. チベット人の知恵 6. 神々の座に祈る 7. 青いケシ 8. 国境の村 9. 植物帯のきずな 10. 竹ガサ文化 11. 旅の終わりに) 『毎日新聞』 (東京版) 1962. 10. 1-10. 17 1962  
(大阪版) 9. のあとに 10. 若奥さんがんばる 11. 地酒 12. 日本製の化繊 の3編がプラスされて、計14編になる

### 3. 新聞・雑誌・その他

77. 「ヌプチュー登頂記」 『製鉄化学』 No. 117. 9-10合併号(1962) 製鉄化学工業株式会社 1962  
\*
78. 「神秘的文化の秘境をたずねて」 『今橋ニュース』 No. 131 1962  
\*
79. 「東北ネパールの自然と民族」 『新教育懇和会叢書』 第33集 新教育懇話会  
1962 pp. 1-32
80. 「照葉樹林文化」 『朝日新聞』 1963. 1. 4 1963
81. 「日本人の起源はヒマラヤか」 『有恒』 1963. 1月号 1963  
\*
82. 「へんな制度」 『東京新聞』 1963. 9. 2(夕刊) 1963
83. 「ブータン国の風俗」 『被服文化』 No. 81 文化服装学院出版局 1963  
pp. 39-47  
グラビア4p  
表紙の写真とその解説も中尾佐助
84. 「ヒマラヤの春」 『おおさか』 Vol. 4, No. 1 大阪PR協会 1963 pp. 22-24
85. 「ヒマラヤの花」 『堺ロータリー・クラブ』 No. 109 1963 pp. 5-6
86. 「東北ネパール1962年：ヌプチューの登頂その他」 『山岳』 第58年 日本山岳会  
1963 pp. 63-87  
グラビア4p, 地図2p
87. 「パンの味メシの味」 『東京新聞』 1964. 1. 20 1964
88. 「ヒマラヤの京都」 (世界の旅25選 9 ポカラ) 『神戸新聞』 1964. 5. 17(夕刊)  
1964
89. 追悼「西脇君をいたむ」 『THAKTO』 No. 5 大阪府立大学山岳部 1964 p. 14
90. 「ヒマラヤへの道」 『THAKTO』 No. 5 大阪府立大学山岳部 1964 pp. 131-132
91. 「アフガニスタンの植物」 『太陽』 1964. 5月号 1964 p. 40
92. 「Ascent of Nupchu」 『Himalayan Journal』 Vol. 24 Oxford Univ. Press 1964  
pp. 16-20  
グラビア2p
93. 特集「ヒマラヤの植物」 『遺伝』 Vol. 18, No. 7 1964 pp. 7-10  
グラビア3p
94. 「無償の満足：人はなぜ山へ登るか」 『山と溪谷』 1965. 2月号 1965 pp. 28-30



95. 「モンゴルにまぼろしの大牧場：風車にいどんだ私」 『毎日新聞』（大阪版）  
1965. 5. 29(夕刊) 1965
96. 「味わおう近景の美：比叡山」（京を見なおす 96） 『京都新聞』 1965. 8. 12  
(夕刊) 1965
97. 「農耕文化の要素とアレライゼーション」 『人文学報』 Vol. 21 京都大学人文科学研究所 1965 pp. 57-64  
社会人類学論集
98. 「長日条件で起こる蘚包子の発芽および原糸体生長」 衣川堅二郎, 中尾佐助著  
『蘚苔地衣雑報』 Vol. 3, No. 9 服部植物研究所 1965
99. 「薬剤による禾穀類の集団交雑法の研究（予報）」 中尾佐助, 吉村徳彦著 『日本育種学会第27回講演会講演要旨・昭和40年4月6～7日』 日本育種学会 1965  
『育種学雑誌』 Vol. 15別冊  
\*
100. 「Note on Spore Germination and Protonemal Growth Controlled by Day Length in *Bryum pseudo-triquetrum*」 K. Kinugawa and S. Nakao 『Bot. Mag. Tokyo』  
Vol. 78, No. 924 The Botanical Society of Japan 1965 pp. 194-197
101. 「ヒマラヤにおける在来和紙の製造原料植物について」 『生活文化研究』 Vol. 13  
1965 pp. 413-420
102. 書評（『北の稲』柳卯平著） 『サンデー毎日』 1966. 1. 30号 1966 p. 76
103. 「アイ・アム・ソリーの精神：日本こそ世界最後の秘境である！」 『文芸春秋』  
1966. 2月号 1966 pp. 96-104
104. 「民族と植物学」 『朝日新聞』（大阪版） 1966. 4. 13(夕刊) 1966
105. 「探検をはばむ政治」 中尾佐助, 川村俊蔵対談 『朝日ジャーナル』 Vol. 8, No. 2  
1966
106. 「不老長生の国・フンザ」 『からだの科学』 No. 7 日本評論社 1966 p. 33
107. 「オウハリガネゴケ原糸体の培養的性質」 衣川堅二郎, 中尾佐助著 『蘚苔地衣雑報』  
Vol. 4, No. 1 1966 pp. 7-9
108. 「ヒマラヤの花」 『日本山岳会関西支部報』 No. 18 日本山岳会関西支部 1966  
pp. 3-4
109. 「山と青少年」 『青少年大阪』 No. 105 大阪府青少年問題協議会 1966  
表紙に掲載
110. 「すだちとライム」 『のれん』 No. 170 甘辛のれん会 1966

### 3. 新聞・雑誌・その他

111. 「栽培植物の起源：イネのはじまり」 『いずみ』 Vol. 18, No. 7 日本女性文化協会 1966 pp. 44-51
112. 「ヒマラヤミツマタの染色体数」 中尾佐助, 渡部忠広 『育種学雑誌』 Vol. 16, No. 4 1966 pp. 60-66
113. 書評 (『モンゴル：遊牧民と人民委員』オーエン・ラティモア著, 磯野富士子訳) 『日本読書新聞』 No. 1384(1966. 11. 28) 1966
114. 「遭難への心がまえ」 『THAKTO』 No. 6 大阪府立大学山岳部 1966? pp. 7-8
115. 「ヒマラヤのロードデンドロン」 『新花卉』 No. 71 1966 pp. 36-41  
グラビア1p
116. 「文化と花」 (花を見る目 第3回) 『NHK婦人百科』 1967. 6月号 1967  
pp. 76-77
117. 書評 (『森林・草原・氷河』加藤泰安著) 『サンデー毎日』 1967. 1. 8 1967  
p. 96
118. 書評 (『ネパール・ヒマラヤ探検記録』川喜田二郎文, 日高信六郎編) 『読売新聞』  
1967. 5. 29 1967
119. 「ヒマラヤ植物の馴化」 『神戸新聞』 1967. 6. 15 1967
120. 「自然への復帰：つねに人跡未踏の地を求めて」 『山と溪谷』 1967. 7月号 1967  
pp. 160-161
121. 「頭の痛い問題：コメと日本人」 『山陽新聞』 1967. 7. 5 1967
122. 「コメと日本人」 『新潟日報』 1967. 7. 11 1967  
『山陽新聞』掲載の記事と同文
123. 「頭の痛い問題：コメと日本人」 『徳島新聞』 1967. 7. 17(夕刊) 1967  
『山陽新聞』・『新潟日報』掲載の記事と同文
124. 書評 (『原始文化ノート』古野清人著) 『日本読書新聞』 1967. 7. 17 1967
125. 「コメと日本人」 『東京タイムズ』 1967. 7. 19 1967  
『新潟日報』掲載の記事とほぼ同文
126. 「お米のうまさ」 『世界』 1967. 9月号 岩波書店 1967 pp. 133-138
127. 「日本人の味覚を採点する」 『世界』 1967. 11月号 岩波書店 1967  
pp. 257-261
128. 「名月や……………」 『文芸春秋』 1967. 11月号 1967 pp. 89-90

129. 「ヒマラヤの植物」(要旨) 『園芸春秋』 No. 18 京都園芸倶楽部 1967  
第515回例会
130. 「山登りの極点」 『大阪府立大学学生部だより』 No. 24 大阪府立大学学生部  
1967 pp. 24-25
131. 巻頭言「探検雑話」 『探検』 No. 10 京都大学探検部 1967 pp. 1-2
132. 「日本の弟分<ブータン>」(旅情 415) 『朝日ジャーナル』 Vol. 19, No. 15  
(1967. 4. 9) 1967 p. 54  
グラビア3p
133. 「私の研究」 『大阪国際サイエンスクラブ会報』 No. 6 1967 p. 3
134. 「ヒマラヤのカランセ」 『京都園芸』 Vol. 56(エビネ特集号) 1967 pp. 45-46
135. 「アマチュア根性：河口慧海師の探検に思う」 『朝日新聞』 1968. 5. 8 1968
136. 「日本雑食文化論：料理に絶対的権威はない」 『朝日新聞』 1968. 6. 27 1968
137. 「アジアの酒, アフリカの酒」 『松竹梅, ほろ酔い百科』 No. 3 1968 pp. 11-12
138. 「アジア文化探検」 中尾佐助(ゲスト) 『今橋ニュース』 No. 203 1968  
pp. 4-20
139. 「アフリカ農業の起源」 『大阪国際サイエンスクラブ会報』 No. 26 1968 p. 3
140. 「ペチュニアとシロイヌナズナの $\gamma$ 線感受性」 衣川堅二郎, 辻本義宏, 平松和子,  
中尾佐助著 『育種学雑誌』 18巻, 別冊2 日本育種学会 1968 pp. 1-2  
日本育種学会第34回講演会講演要旨, 昭和43. 11. 3-4
141. 「交配操作に関係したトウモロコシの若干の性質」 衣川堅二郎, 平松和子,  
辻本義宏, 中尾佐助著 『育種学雑誌』 18巻, 別冊2 日本育種学会 1968  
pp. 187-188  
日本育種学会第34回講演会講演要旨, 昭和43. 11. 3-4
142. 「シッキム・ヒマラヤの思い出」 『ヒマラヤ名著全集』 月報5 あかね書房  
1968 pp. 1-3
143. 図書紹介(『The Flora of Eastern Himalaya』 H. Hara) 『山』 No. 280(1968. 10  
月号) 日本山岳会 1968 p. 6
144. 「ブータン覚え書」 『岩と雪』 14号(1969. 4) 山と溪谷社 1969 pp. 184-191
145. 「アフリカの旅から」 『大阪府立大学学生部だより』 1969 pp. 14-15
146. 「冒険とは」 『読売新聞』 1969. 6. 7 1969
147. 書評(『日本登山史』 山崎安治著) 『読売新聞』 1969. 7. 26(夕刊) 1969

### 3. 新聞・雑誌・その他

148. 「まだない世界の有用植物誌」 『朝日新聞』（大阪版） 1969. 11. 8(夕刊) 1969
149. 「有用植物の起源と進化」 『遺伝』 Vol. 23, No. 2 裳華房 1969 pp. 34-39
150. 「佐賀県梅坂遺跡出土古代米について」 中尾佐助, 松本豪著 『九州考古学』 36・37合併号 九州考古学会 1969 pp. 20-22
151. 「山へ行って、還らぬ若者たち」 『THAKTO』 No. 7 大阪府立大学山岳部 1969 p. 53
152. 「Petuniaの胚珠培養に関する基礎的研究」 中尾佐助, 水本陽子著 『近畿作物・育種談話会報』 No. 14 1969 pp. 9-16
153. 「胚タンパクの電気泳動像に基づくトウモロコシの数種系統の比較」, 「紫外線によるトウモロコシ胚乳遺伝子の突然変異について」 辻本義宏, 平松和子, 衣川堅二郎, 中尾佐助著 『第11回近畿地区遺伝研究発表会』 日本遺伝学会 1969 p. 5
154. 「人類文化史研究の立場からの栽培植物採集」 『育種学最近の進歩』 第11集 日本育種学会編 学術書出版会 1970 pp. 3-9  
第11回日本育種学会シンポジウム報告  
第1部 育種材料の諸問題：植物探索の戦略および戦術  
1969. 10. 22-23
155. 「歴史意識と民族」 『岩波講座世界歴史月報』 9 岩波書店 1970 pp. 6-8  
『岩波講座世界歴史』 第3巻付録
156. 「ヒョウタンの思い出」 『朝日新聞』 1970. 4. 5 1970
157. 「北方からの農耕文化」 『朝日新聞』 1970. 4. 11(夕刊) 1970
158. 「ブータンの酒壺」 『山と溪谷』 1970. 6月号 1970 p. 150
159. 大阪市立自然科学博物館「第2回建設委員会（展示テーマ部会第2回）」 中尾佐助, 佐藤盤根, 徳田御稔ほか 『第2回建設委員会（展示テーマ部会第2回）審議記録』 1970. 6 1970 pp. 1-16  
開催：昭和45年6月17日
160. 「＜敵対的な自然＞それがほんものだ」 『サンデー毎日』 1970. 8月16日号 1970 p. 131
161. 書評（『砂漠』スターカー・レオポルド著 奈須紀幸訳） 『経済往来』 1970. 12月号 1970 pp. 194-196
162. 「照葉樹林文化小論」 『ガーデンライフ』 No. 35 1970 pp. 57-59
163. 「ナットウ分布の大三角形」（東南アジア文化の基底部） 中尾佐助報告, 渡部忠世, 梅棹忠夫, 石井米雄対談 『Energy』 Vol. 7, No. 3 エッソ・スタンダード石油株式会社 1970 pp. 38-40

164. 「Perpetuation of Begonia Rex by aseptic culture with micro-leaf cuttings under various conditions of auxin and cytokinin」 Y. K. Arora, S. Nakao & T. Nakajima 『Japan. J. Breeding』 Vol. 20, No. 5 1970 pp. 31-37  
付：和文要旨「小葉片の無菌培養によるベゴニアの再生」
165. 書評（『農業文化の起源』エミール・ヴェルト著 藪内芳彦，飯沼二郎訳） 『季刊人類学』 Vol. 1, No. 1 社会思想社 1970 pp. 180-182
166. コメント（「シコクピエと早乙女：田畑の起源についての一仮説」佐々木高明著） 『季刊人類学』 Vol. 1, No. 1 社会思想社 1970 pp. 74-75
167. コメント（「タイにおける「モチ稲栽培圏」の成立：栽培稲の変遷過程からの考察」渡部忠世著） 『季刊人類学』 Vol. 1, No. 2 社会思想社 1970 pp. 54
168. 「食べ物に見る共通の土壌」 『神戸新聞』 1971. 1. 3 1971
169. 「生態学における日本：照葉樹林文化の位相」 『伝統と現代』 1971. 8月号(No. 9) 1971 pp. 53-62  
小特集「日本学」を再検討する
170. 書評（『ペルシアの農村』大野盛雄著） 『世界』 1971. 9月号(310号) 岩波書店 1971 pp. 262-263
171. 「史前帰化植物」 『遺伝』 Vol. 25, No. 12 1971 pp. 29-33  
特集帰化植物
172. シンポジウム「自然と文明の調和を求めて：自然環境保全と都市開発」 磯村英一，上坂冬子，佐伯宗義，中尾佐助 『心のふるさと金沢をめざして』 金沢青年会議所 1971 pp. 21-33
173. コメント1（「エチオピアの栽培植物の呼称の分類とその史的考察：雑穀類をめぐる」福井勝義著） 『季刊人類学』 Vol. 2, No. 1 社会思想社 1971 pp. 83-84
174. 座談会「成長ゼロの経済社会を考える：“ズッコケ思想”を見直そう」 長洲一二司会，松田達郎，中尾佐助，小松左京，北沢方邦対談 『エコノミスト』 1972. 1. 4日号 1972 pp. 88-99
175. 「古代人にとって自然とは何であったか」 『Graphication』 1972. 2月号 1972 pp. 10-11
176. 「キブシの花」 『毎日新聞』（東京版） 1972. 4. 5(夕刊) 1972
177. 「わが思索わが風土」（1. 自然への開眼：人間形成の原点に 2. 照葉樹林：東アジア文化の源 3. 落葉樹林：欧州文明の中心帯 4. サバンナ：無数の帝国が興亡 5. 草原：戦争と略奪の過去） 『朝日新聞』 1972. 4. 18-4. 22 1972
178. 「ヒマラヤの情趣ダージリン」（思い出のまち） 『エコノミスト』 1972. 4. 27日号(臨時増刊号) 1972 p. 177

### 3. 新聞・雑誌・その他

179. 「西瓜の歴史：種子食用から種なし果物へ」 『毎日新聞』 1972. 8. 16(夕刊)  
1972
180. 「半自然」 『文芸春秋』 1972. 8月号 1972 pp. 76-77
181. 「Breeding for Saline-resistant varieties of rice. I. Variability for salt tolerance among some rice varieties」 M. Akbar, T. Yabuno & S. Nakao  
『Japan. J. Breeding』 Vol. 22, No. 5 1972 pp. 17-24  
付：和文要旨「耐塩性イネ品種の育種 1. イネ数品種間にみられる耐塩性に関する変異性」
182. コメント（「栽培植物の起源：コムギを中心として」 田中正武著） 『季刊人類学』  
Vol. 3, No. 4 社会思想社 1972 pp. 121-122
183. 座談会「食物と社会」 石毛直道, 大塚滋, 中尾佐助 『Energy』 Vol. 9, No. 1  
エッソ・スタンダード石油株式会社 1972 pp. 32-45
184. 「シトギ考」 『朝日新聞』 1973. 2. 3(夕刊) 1973
185. 座談会「焼畑の文化」 中尾佐助, 宮本常一, 佐々木高明ほか対談 『季刊人類学』  
Vol. 4, No. 2 1973 pp. 133-185
186. 「小麦の食べ方」 『朝日新聞』 1973. 4. 5 1973
187. 「ヒマラヤの本」 『毎日新聞』 1973. 6. 18 1973
188. 「ポナペ島のヤムのパン」 (味覚大全) 『旅』 1973. 7月号 日本交通公社 1973
189. 「モンゴールの羊肉料理」 (味覚大全) 『旅』 1973. 8月号 日本交通公社 1973
190. 「華北で味わう露店料理」 (味覚大全) 『旅』 1973. 9月号 日本交通公社 1973
191. 「インドの味チャパティ」 (味覚大全) 『旅』 1973. 10月号 日本交通公社  
1973
192. 「チベットのチュルピー」 (味覚大全) 『旅』 1973. 11月号 日本交通公社  
1973
193. 「回教圏の米料理パラオ」 (味覚大全) 『旅』 1973. 12月号 日本交通公社  
1973
194. 「人間とゴリラ」 『PHP』 No. 304 1973 pp. 8-9
195. 「食糧危機をもたらす集団農法」 『諸君』 1973. 10月号 1973 pp. 136-146  
特集是非とも言うておきたい
196. 「どこへ行く日本人の嗜好」 香川綾, 中尾佐助対談 『栄養と料理』 1973. 10月  
号 1973 pp. 162-167

197. 「日本の高山植物は亜高山帯にある」 『生態学講座』 月報10 共立出版 1973  
pp. 4-6
198. 「東西花卉の発達」 『芸能史研究』 No. 40別冊 芸能史研究会 1973 pp. 1-12
199. 「ブータンのイラクサ布」 『信濃路』 No. 1 1973 p. 64
200. 「ヤルンカン遠征隊報告座談会」 京都大学学士山岳会 1974  
開催：於京都ロイヤルホテル 1974. 1. 21
201. 「粥」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 1月号 1974 pp. 133-137
202. 「炒り麦」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 2月号 1974 pp. 125-129
203. 「パン」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 3月号 1974 pp. 117-121
204. 「桑」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 4月号 1974 pp. 65-69
205. 「豆」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 5月号 1974 pp. 77-79
206. 「芋」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 6月号 1974 pp. 141-145
207. 「くだもの」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 7月号 1974 pp. 155-159
208. 「野菜」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 8月号 1974 pp. 155-159
209. 「食用油」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 9月号 1974 pp. 152-155
210. 「乳」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 10月号 1974 pp. 159-163
211. 「乳製品」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 11月号 1974 pp. 141-145
212. 「魚」（食べ物と文化） 『栄養と料理』 1974. 12月号 1974 pp. 191-195
213. 「自然の文化誌、栽培植物篇」（1. 雑草と栽培植物 2. 半栽培という段階 3. 禾本草  
原と穀類 4. 主食としての果実 5. イモ類の毒ぬき 6. マメのローカル性 7. 雑穀の  
世界 8. 油料作物 9. 花卉と庭木 10. 飼料作物 11. 葉草はなぜ育ちにくいのか 12.  
ナルコティクス） 『自然』 1974. 1月号-12月号 中央公論社 1974
214. 「主食と副食：南北問題の一断面」 『朝日新聞』 1974. 1. 26(夕刊) 1974
215. 「カンツバキ」 『毎日新聞』 1974. 2. 22(夕刊) 1974
216. 「世界的にみたロードデンドロンの分布」 『ガーデンライフ』 1974. 5月号 1974  
pp. 15-17  
連続特集ロードデンドロン 2
217. 「中国展にみる農業と手工芸 上」 『読売新聞』 1974. 7. 19 1974

### 3. 新聞・雑誌・その他

218. 「わが学術探検の楽しみ」(わたしの探検・冒険 2) 『月刊エコノミスト』  
1974. 8月号 1974 pp. 46-51
219. 「牛乳と乳酸醗酵」 『栄養指導者のしおり』 No. 35 日本食生活協会 1974 p. 9
220. 「今西さんとの出会い」 『今西錦司全集』 月報第3号 1974 pp. 3-6
221. 「たべる」 中尾佐助, 石毛直道, 栄久庵憲司対談 『朝日放送』 No. 2 朝日放送  
1974 pp. 6-25
222. 書評(『中国食物誌』篠田統著) 『経済往来』 No. 11 1974 pp. 168-169
223. 特別寄稿「自然保護と農業」 『大阪農業』 Vol. 11, No. 4 大阪府農林技術センタ  
ー 1974 pp. 39-46
224. 「人間と農業」 『大学だより』 No. 32 大阪府立大学 1974 pp. 27-31  
「創立25周年記念学術講演」特集号
225. 書評(『焼畑のむら』福井勝義著) 『朝日ジャーナル』 Vol. 16, No. 47 1974  
pp. 62-63
226. 「Peroxidase system in the floral organs of Begonia rex Putz」 Y. K. Arora,  
Y. Momotani & S. Nakao 『Japan. J. Breeding』 Vol. 24, No. 1 1974 pp. 9-12  
付: 和文要旨「Begonia rex の花器のパーオキシダーゼ系について」
227. 「自然の文化誌, 栽培植物篇」(13. モチとウルチ 14. コムギとオオムギ 15. 香辛  
料さまざま 16. 繊維作物の食味 17. 甘味の歴史 18. 野菜食いの国 19. 緑蔭樹と風  
致樹 20. 洗濯用の植物 21. ビガーと自動育種 22. 栽培植物の変異 23. 栽培植物の  
年代 24. 栽培植物の未来) 『自然』 1975. 1月号-12月号 中央公論社 1975
228. 「茶のはじまり」(茶雑抄 3) 『淡交』 1975. 3月号 淡交社 1975 pp. 31-38
229. 「オオイヌノフグリ」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 17(夕刊) 1975
230. 「菜の花」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 18(夕刊) 1975
231. 「食パン」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 19(夕刊) 1975
232. 「自動販売機」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 20(夕刊) 1975
233. 「常緑樹の落葉」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 21(夕刊) 1975
234. 「ツバキとサクラ」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 24(夕刊) 1975
235. 「カタクリ」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 25(夕刊) 1975
236. 「牛乳」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 26(夕刊) 1975
237. 「庭へ来る鳥」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 27(夕刊) 1975



238. 「心理の盲点」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 28(夕刊) 1975
239. 「大学の紀要」(日記から) 『朝日新聞』 1975. 3. 29(夕刊) 1975
240. 「絶景でなくても」(私たちの風景 4, 中尾佐助 上) 『毎日新聞』 1975. 5. 5  
1975
241. 「照葉樹林」(私たちの風景 5, 中尾佐助 中) 『毎日新聞』 1975. 5. 13 1975
242. 「生態系の保護」(私たちの風景 6, 中尾佐助 下) 『毎日新聞』 1975. 5. 20  
1975
243. 「生態系から離脱する人間: SF小説の世界には, 人間の未来のありかたにたいする,  
無意識な願望が反映されている」 『潮』 1975. 8月号 1975 pp. 162-169  
特別企画人間に未来はあるか再考
244. 「アジアの自然環境と文化複合」 中尾佐助, 矢野暢対談 『アジア』 1975. 8月号  
1975 pp. 114-130  
アジア学の系譜連載第13回
245. 「乳文化と日本人」 『毎日新聞』 1975. 10. 29 1975
246. ぷろむなあと「山を歩けばササばかり」 『科学朝日』 1975. 11月号 1975  
pp. 126-127
247. 「子どもとナチュラル・ヒストリー」 『会報(富山県小学校教育研究会)』  
No. 170 1975 pp. 1008-1010  
教育課程研究協議会講演要旨
248. 「文化財としての遺伝資源」 『遺伝』 Vol. 29, No. 10 1975 pp. 8-13  
特大号遺伝資源としての植物
249. 「縄文的自然から弥生的自然へ: 照葉樹林文化論」 中尾佐助, 佐々木高明対談  
『知の考古学』 No. 4 1975 pp. 2-20
250. 「牧野植物図鑑: 小学生の時の決定的な出遇い」(農業と私, この一冊) 『技術と  
普及』 1975. 5月号 1975 p. 63
251. 「Studies on the origin of weed oats in Japan」 H. Yamaguchi & S. Nakao  
『Japan. J. Breeding』 Vol. 25, No. 1 1975 pp. 32-45  
付: 和文要旨「日本の雑草燕麦の起源に関する研究」
252. 「人はなぜ旅をするか」(旅に関するエッセー) 『大学だより』 大阪府立大学  
1975 pp. 5-6
253. 書評(『植物と文明』ハーバート・G. ベイカー著 阪本寧男, 福田一郎訳)  
『自然』 1975. 10月号 1975 pp. 104-105

### 3. 新聞・雑誌・その他

254. 書評（『杉のきた道：日本人の暮らしを支えて』遠山富太郎著） 『自然』 1976. 4月号 中央公論社 1976 pp. 105-106
255. 「東アジア文化は照葉樹林帯から」 『読売新聞』 1976. 9. 18 1976
256. 書評（『植物と文明』 H. G. Baker著 阪本寧男, 福田一郎訳） 『生物科学ニュース』 No. 51 日本植物学会 1976 pp. 17-18  
『自然』 掲載の同書書評と内容は異なる
257. 「照葉樹林文化と日本」 『人と国土』 1976. 11月号 1976 pp. 29-35
258. 「ドングリと鳥」 『アニマ』 1976. 11月号 1976 p. 59
259. 「柑橘学と食用植物学の田中長三郎博士逝く」 『自然』 1976. 9月号 中央公論社 1976
260. 「イモの文化とイネの文化：岩波の文化講演会から」 『沖縄タイムス』 1976. 11. 12 1976
261. 「イモの文化とイネの文化：岩波の文化講演会から2」 『琉球新聞』 1976. 11. 12 1976
262. 「米への考え方」 『食糧管理月報』 28巻11号 食糧庁編 1976 pp. 8-12
263. 「ロードデンドロンの原種の分布と環境」 『新花卉』 Vol. 92 1976 pp. 20-25  
グラビア1p
264. 対談「照葉樹林のおもかげ 1 農耕文化の源流を訪ねて」 『畑地農業』 No. 215 1976 pp. 2-10
265. 対談「照葉樹林のおもかげ 2 アジア・農耕文化に思う」 『畑地農業』 No. 216 1976 pp. 2-14
266. コメント（「東アジアの雑草燕麦：その民族植物学的考察」山口裕文著） 『季刊人類学』 Vol. 7, No. 1 講談社 1976 pp. 103-104
267. 座談会「討論：栽培植物と農耕の起源」 阪本寧男, 田中正武, 中尾佐助, 樋口隆康, 堀田満, 渡部忠世, 佐々木高明（司会） 『季刊人類学』 Vol. 7, No. 2 講談社 1976 pp. 3-75
268. コメント（「醗酵法の故郷」徳井賢著） 『季刊人類学』 Vol. 7, No. 4 講談社 1976 p. 72
269. 「合理と心情」 『地上』 30巻3号 家の光協会 1976 pp. 28-31
270. 「国際農業情勢と日本」 愛知県農業コンサルタント協会 1976 pp. 1-19  
講演記録

271. 「青いケシの咲く村」 (特集シルクロード) 『野生時代』 Vol. 3, No. 6 角川書店  
1976 p. 293
272. 「野菜の文化」 『ポエカ』 1976. 夏号 ポーラ化粧品会社 1976 pp. 11-17
273. 書評 (『食卓の文化誌』石毛直道著) 『朝日ジャーナル』 Vol. 18, No. 51 1976  
p. 64
274. 「マイホームの木と草」 『花』 208号 フラワーソサイエティ 1976 p. 1
275. 「ツツジ」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 21 1976 pp. 506-508  
内グラビア1p
276. 「ヒマラヤのロードデンドロン」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 22 1976  
pp. 541-544  
内グラビア2p
277. 「農耕の起源と食生活」 『育種学最近の進歩』 第17集 日本育種学会 1976  
pp. 83-84  
日本育種学会創立25周年記念講演
278. 「第1回洛北セミナー開かる」 『アニマ』 1977. 5月号 1977 pp. 82-83
279. 「日本人の来た道: 体質は湖南型, 言語はチベット-ビルマ語系, 文化は照葉樹林文化。これが日本人の原点だ」 『歴史と人物』 1977. 6月号 中央公論社 1977  
pp. 120-129  
特集日本人はどこから来たか
280. 書評 (『作物のなかの歴史』塩谷格著) 『自然』 1977. 9月号 中央公論社 1977  
pp. 105-106
281. 「日本人の来た道」 (茶話会講演) 『日本綿業倶楽部』 月報No. 303 1977  
pp. 10-18
282. 「インドの山と森の信仰」 『どるめん』 No. 12 JICC出版 1977 pp. 92-102  
特集山と森のコスモロジー
283. 「半栽培という段階について」 『どるめん』 No. 13 JICC出版 1977 pp. 6-14  
特集縄文の栽培・採集植物
284. 「ダージリン・ボタニカル・ガーデン」 (世界の植物園巡り 2) 『園芸新知識』  
タキイ種苗会社 1977 pp. 32-33
285. 「植物栽培のはじまり」 『学校放送』 NHKラジオ 1学期 1977 p. 40
286. 研究「分類の論理」 『知の考古学』 No. 11 社会思想社 1977 pp. 2-21
287. 「高山植物と私」 『With Green』 Vol. 3, No. 2 西武不動産K. K 1977

### 3. 新聞・雑誌・その他

288. コメント（「ヒマラヤ三圃制の発見とその試論的展開」上野登著） 『季刊人類学』  
Vol. 8, No. 1(1977) 講談社 1977 pp. 223-225
289. 「ヒマラヤの青いケシ」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 63 1977  
pp. 1472-1474
290. 「有用植物を求めて」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 71 1977  
pp. 3105-3108
291. 「文化を生んだ栽培植物」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 72 1977 p. 3109
292. 「四大農耕文化の系統」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 72 1977  
pp. 3110-3118
293. 「料理技術の起源」 中尾佐助, 石毛直道 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 83  
1977 pp. 3138-3145
294. 「作物のある風景」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 84 1977 p. 3165
295. 「雑草の文化史」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 95 1977 p. 3193
296. 「栽培からの脱出雑草」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 95 1977  
pp. 3210-3213
297. フォーラム「飯沼氏のコメントに寄せて：リプライ」 『民博通信』 1977, No. 1  
1977 pp. 41-42
298. 「河口慧海と堺：探検と町人精神」 『市民科学講演会』 1978 12p  
開催：於堺市立科学教育研究所 1978. 7. 1
299. 「農業にみる日本文化の起源」 『職員時報』 1978. 8月1日号 大阪府 1978  
pp. 22-23  
講演記録
300. 「雨期のヒマラヤの花」 『サンケイ新聞』 1978. 8. 7(夕刊) 1978
301. 「私とササユリ」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 113 1978  
標題の表示（誤植）：私とサユリ
302. 「乳利用の歴史」 日本乳業協議会 1978 pp. 1-25  
講演記録
303. 春秋対談「米って、本当にすばらしい作物」 『旅行春秋』 No. 10 日本交通公社  
旅行クラブ 1978 pp. 5-7
304. 書評（『ニューギニア中央高地：京都大学西イリアン学術探検隊報告1963-1964』  
京都大学生物誌研究会編） 『季刊人類学』 Vol. 9, No. 2(1978) 講談社 1978  
pp. 225-227

305. インタビュー「築かれるか“米と乳”の文化」 『SNOW』 No. 193 雪印乳業株式会社 1978 pp. 16-17
306. 「聖書と万葉集の植物」 『週刊朝日百科 世界の植物』 No. 119 1978 pp. 3323-3325
307. 「タロイモは未来の重要な作物となるか」 中尾佐助, 堀田満, 西山喜一, 小西達夫, 吉田彰著 『採集と飼育』 第40巻3号 日本科学協会 1978 pp. 134-138
308. 「ホカホカ飯とスカスカ豆腐」 (独り者の台所 上) 『朝日新聞』 1978. 3. 13 1978
309. 「野菜保存のコツ」 (独り者の台所 中) 『朝日新聞』 1978. 3. 14 1978
310. 「冷凍庫レストラン」 (独り者の台所 下) 『朝日新聞』 1978. 3. 15 1978
311. 「ヒマラヤに魅せられた夫妻」 『神秘の王国：ブータンに“日本のふるさと”を見た夫と妻11年の記録』 西岡京治写真, 西岡里子文 学習研究社 1978 p. 8  
西岡京治・里子夫妻の紹介文  
標題の表示(誤植)：ヒマラヤに魅せらせた夫妻
312. 「菓子の起源とその定義をめぐって」 (座談会菓子と食文化 上) 林淳一, 今田美奈子, 中尾佐助 『タカラブネインフォメーション』 No. 1 1979 pp. 7-11
313. 「文化としての酪農」 『思う』 No. 10 麹町企画 1979 pp. 3-4
314. 「東アジアの酒文化」 『食の科学』 No. 47 1979 pp. 22-29  
特別企画中国・東南アジアの酒
315. 「乳の加工」 『長寿多満』 No. 8 カルピス食品工業K. K 1979 pp. 14-16
316. この人に聞く「食べ物と料理：民族の基層文化」 『畑地農業』 No. 250 1979 pp. 2-25
317. 「照葉樹林文化の建築」 『建築雑誌』 Vol. 94, No. 1145 1979 pp. 11-14
318. コメント(「第6王朝ペピオンク第2王子墳墓出土の真空状に保存されたエジプト菓子」 舟田詠子訳) 『季刊人類学』 Vol. 10, No. 3 講談社 1979 pp. 126-129
319. 図書推薦文(『ヒマラヤ紀行』 J. D. フーカー著 葉師義美訳) 白水社 1979  
オビの推薦文  
292. 58/H85
320. 「On the origin of Tuber-growing culture complex in Eastern Asia」  
『生物資源の活用：資源植物の進化・遺伝と生化学』 講演要旨集 1979 pp. 9-10  
開催：於名古屋市中日文化センター, 1979. 12. 15-12. 16  
本文は英語

### 3. 新聞・雑誌・その他

321. 対談「日本文化の源流を探る：照葉樹林文化との接点」 中尾佐助, 玉城哲対談  
『エコノミスト』 1980年1月1日号(新年特大号) 1979 pp. 44-53
322. 「東アジアのむぎ農耕論」 『国立民族学博物館特別研究 日本民族文化の源流の比較研究シンポジウム1 農耕文化』プログラム抄録 1980.1 国立民族学博物館  
1980 p. 19  
開催：於国立民族学博物館, 昭和55年1月28-31日
323. 「植物の採集と栽培植物」(栽培植物と文化 1) 『採集と飼育』 第42巻1号  
日本科学協会 1980 pp. 54-57
324. 「南太平洋の根栽農耕文化」(栽培植物と文化 2) 『採集と飼育』 第42巻2号  
日本科学協会 1980 pp. 110-113
325. 「ニジェール河のほとり：サバンナ農耕文化」(栽培植物と文化 3) 『採集と飼育』  
第42巻3号 日本科学協会 1980 pp. 166-169
326. 「ムギとパンのふるさと：地中海農耕文化」(栽培植物と文化 4) 『採集と飼育』  
第42巻4号 日本科学協会 1980 pp. 222-225
327. 「日本文化の母として：照葉樹林文化」(栽培植物と文化 5) 『採集と飼育』  
第42巻5号 日本科学協会 1980 pp. 278-281
328. 「多彩な栽培植物を開発：新大陸の農耕文化」(栽培植物と文化 6) 『採集と飼育』  
第42巻6号 日本科学協会 1980 pp. 334-337
329. 「優等生が多過ぎる」 『読売新聞』(大阪版) 1980. 3. 30 1980
330. 「小鳥や魚と遊ぶ」 『月刊教育の森』 1980. 4月号 毎日新聞社 1980 pp. 15-16
331. 書評(『栽培植物発祥地の研究』N. ヴァヴィロフ著 中村英司訳) 『自然』  
1980. 5月号 中央公論社 1980
332. 「探検と私：照葉樹林を認識するまで」 『自然』 1980. 6月号 中央公論社 1980  
pp. 54-60  
大阪府立大学農学部最終講義録, 1980. 2. 20  
スライド400枚を使用した後半部は割愛されている
333. 「雑草と人間文化」 『本』 1980. 7月号 講談社 1980 pp. 26-27
334. 「“食生活”をさぐる：われら第三の地球家族」 中尾佐助, 石毛直道対談 『国際  
協力』 No. 303(1980. 7) 国際協力事業団 1980 pp. 4-13
335. 「南総研だより発刊にあたり」 『南総研だより』 No. 1(1980. 8) 鹿児島大学南方  
地域総合研究センター 1980
336. 「東南アジア・オセアニアの農耕文化論」 『南総研だより』 No. 1(1980. 8)  
鹿児島大学南方地域総合研究センター 1980 p. 3.  
開催：第1回南総研センター研究会, 昭和55年6月25日

337. 「南方地域総合研究センターの紀要の発刊にあたって」 『南総研紀要』 Vol. 1, No. 1 鹿児島大学南方地域総合研究センター 1980
338. 「菓子の発達とその周辺」 (日本の大衆菓子の系譜 2 座談会菓子と食文化 下) 中尾佐助, 林淳一, 今田美奈子 『タカラブネインフォメーション』 No. 2 1980 pp. 7-11
339. 「料理の国の高い農業生産力」 『週刊朝日百科 世界の食べもの フランス2 パリの市場』 No. 2(1980. 12/14) 1980 pp. 1/54-1/56
340. 「雪男はいるか」 『大阪府立大学附属図書館報図書館だより』 第6号(1980. 1) 1980 pp. 1-2
341. 「農業時代の食べもの」 (特集食文化 3) 『葵』 No. 63 ホテルオークラ 1980 pp. 4-8
342. 「押し花の楽しみ」 (みんぱく・えっせい 35) 『月刊みんぱく』 Vol. 4, No. 9 国立民族学博物館 1980 p. 1
343. 「わが文明論的人口・食糧論」 『朝日ジャーナル』 Vol. 22, No. 17(1980. 4. 25) 1980 pp. 28-32
344. 「日本文化の室町形成：花卉園芸の発達を中心に」 『創造の世界』 No. 33 小学館 1980 pp. 6-17
345. シンポジウム「室町期：下剋上と地方の時代」 上山春平, 梅原猛, 河合雅雄, 作田啓一, 中尾佐助, 林屋辰三郎対談 『創造の世界』 No. 33 1980 pp. 18-37 1979年9月5日
346. 「米食民族の食生活」 『健康と体力』 Vol. 12, No. 8(1980. 8) 1980 pp. 9-12
347. 「照葉樹林文化の森林観」 『無限大』 No. 51 日本アイ・ピー・エム株式会社 1980 pp. 16-21
348. 「インドのチャパティ」 (風土記) 『世界の旅』 No. 11 趣味と生活 1980 pp. 69-73
349. 「人間の住居をながめて」 (世界の住宅の質) 『建築家』 No. 35 1980 pp. 4-7
350. 「植物と文化」 (1. サトイモ 2. バナナ 3. ヤムイモ (ヤマノイモの類) 4. 毒イモ 5. サトウキビ 6. パンノキ 7. 2種類のイネ 8. 雑穀 9. ムギ 10. パン 11. 米の食べ方 12. モチ性デンプン 13. 豆 14. 果物とナッツ 15. 野菜 16. 飼料作物 17. コーヒー 18. 雑草 19. 緑陰樹 20. 東西の花の文化) 『南日本新聞』 1981. 1. 4-5. 17 1981
351. 「照葉樹林祖語が農耕文化と共にタルミにもパプアにも広がった!？」 (日本人のルーツ連続対談 3) 大野晋, 中尾佐助対談 『週刊朝日』 1981年2月15日号増刊 1981 pp. 130-134

### 3. 新聞・雑誌・その他

352. 「近代化に揺れる秘境：ブータン課題抱える歩み」 桑原武夫，中尾佐助，松尾稔対談 『朝日新聞』 1981. 11. 24 1981
353. 「東南アジアの野生サトイモについて」 谷本忠芳，松本豪，中尾佐助 『近畿作物・育種談話会報』 26号 1981 pp. 40-43
354. 「ヒマラヤのプリムラ」 『新花卉』 No. 108 日本花卉園芸協会 1981 pp. 38-41  
グラビア2p
355. 「足踏包丁と胸突包丁」 『民博通信』 No. 15 国立民族学博物館 1981 pp. 2-6
356. 「樹木の博物誌」（対談文化資源としての樹） 中尾佐助，吉田光邦対談 『is』 Vol. 15 1981 pp. 2-7
357. 「フィールドノート論」 『調査情報』 No. 271(1981. 10) TBS調査局 1981 pp. 28-29
358. 「タロイモの起源と文化」 『育種学最近の進歩』 第22集 日本育種学会 1981 pp. 75-85  
第22回日本育種学会シンポジウム報告  
第2部 イモ類の起源と分化  
昭和55. 10. 16-10. 17
359. 「人類は毒をうすめて食べてきた」 『談』 No. 24 たばこ総合研究センター 1981 pp. 23-27
360. 「再論・米穀一万年貯蔵のすすめ」 『技術と普及』 Vol. 18, No. 1(1981. 1) 全国農業改良普及協会 1981 pp. 43-46  
特集日本農業の選択肢をさぐる 3
361. 「照葉樹林文化とナラ林文化」（文明のクロスロード 4） 『文明のクロスロード Museum Kyushu』 Vol. 1, No. 4 博物館等建設推進会議 1981 pp. 4-8
362. 「黒アフリカの農耕と牧畜」 『週刊朝日百科 世界の食べもの アフリカ2 黒アフリカの農耕文化』 No. 46(1981. 10/25) 1981 pp. 5/141-143
363. 「西アフリカのコーラ文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの アフリカ3 黒アフリカの狩猟・採集・牧畜文化』 No. 47(1981. 11/1) 1981 pp. 5/195-196
364. 「自然風土と食べ物の系譜」 『週刊朝日百科 世界の食べもの インド亜大陸 1』 No. 48 1981 pp. 5/197-201
365. 「台所に見るインドの食文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの インド亜大陸 2』 No. 48 1981 pp. 5/202-205
366. 「ヒマラヤの酒」 『週刊朝日百科 世界の食べもの ヒマラヤ』 No. 50(1981. 11/22) 1981 pp. 5/273-275



367. 特別講演「農耕文化史から見た東南アジア」 『南総研だより』 No. 3(1981. 2)  
鹿児島大学南方地域総合研究センター 1981 p. 3  
南総研シンポジウム(報告)  
昭和55年10月18-21日
368. 「『南海研だより』と改名するにあたって」 『南海研だより』 No. 4(1981. 9)  
改題No. 1 鹿児島大学南方海域研究センター 1981
369. 「照葉樹林文化と鹿児島」 『南海研だより』 No. 5(1981. 10) 鹿児島大学南方海  
域研究センター 1981  
開催：南総研センター創立記念講演会, 昭和55年9月20日
370. 「『南方海域研究センター』の発足にあたって」 『南海研紀要』 Vol. 2, No. 1  
鹿児島大学南方海域研究センター 1981
371. 「二十三年目のブータン」 『毎日新聞』 1981. 11. 30(東京版夕刊)  
1981. 12. 2(大阪版) 1981
372. 「東アジアの農耕文化の類型と縄文農耕」, 「総合討論」 『シンポジウム縄文農耕  
の実証性』 文部省科学研究費特定研究「古文化財」総括班編 1982  
pp. 78-81, pp90-100  
シンポジウム：於東京中野サンプラザ, 昭和56年1月20日  
612. 1/M031
373. 「南海の自然と人：鹿大フィジー調査隊報告 1」 『南日本新聞』 1982. 2. 26  
1982
374. 「人と花の世界史」 『サンケイ新聞』 1982. 4. 30 1982  
講演要旨
375. 座談会「世界の稲をめぐって：その歴史、文化的背景と望まれる国際協力」  
中尾佐助, 松尾孝嶺, 末次勲対談 『国際協力』 No. 327(1982. 7月号) 国際協力  
事業団 1982 pp. 10-15  
特集世界にひろがる稲づくり
376. 「野生の花, 栽培の花」 『サンケイ新聞』 1982. 12. 11 1982
377. 「照葉樹林文化帯」 『NHK歴史への招待』 No. 20 1982 pp. 42-44  
210. 6/N71
378. 座談会「料理の文化」 中尾佐助, 香川芳子, 筑波常治対談 『ぱいぷ』 No. 34  
日本専売公社 1982 pp. 1-6
379. 「南方海域と鹿児島」 会報『鵬南』 第7号(1982春季) 鵬南クラブ(鹿児島)  
1982 pp. 3-4
380. 「ナットウとミソの来た道」(文化のルーツを探る 6) 『クロスロード』  
Vol. 18, No. 201 1982 pp. 36-41

### 3. 新聞・雑誌・その他

381. 「中国の風土と歴史を語る 8」 中尾佐助, 藤堂明保対談 『中国の古典』  
付録 学研 1982 pp. 1-7
382. 「人：仕事」 (談) 『日本経済新聞』 1982. 3. 2(第2部) 1982
383. 「稲のルーツやはり雲南」 (談話) 『朝日新聞』 (大阪版) 1982. 12. 15 1982
384. 「中国の粉食」 『週刊朝日百科 世界の食べもの 中国 3 山東, 山西, 東北』  
No. 63 1982 pp. 7/80-84
385. 「中国の米と粒食」 『週刊朝日百科 世界の食べもの 中国 5 上海, 湖南, 湖北』  
No. 65(1982. 3/14) 1982 pp. 7/118-120
386. 「東南アジアの野菜」 『週刊朝日百科 世界の食べもの 東南アジア 1 食事文化,  
果物, 野菜』 No. 75 1982 pp. 8/136-140
387. 「鹿児島島の南方野菜」 『週刊朝日百科 世界の食べもの 郷土の料理 16 大分・  
宮崎・鹿児島』 No. 96 1982 pp. 10/163
388. 「日本の野菜と果物」 『週刊朝日百科 世界の食べもの 日本編 24 野菜・果物』  
No. 104 1982 pp. 11/85-86
389. 「根栽農耕文化が地金」 『読売新聞』 1983. 1. 10(夕刊) 1983
390. 「中尾佐助教授退官記念号目録集：略歴・海外探検調査歴・著作目録」 『鹿児島大  
学南海研紀要』 3巻2号 鹿児島大学南方海域研究センター 1983 pp. 3-22
391. 「民族・農耕文化・主食」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 1 米とイ  
モの文化』 No. 121 1983 pp. 13/1-4
392. 「イモを食べる文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 1 米とイモの  
文化』 No. 121 1983 pp. 13/20-23
393. 「ムギ食の成立」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 2 ムギの文化』  
No. 122 1983 pp. 13/29-33
394. 「アジア・中近東のムギ食」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 2 ムギ  
の文化』 No. 122 1983 pp. 13/40-47
395. 「マメの料理文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 3 雑穀とマメの  
文化』 No. 123 1983 pp. 13/73-79
396. 「民族と肉食」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 4 肉食の文化』  
No. 124 1983 p. 13/104
397. 「野菜と人間」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 7 野菜の文化』  
No. 127 1983 pp. 13/169-175

398. 「食べ物としての果物とナッツ」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 8 果物とナッツの文化』 No.128 1983 pp.13/197-201
399. 「ヤシの文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 8 果物とナッツの文化』 No.128 1983 pp.13/221-224
400. 「油脂の起源と普及」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 11 油脂の文化』 No.131 1983 pp.14/1-5
401. 「麴酒の系譜」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 12 世界の酒』 No.132 1983 pp.14/44-47
402. 「蒸留酒のインド起源説」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 12 世界の酒』 No.132 1983 p.14/54
403. 「共食器の文化, 個人食器の文化」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 16 食器と食卓の文化』 No.136 1983 pp.14/141-143
404. 「食器と素材」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 16 食器と食卓の文化』 No.136 1983 pp.14/144-146
405. 「世界の台所と調理器具」 『週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 17 台所と調理器具の文化』 No.137 1983 pp.14/169-174
406. 「食文化から世界を考える」 座談会 『週刊朝日百科 世界の食べもの 索引』 No.140 1983 pp.1-8
407. 「稲作文化を見直す」 『高校通信東書日本史世界史』 No.89 東京書籍 1983 pp.2-6  
表紙は中尾佐助撮影の写真
408. 「まかないの文化：調理と調理の場」 『GA ガラス』 1983.8月号 綜建築研究所 1983 pp.3-5
409. 鼎談「緑と人間」 中尾佐助, 稲本正, 下河辺淳 『月刊NIRA』 Vol.5, No.9 総合研究開発機構(NIRA) 1983 pp.22-28
410. 「東アジアの食事文化」 『ひらけゆく電気』 1983.11月号 ひらけゆく電気発行所 1983 pp.3-5
411. 対談「秋日、デイズニーランドをゆく」 中尾佐助, 郡司正勝 『調査情報』 1983.12月号(No.297) 東京放送 1983 pp.4-12
412. 「食文化 1」 (人間：その新しい臨床像 21) 飯島衛, 中尾佐助, 筑波常治出席 『看護展望』 8巻9号 メヂカルフレンド社 1983 pp.45-52
413. 「食文化 2」 (人間：その新しい臨床像 22) 飯島衛, 中尾佐助, 筑波常治出席 『看護展望』 8巻10号 メヂカルフレンド社 1983 pp.41-46

### 3. 新聞・雑誌・その他

414. 「手で皮のむける果物」 『嗜好』 487号 明治屋 1983 pp. 3-8
415. 対談「稲作文化と調理 1」 中尾佐助, 奥村彪生対談 『食生活研究』 Vol. 4, No. 1 食生活研究会 1983 pp. 26-35
416. 対談「稲作文化と調理 2」 中尾佐助, 奥村彪生対談 『食生活研究』 Vol. 4, No. 2 食生活研究会 1983 pp. 36-39
417. 書評（『プラント・ハンター物語：植物を世界に求めて』 T. ホイットル著 白幡洋三郎, 白幡節子訳） 『自然』 1983. 4月号 1983 pp. 105-106
418. 「船岡公園」（私の好きな京都） 『京都新聞』 1983. 5. 31 1983
419. 「ホンマに好き勝手にやってきた」 『リクルートNEWS関西』 1983. 6. 10 1983
420. 「暮らしと緑 上・下」座談会 中尾佐助, 広沢真佐子, 吉村元男対談 『朝日新聞』 1983. 6. 8-6. 9(朝刊) 1983
421. 「酒と料理とのかかわりについて」 『新潟清酒研究会設立十周年記念誌：10年のあゆみ』 新潟清酒研究会 1983 pp. 29-44  
記念文化講演会講演記録  
開催：於新潟厚生年金会館, 1982. 10. 1
422. 「ササニシキとコシヒカリ」 『毎日新聞』 1983. 6. 17(夕刊) 1983
423. 「一番列車の音とともに」 『週刊朝日』 1983. 7. 8 1983
424. 「欠乏段階の食, 過剰段階の食」（シリーズ21世紀の食を考える 173）  
『フジマーケティング・レポート食品シリーズ』 No. 546 1983
425. 「米の料理法さまざま：炊き方と炊飯器」 『東書 中学技術・家庭 71』  
東京書籍 1983 p. 22
426. 「日中食文化比較考」（特集今も昔も複製文化暮らしのなかの中国） 『太陽』  
No. 256 1983 pp. 93-95
427. 「雨期の照葉樹林」（私のもう一度行ってみたい街 No. 65 プータン） 『文芸春秋』  
1983. 11月号 1983 p. 369
428. 「野菜・果物はなぜ不味くなった？」 『バンガード』 1983. 10月号 1983 p. 36
429. 「週刊誌の料理店紹介」 『教育と情報』 No. 308 文部省大臣官房情報処理課  
1983 pp. 20-21
430. 「世界各地で選択利用」 『ジャガイモ・根菜料理100選』（朝日材料別料理シリーズ 2） 1983 pp. 2-3
431. 「東・西食文化の接点ヒマラヤ」 『日本経済新聞』 1983. 11. 26(夕刊) 1983

432. 「文化史的にみた医学：照葉樹林文化との関連」 『アーユルヴェーダ研究』  
第13号(1983年度版) 1983 pp. 34-40
433. 対談「思想の冒険」 中尾佐助, 桑原武夫 『創造的市民』 No. 3(1984) 京都市社  
会教育振興財団 1984 pp. 2-7  
1983. 11. 2 於京都市社会教育総合センター
434. 「ムギ類と古代国家」 『UTAN』 Vol. 3(1984. 8月号) 学研 1984 pp. 94-97
435. 「花の文化史」 『日本の美学』 Vol. 1, No. 3 ぺりかん社 1984 pp. 18-30  
特集花
436. コメント1(「定住革命：新石器時代の人類史的意味」西田正規著) 『季刊人類学』  
Vol. 15, No. 1 講談社 1984 pp. 27-29
437. コメント(「アフリカの米」竹沢尚一郎著) 『季刊人類学』 Vol. 15, No. 1  
講談社 1984 pp. 116-118
438. 「随想」(1. 人間は肉食獣 2. 味は脳でできる 3. 薄味の法則 4. 牛乳は完全食品か  
5. 「甘い」は「美味しい」か 6. 食べ物の価格) 『神戸新聞』 1984. 1. 11-3. 24  
(夕刊) 1984
439. 「コウシンバラの野生種」 『新花卉』 No. 121 1984 p. 23
440. 「古代は語る」(1. 照葉樹林文化 2. 栽培植物) 森浩一インタビュー  
『サンケイ新聞』 1984. 3. 19-4. 16 1984
441. 「完全種の基本条件を考える：生きている生物の社会から出発した概念規定」  
『採集と飼育』 1984. 8号 1984 pp. 352-356
442. 「消えゆく照葉樹林帯：中国・雲南省を旅して」 『朝日新聞』 1984. 10. 27(夕刊)  
1984
443. 「東アジアの酒」 『日本醸造協会雑誌』 Vol. 79, No. 11 1984 pp. 791-795
444. 「少年時代の花作り」 『朝日園芸百科 8』 1984 p. 1
445. 「食の周辺文化論：地域で異なる“包丁とまな板の文化”」 『サンケイ新聞』  
1984. 11. 29 1984
446. 「藤谷淳之介君の憶いで」 『木原生研の思い出』 木原生物学研究所 1984 p. 32
447. 「雲南の照葉樹林」 『朝日新聞』(東京版) 1984. 11. 7(夕刊) 1984
448. 「花と小鳥と星」 『小学校学級担任』 1984. 8月号 第一法規 1984 pp. 14-15
449. コメント1(「混合樹林考」今西錦司著) 『季刊人類学』 Vol. 16, No. 3 1985  
pp. 12-17

### 3. 新聞・雑誌・その他

450. 書評（『雲南の照葉樹のもとで』佐々木高明編著） 『民博通信』 No. 27  
国立民族学博物館 1985 pp. 33-34
451. 「雲南に照葉樹林をたずねて」（館長対談 88） 中尾佐助，梅棹忠夫  
『月刊みんぱく』 1985. 3月号 国立民族学博物館 1985 pp. 2-7
452. 「6000年前の作物栽培：縄文日本と外国」 『月刊NHKサラリーマンライフ』 Vol. 1,  
No. 9 1985 p. 120
453. 「油脂の歴史と文化」（特集食文化 24） 『葵』 No. 84 ホテルオークラ 1985  
pp. 4-8
454. 「民族学者として出会ったことども」 『アジアの無塩発酵大豆食品：アジア無塩発  
酵大豆会議講演集』 1985 pp. 179-183  
特別講演1985. 7 於筑波研究学園都市
455. コメント1（「照葉樹林文化をめぐる」） 『民族学研究』 49巻4号 1985  
pp. 394-396
456. 「人はなぜ小麦を選んだか？」（インタビュー 1） 『小麦粉博物誌』 日清製粉  
株式会社編 文化出版局 1985 pp. 65-80  
『小麦粉博物誌 2』（1986 237p）は中尾佐助監修，（619. 3/N87/2）  
619. 3/N87/1
457. 新春座談会「食卓をめぐる：肉の食文化を語る」 荻昌弘，中尾佐助，江上栄子対  
談 『ロータリー』 Vol. 21, No. 1 日本ハム株式会社 1985 pp. 4-7, 10-11
458. 「東アジアの酒の源流を求めて」 中尾佐助レポート，松本栄一写真 『Liquor  
Shop』 No. 58 1985 pp. 21-27
459. 「転ばぬ先の杖」 『海外学術調査ニュースレター』 No. 4 1985 p. 2
460. 「味は文化なり」（シリーズ「現代文化を考える」 5） 中尾佐助，石毛直道，  
中内功対談 『サンケイ新聞』 1985. 5. 30 1985
461. 「照葉樹林との出あい」 『グリーンパワー（森林文化）』 朝日新聞社 1985  
pp. 38-41
462. 「ヒマラヤの動物たち」 『どうぶつと動物園』 Vol. 37, No. 7 1985 p. 1
463. 「一番列車の音とともに」 『朝日ブックレット 58 日本の市場』 朝日新聞社  
1985 p. 46
464. 書評（『ブナ帯文化』市川健夫，梅原猛ほか著） 『正論』 1985. 9月号 サンケイ  
新聞社 1985 pp. 196-198
465. 「埋土醗酵加工法」 『食の文化フォーラム：食と微生物』 第1回要旨 味の素株  
式会社 1985 p. 8  
開催：1985. 7. 18

466. 「緑なすアルプの彼方の白い峰々」(秘境特集/開かれたブータン・ヒマラヤ) 『岳人』 No. 460(1985. 10) 1985 p. 66-67
467. 「ヒマラヤの自然保護私見」 『公開シンポジウム「ヒマラヤの生態系と環境」』 1985 pp. 4-5  
講演原稿
468. 「東南アジア：米と野菜と魚の食事体系」 『朝日カルチャーブックス 52 アジアの食文化』 周達生ほか著 大阪書籍 1985 pp. 151-177  
081. 6/123/52
469. 「野菜と文化」(特集：食文化 25) 『葵』 No. 85 ホテルオークラ 1986  
pp. 4-8
470. 「ヒマラヤの自然保護私見」 『シンポジウム・ネパール』 Vol. 14 日本ネパール協会 1986 pp. 49-50  
第3回公開シンポジウム「ヒマラヤの生態系と環境」(1985年)講演原稿の再録
471. 「竹と文化：照葉樹林圏と重なって」 『竹と建築：空間演出のバイ・プレイヤー』 (INAX BOOKLET) Vol. 6, No. 4 1986 pp. 4-6
472. コメント(「カビ発酵酒の起源：アッサムの酒」吉田集而著) 『季刊人類学』 Vol. 17, No. 4 1986 pp. 104-108
473. 「植物の室町時代」 『週刊朝日百科 日本の歴史』 19(通巻547)(1986. 8. 17) 1986 pp. 5/242-243
474. 「文明人が生肉を食べる時代に…」(肉の食文化 13) 『ロータリー』 1986. 3月号 1986 pp. 2-3
475. 「人間と自然生態系」(要旨) 『第65回大学共同セミナー関西地区大学セミナーハウス』 1986
476. 「木原均先生への追憶」 『毎日新聞』 1986(日付不明)(夕刊) 1986
477. 「探検と冒険」 『中央公論』 1986. 9月号 1986 pp. 41-43
478. 「ヒョウタンの旅」(談) 『週刊朝日百科 日本の歴史』 No. 37 1986 p. 128
479. 「木原均先生の憶いで：追悼」 『山』 No. 498 1986 p. 8
480. 「埋土醗酵加工法」 『醗酵と食の文化』 ドメス出版 1986 pp. 51-61  
588. 51/3
481. 「食の展望」 『めんづくり味づくり：明星食品30年の歩み』 エーシーシー編 明星食品 1986 pp. 492-495
482. 「いけばなと花環：花を鑑賞する文化」 『草月』 171号(特集花) 1987  
pp. 14-17

### 3. 新聞・雑誌・その他

483. 座談会「AACKと山岳部の戦後」 西堀栄三郎, 中尾佐助, 近藤良夫ほか 『AACK時報』  
No. 10 京都大学学士山岳会 1987 pp. 8-29
484. 「私の三冊」 『図書』 454号 1987 p. 61
485. 「生物学における基礎研究」 『精密工学会誌』 53巻1号 1987 pp. 42-44
486. 「東の米、西の米」 『インベリアル』 No. 67 帝国ホテル 1987 p. 17-19
487. 「東南アジアの花」 『国際協力』 1987. 2月号 1987  
表紙裏に記載
488. 「中尾佐助、〈花と木〉の本を語る」 『月刊ウィークス』 1987. 3月号 日本放送  
出版協会 1987 pp. 122-123
489. 「ワインとチーズ」 『農林水産図書資料月報』 1987. 3月号 1987 p. 73
490. 「栽培植物は気候風土というより、その国の文化が選択する」 (談) (わたしの「季」  
の文化 3) 『新・くらしの本』 Vol. 6(1987. 5) ナショナル・パナホーム 1987  
pp. 28-29
491. 序 (『雷龍の花園』 森和男著) 東アジア野生植物研究会 1987
492. 「江戸の花狂い」 (大江戸曼陀羅 21) 『朝日ジャーナル』 1987. 5. 29号 1987  
pp. 62-66
493. 「照葉樹林と私」 (講演) 1986-1987R I 第260地区三河第1分区インターシティ・  
ゼネラル・フォーラム報告書 豊川ロータリークラブ 1987 pp. 30-34
494. 「コムギとオームギ」 『穀物科学』 (関西穀物科学研究会設立10周年記念集)  
関西穀物科学研究会日清製粉神戸第二工場内 1987 p. 84
495. 「東南アジアの花卉文化」 『学会会報』 No. 776(1987. 3) 1987 pp. 68-72
496. 「石蒸し料理」 (オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ 29) 『南日本新聞』  
1987. 7. 31 1987
497. 「京都・紫野」 (都市の遠近) 『朝日新聞』 1987. 12. 5 1987
498. 「ドロボーの植物学: 民族植物学の体系」 (随想) 『遺伝』 42巻7号 1988  
pp. 2-3
499. コメント1 (「ヒト: 植物関係の実相—エチオピア西南部オモ系農耕民アリのエンセ  
ーテ栽培と利用」 重田眞義著) 『季刊人類学』 Vol. 19, No. 1 1988 pp. 272-277
500. 書評 (『お茶の文化誌: その民族学的研究』 周達生著) 『民族学研究』 Vol. 53,  
No. 3 日本民族学会 1988 pp. 321-324
501. 「門外漢の古典」 『図書』 No. 474 臨時増刊 岩波書店 1988 pp. 8-10



502. 「ブナ林早春譜」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.4月号 誠文堂新光社  
1988 p.5
503. 「屋久杉夢幻」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.5月号 誠文堂新光社  
1988 p.5
504. 「黒潮の恵み: マングローブとサキシマスオウ」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』  
1988.6月号 誠文堂新光社 1988 p.5
505. 「永久凍土層を偲んで: 阿寒国立公園の針葉樹林」(原生林讃歌) 『ガーデンライ  
フ』 1988.7月号 誠文堂新光社 1988 p.5
506. 「原始の姿をとどめるヤンバルの森」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.8  
月号 誠文堂新光社 1988 p.5
507. 「亜高山帯針葉樹林」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.9月号 誠文堂新  
光社 1988 p.5
508. 「社寺林に残るその面影: 奈良・春日山」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』  
1988.10月号 誠文堂新光社 1988 p.5
509. 「森林限界の樹林: 日本アルプス」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.11  
月号 誠文堂新光社 1988 p.5
510. 「晩秋のブナ林: 奥只見の紅葉」(原生林讃歌) 『ガーデンライフ』 1988.12月号  
誠文堂新光社 1988 p.5
511. 「私の冷凍食生活」 『ニューフレイバー』 No.190 1988 pp.18-22
512. 「朝市」(オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ 85) 『南日本新聞』 1988.1.25号  
1988
513. 書評(『植物文化史』北村四郎著) 『週刊読書人』 1988.3.7号 1988
514. 「沖縄の食から世界の食をみる」 『日本の食生活全集』 第47巻 聞き書沖縄の食  
事 月報20 1988 pp.1-7
515. 「花と木の文化史」 『花と緑』 Vol.2, No.4 花の万博Expo'90 1988 pp.16-18  
花の万博Expo'90特別講演
516. 「人間と薬用植物の歴史」 『四国新聞』1988.6.17号, 『山形新聞』1988.6.20号,  
『中国新聞』1988.7.5号, 『京都新聞』1988.7.6号 1988
517. 「花の美は人の心の中にある」(談) 『Light up. The Quality Magazine』  
1988.10 1988 p.59
518. 書評(『雑穀のきた道: ユーラシア民族植物誌から』阪本寧男著) 『季刊人類学』  
Vol.19, No.3 1988 pp.208-215

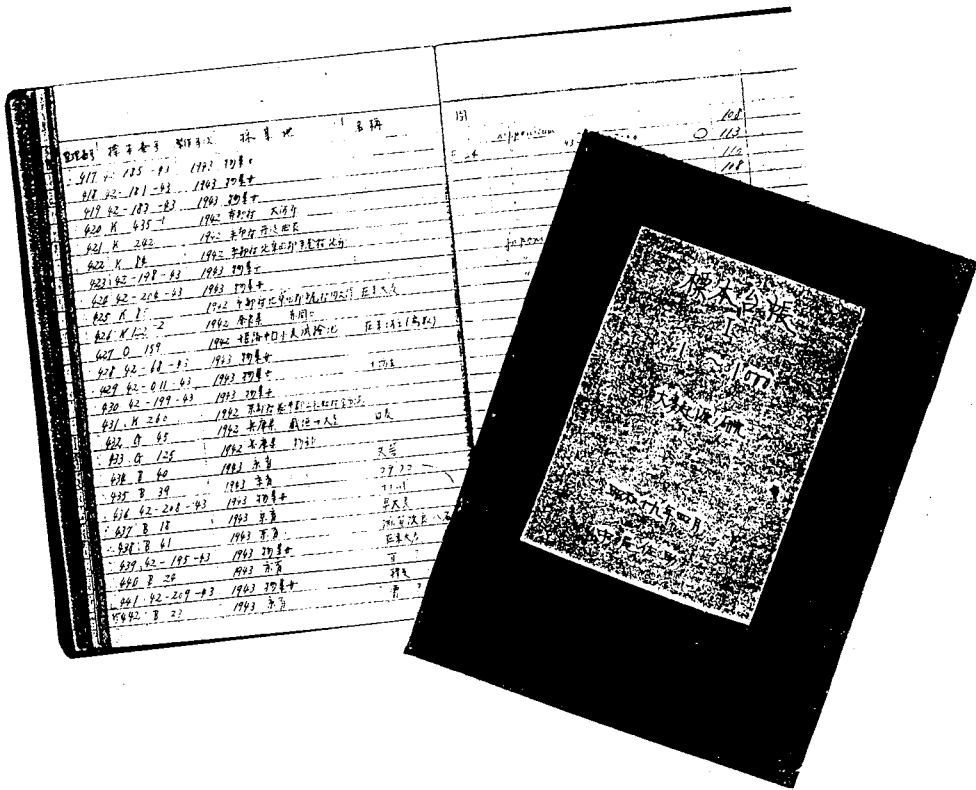
### 3. 新聞・雑誌・その他

519. 「儀礼尊ぶ“稲作文化圏”」 『朝日新聞』 1988.12.29 1988
520. 「照葉樹林文化帯」 『邪馬台国の謎』 NHK編 日本放送出版協会 1988  
pp. 55-63
521. 「雪の針葉樹林：大雪山」（原生林讃歌） 『ガーデンライフ』 1989.1月号  
誠文堂新光社 1989 p. 5
522. 「霧氷舞い散るカラマツ林：信州」（原生林讃歌） 『ガーデンライフ』 1989.2月号  
誠文堂新光社 1989 p. 5
523. 「日本海の重い雪：蔵王のモンスター」（原生林讃歌） 『ガーデンライフ』  
1989.3月号 誠文堂新光社 1989 p. 5
524. 「クズの植物学的分類について」 『民博通信』 No. 43 1989 pp. 30-31
525. 「地球文明論」 中尾佐助, 遠藤恵大対談 『流通経済』 1989.1.5号 1989  
pp. 2-17
526. 「花文化の流れ」 『生きる』 Vol. 6, No. 1 安田火災海上保険株式会社 1989  
pp. 14-21
527. 「花と民族文化」 『園芸植物大事典』 第3巻月報 1989 pp. 1-2
528. 「アジア大峡谷地帯への憧れ：日中合同学術登山隊京大グループ雲南省・最後の秘境  
に挑む」 『産経新聞』 1989.3.24 1989  
雲南特集  
座談会「ベール脱ぐ? 未踏の大峡谷」(中尾佐助, 乙藤洋一郎, 左能典代, 栗田靖之)
529. 推薦文(『有用植物事典』(平凡社 1989)の帯) 1989
530. 「食糧を求めて：栽培植物の風土」 『週刊朝日百科 日本の歴史』 25(1989.5.14)  
1989 pp. 138-141
531. 「今西さんとの出会い」 『今西錦司：その人と思想』 川喜多二郎監修 ぺりかん  
社 1989 pp. 465-467  
『今西錦司全集』第3巻月報(1974.11)の再録  
460.4/38
532. 巻頭言「一日三回の儀礼」 『VESTA 食文化を考える』 第3号 味の素食文化セ  
ンター 1990 pp. 2-3
533. 「栽培植物のルーツを探る」 中尾佐助, 金田博夫対談 『あなたとサンスター』  
No. 104 サンスター広報室 1990 pp. 6-10
534. 「厳冬のモンゴル高原」 『梅棹忠夫著作集』 第2巻月報7 中央公論社 1990  
pp. 6-8
535. 「世界にひらく花文化」 『日本農業新聞』 1990.1.1 1990

536. 「考花学」(談) (1. 稲より桜, 日本文化 2. 輸出1号はツバキ 3. 武家文化, 名花生む 4. 花文化も西洋化) 『日本経済新聞』 1990. 4. 5-4. 26 1990
537. 「マトン料理は草原の香り」 『太陽』 臨時増刊号 No. 353(1990. 11月) 1990 pp. 66
538. 「分類の発想: 思考のルールをつくる」(自著を語る) 『Kihara Memorial Foundation News Letter』 No. 2 木原生物学研究所 1990 pp. 10-11
539. 「人間は肉食動物である」 『モノ誕生「いまの生活」』 晶文社 1990 pp. 492-500  
『食の文化』(講談社 1980) 分担執筆「食べるということ」より部分再録 383. 8/TA16
540. 『日本の原生林: 水越武写真集』(本文執筆) 岩波書店 1990  
『ガーデンライフ』(原生林讃歌) 1988年連載の再録 748/36
541. 「紫野」 『都市の遠近: 大阪・兵庫・奈良・京都』 築地仁写真 朝日新聞大阪本社学芸部編 東方出版 1990 pp. 190-191
542. 「ヒマラヤに日本文明の源流を見た: アジア“照葉樹林文化”地帯を歩いた半生」(私の生きかた 256) 『公研』 Vol. 39, No. 5 公益産業研究調査会 1991 pp. 42-59
543. 「民族植物学と文化複合」(学術研究の動向) 『学術月報』 Vol. 44, No. 1 1991 pp. 6-11
544. 「乳食文化の原像: その原点と展開の諸相を探る」その1 中尾佐助, 谷泰, 石毛直道鼎談, 和仁皓明司会 『Health Digest』 Vol. 6, No. 5 雪印乳業株式会社健康生活研究所 1991 pp. 1-6
545. 「乳食文化の原像: その原点と展開の諸相を探る」その2 中尾佐助, 谷泰, 石毛直道鼎談, 和仁皓明司会 『Health Digest』 Vol. 6, No. 6 雪印乳業株式会社健康生活研究所 1991 pp. 1-6
546. 「ニューギニア高地人」 『本多勝一を解説する』 中野美代子編著 晩聲社 1992 pp. 193-202  
『ニューギニア高地人』本多勝一著, 中尾佐助解説(朝日新聞社 1981) (389. 73/H 84)の解説再録 289. 1/N39
547. 「わが文明論的人口・食糧論」 『朝日ジャーナルの時代: 1959→1992』 朝日新聞社 1993 pp. 948-952 304/A82
548. 「“噛み料”の文化」 『VESTA 食文化を考える』 第14号 味の素食の文化センター 1993 pp. 4-18

3. 新聞・雑誌・その他

549. 「山を歩けばササばかり」 『富士竹類植物園報告』 Vol. 37 1993 pp. 204-206
550. サライ・インタビュー「中尾佐助育種学・栽培植物学者」 『サライ』 1993. 12. 2号 小学館 1993
551. 「土穴貯蔵へのコメント」 生活技術の人類学：国立民族学博物館シンポジウムの記録 吉田集而編 平凡社 1995 pp. 150-153  
389. 04/Y86
552. 「江戸の花狂い」 『大江戸曼陀羅』 朝日ジャーナル編 朝日新聞社 1996  
pp. 186-193  
初出『朝日ジャーナル』1987. 5. 29号掲載  
210. 5/A82



標本台帳「大麦起源ノ研究」(1944年4月)

## 第2部 オリジナル資料

### 1. スライド

1. 「カラコラム 1955」 2冊  
S389/N41/55(1-2)
2. 「Bhutan 1958」 6冊  
S389/N41/58(1-6)
3. 「シッキム・アッサム 1959」 3冊  
S389/N41/59(1-3)
4. 「ネパール 1962」 1冊  
S389/N41/62(1)
5. 「O. F. H. E. (Yasuda) 1962」 3冊  
大阪府立大学東北ネパール学術調査隊  
S389/N41/62(2-4)
6. 「アフリカ 1968」 5冊  
S389/N41/68(1-5)
7. 「沖縄 1976, 1983」 1冊  
S389/N41/76
8. 「ヨーロッパ 1976」 5冊  
S389/N41/76(1-5)
9. 「ヨーロッパセット 1976」 1冊  
S389/N41/76(6)
10. 「東南アジア 1976-1977」 6冊  
S389/N41/76-77(1-6)
11. 「中国 1977」 8冊  
S389/N41/77(1-8)
12. 「地中海 1977」 8冊  
S389/N41/77(1-8)
13. 「東南アジア 1978」 12冊  
S389/N41/78(1-12)
14. 「ソビエト 1978」 7冊  
S389/N41/78(1-7)

## 1. スライド

15. 「パプア・ソロモン 1980」 8冊  
S389/N41/80(1-8)
16. 「南太平洋 1981」 2冊  
S389/N41/81(1-2)
17. 「ブータン 1981」 3冊  
S389/N41/81(1-3)
18. 「インド・ネパール 1981」 10冊  
S389/N41/81(1-10)
19. 「フィジー航海 1981-1982」 1冊  
S389/N41/81-82
20. 「八丈島 1982」 1冊  
S389/N41/82
21. 「雲南 1984」 3冊  
S389/N41/84(1-3)
22. 「ヒマラヤの花」 3冊  
S389/N41/1-3
23. 「サトイモ」 1冊  
S389/N41
24. 「雑 1976-, 1977-」 3冊  
S389/N41
25. 「マナスル」 (毎日教育スライド) 1冊  
S389/N41
26. 「ガーデン・フローラ」 3冊  
1:1976-  
2:1976-1979  
3:1979-  
S389/N41/1-3
27. 「花卉・庭園 1982」 2冊  
S389/N41/1-2
28. 「東南アジア, 東アフリカ (複写)」 1冊  
S389/N41

## 2. スクラップブック

1. 「年代別スクラップブック 1954-1990, 1990-」 27冊  
SB389/N41/54-90
2. 「ヒマラヤの花」 11冊  
SB389/N41/1-11
3. 「サトイモ 1978」 1冊  
SB389/N41/12
4. 「山と花と:編集用白黒高山植物写真」 2冊  
SB389/N41/13-14
5. 「花と庭木」 1冊  
SB389/N41/15
6. 「植物と文化 1981」 (南日本新聞) 1冊  
SB389/N41/16
7. 「大江戸曼陀羅 1987」 (朝日ジャーナル) 1冊  
SB389/N41/17
8. 「料理の起源 1969 (図版)」 2冊  
SB389/N41/18-19
9. 「徳岡. ヒマラヤ・日本人」 1冊  
SB389/N41/20
10. 「東南アジア 1976-1977, 1978」 2冊  
SB389/N41/21-22
11. 「ヨーロッパ 1976」 1冊  
SB389/N41/23
12. 「地中海 1977」 1冊  
SB389/N41/24
13. 「中国 1977」 1冊  
SB389/N41/25
14. 「ソビエート 1978」 1冊  
SB389/N41/26
15. 「大麦起源研究原図集」 1冊  
SB389/N41/27

## 2. スクラップブック

16. 「盆栽 1979-」 1冊  
SB389/N41/28
17. 「雑草」 1冊  
SB389/N41/29
18. 「考古学資料」 1冊  
SB389/N41/30
19. 「植物園」 1冊  
SB389/N41/31
20. 「O. F. H. E. 1962」 10冊  
大阪府立大学東北ネパール学術調査隊  
SB389/N41/32-41
21. 「府大東北ネパール調査隊 昆虫目録ほか」 1冊  
O. F. H. E.  
SB389/N41/42
22. 「栽培 定植」 1冊  
SB389/N41/43
23. 「庭園」 2冊  
SB389/N41/44-45
24. 「フッカー. シッキムのシャクナゲ」 2冊  
SB389/N41/46-47
25. 「フッカー. ヒマラヤン プランツ」 1冊  
SB389/N41/48
26. 「マードック. アフリカ」 1冊  
SB389/N41/49
27. 「麦 (文献)」 2冊  
SB389/N41/50-51
28. 「複写文献」 2冊  
SB389/N41/52-53
29. 「探検・展示会写真」 1冊  
SB389/N41/54
30. 「植物」 3冊  
SB389/N41/55-57



## 3. 遠征アルバム

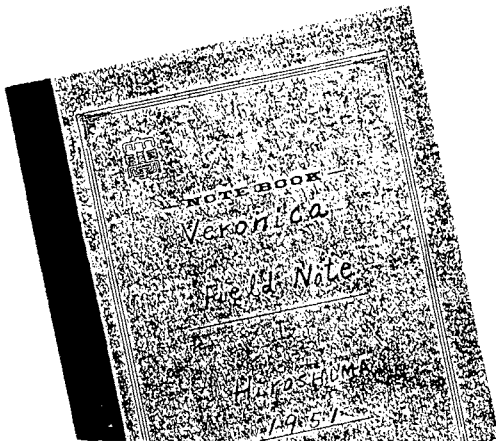
1. 「穂高・木曾駒 1935-1937」 1冊  
PH389/N41/1
2. 「日本中部山岳 1935-1937」 1冊  
PH389/N41/2
3. 「生態写真集 1935-1937」 1冊  
PH389/N41/3
4. 「西部小興安嶺 1939」 1冊  
PH389/N41/4
5. 「北鮮 1940. 樺太 1940-1941」 1冊  
PH389/N41/5
6. 「ボナペ島 1941」 2冊  
PH389/N41/6-7
7. 「北部大興安嶺幻影 1942」 1冊  
PH389/N41/8
8. 「東部小興安嶺 1943」 2冊  
PH389/N41/9-10
9. 「ネパール 1952」 2冊  
PH389/N41/11-12
10. 「ネパール 1952-1953」 14冊  
PH389/N41/13-26
11. 「ネパール 1953」 3冊  
PH389/N41/27-29
12. 「K. U. S. E. 1955」 5冊  
京都大学カラコラム・ヒンズークシ探検隊  
PH389/N41/30-34
13. 「ブータン 1958」 12冊  
PH389/N41/35-46
14. 「シッキム・アッサム 1959」 2冊  
PH389/N41/47-48
15. 「O. F. H. E. 1962」 2冊  
大阪府立大学東北ネパール学術調査隊  
PH389/N41/49-50

### 3. 遠征アルバム

16. 「O. F. H. E. EASTERN Nepal 1962」 2冊  
大阪府立大学東北ネパール学術調査隊  
PH389/N41/51-52
17. 「展覧会写真 (O. F. H. E. 1962)」 1冊  
PH389/N41/53
18. 「Nukada」 2冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/54-55
19. 「Tsubaki」 3冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/56-58
20. 「Nishida」 3冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/59-61
21. 「Hirano」 2冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/62-63
22. 「Yasuda」 2冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/64-65
23. 「Kano」 3冊  
O. F. H. E. 1962の隊員アルバム  
PH389/N41/66-68
24. 「写真」 3冊  
PH389/N41/69-71
25. 「T. O. J. H. E. (M. Mori) 1963」 1冊  
PH389/N41/72
26. 「T. O. J. H. E. (Y. Tatsumi) 1963-1964」 1冊  
PH389/N41/73
27. 「遠征アルバムタイトルなし」 4冊  
PH389/N41/74-77

4. 記録ノート

1. 「記録ノート」 116冊
    - ・麦(大麦・小麦): 「大麦起源研究 S. 16-」 など41冊(1941-1967)
    - ・標本台帳(Seed catalog): 「NEPAL HIMALAYA Seed catalog (J. H. E.) 1952-1953」 など16冊(1948-1968)
    - ・発芽試験: 2冊
    - ・生態学: 「内蒙草原類型研究」 など3冊(1946)
    - ・米: 「水稻系統台帳 I ~1000」 など7冊(1956-1964)
    - ・各種植物: 「Veronica 1949」 など20冊(1946-1962)
      - 「HIROSHIMA」 2冊(1950-1951)
    - ・発送控: 「NEPAL HIMALAYA J. H. E. 1952 Plant specimen & Seeds 発送控」 など3冊(1951-)
    - ・その他: 「ヒマラヤ植物雑記 1952」 など11冊(1946-1958)
    - ・スライド台帳: 11冊
- N615. 21/N41



「Veronica Field Note」(1951)

$\frac{19}{705+19} = \frac{19}{724} = 0.0262$	2.6	10-21 319	正正正 S1 T
$\frac{6}{1015+1} = \frac{6}{1071} = 0.00560$	0.6	2	S1 S2 T
$\frac{9}{1125+9+1} = \frac{9}{1135} = 0.00793$	0.8	7	S1 S2 T
$\frac{2}{440+2} = \frac{2}{442} = 0.00452$	0.5	2	S1 S2 T
$\frac{2}{345+2} = \frac{2}{347} = 0.00577$	0.6	2	S1 S2 T
$\frac{13}{595+13} = \frac{13}{613} = 0.0212$	2.7	4	S1 S2 T

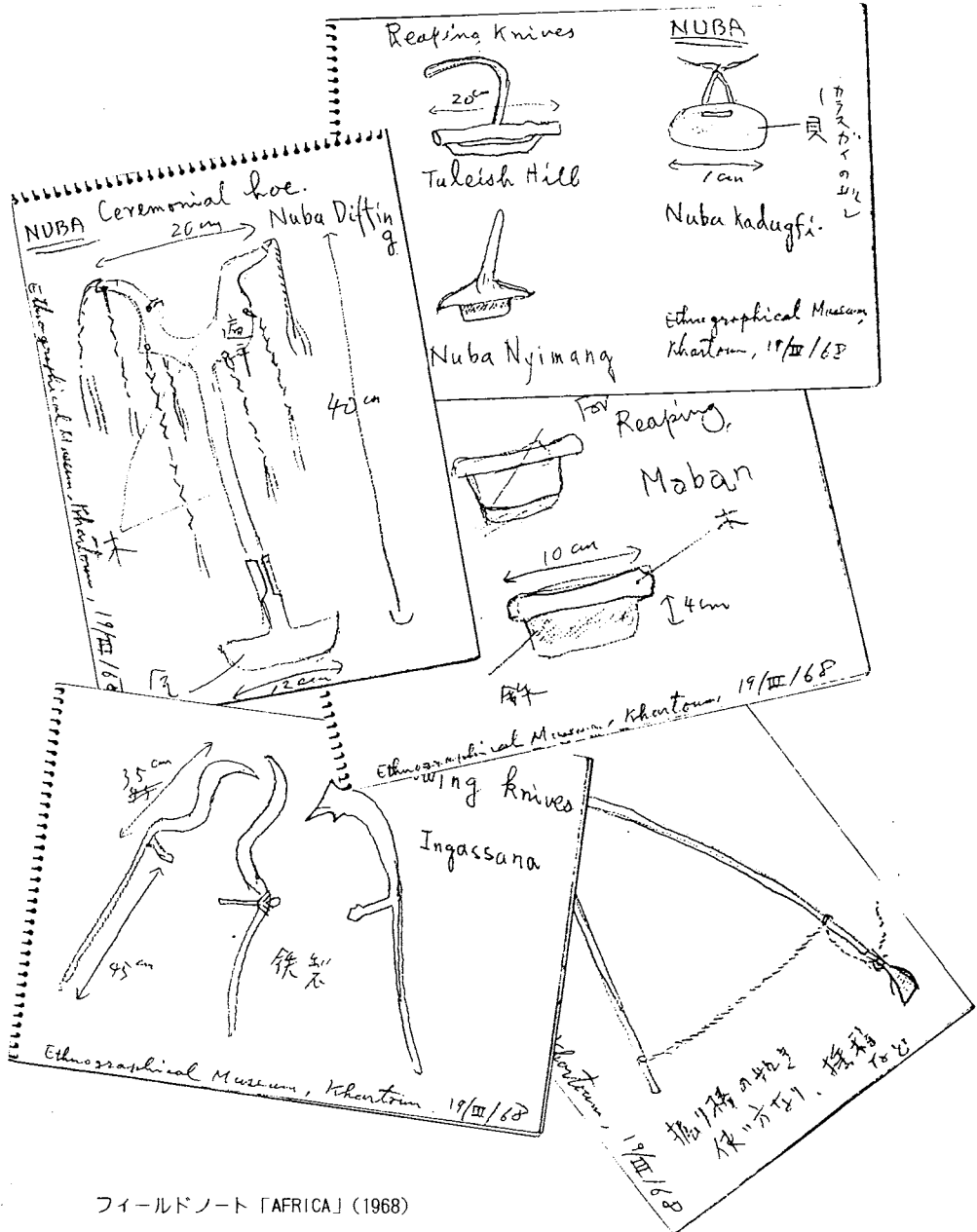
## 5. フィールドノート

### 5. フィールドノート

1. 「対馬 1951」 1冊  
一部阿蘇クォードラートデータ(19/Ⅲ'50)  
N389/N41/51
2. 「J. H. E. 1953」 1冊  
日本山岳会マナスル踏査隊  
N389/N41/53
3. 「J. H. E. (NEPAL HIMALAYA) 1953」 3冊  
日本山岳会マナスル踏査隊  
N389/N41/53(1-3)
4. 「K. U. S. E. Luggage Memo (Returning) 1955」 1冊  
京都大学カラコラム・ヒンズークシ探検隊  
N389/N41/55
5. 「K. U. S. E. 1955」 1冊  
京都大学カラコラム・ヒンズークシ探検隊  
N389/N41/55
6. 「ブータン 1958」 3冊  
N389/N41/58(1-3)
7. 「シッキム・アッサム 1959」 1冊  
N389/N41/59
8. 「O. F. H. E. 1962」 1冊  
大阪府立大学東北ネパール学術調査隊  
N389/N41/62
9. 「AFRICA 1968 (ノート, スケッチ)」 1冊  
N389/N41/68
10. 「パプア・ニューギニア, ソロモン 1980」 1冊  
N389/N41/80
11. 「インド・ネパール 1981」 1冊  
N389/N41/81
12. 「BHUTAN 1981」 1冊  
N389/N41/81
13. 「South Pacific 1981」 1冊  
N389/N41/81

14. 「Fiji Ids. 1981-1982」 1冊  
N389/N41/81

15. 「麗江 1984」 1冊  
N389/N41/84



フィールドノート「AFRICA」(1968)

6. 写真パネル

6. 写真パネル

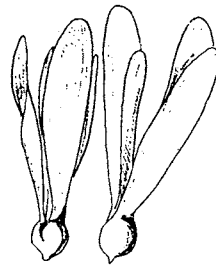
- 1. 「写真パネル」 118枚  
ブータンのパネル：80枚ほか  
PH389/N41



「秘境ブータン：中尾助教授の探検記」  
(1959. 1-3 毎日新聞掲載)

## 7. 写真ネガ

1. 「写真ネガ」 21箱
    - 1: Bhutan 1958 <ネガ>
    - 2: J. H. E. (日本山岳会マナスル踏査隊) 1952 <ネガ>
    - 3: J. H. E. (日本山岳会マナスル登山隊科学班) 1953 <ネガ>
    - 4: K. U. S. E. (京都大学カラコラム・ヒンズークシ探検隊) 1955 <ネガ>
    - 5: Sikkim and Assam 1959 <ネガ>
    - 6: O. F. H. E. (大阪府立大学東北ネパール学術調査隊) 1962 <ネガ>
    - 7: O. F. H. E. (保田) 1962 <ネガ>
    - 8: O. F. H. E. (平野) 1962 <ネガ>
    - 9: Africa 1968 <ネガ>
    - 10: 沖縄 1976 <写真・ネガ>
    - 11: 文献複写ネガ
    - 12: 雑 <ネガ>
    - 13-14: PLATE(1-2)
    - 15-18: 写真(1-4)
    - 19: 写真(麦)
    - 20: 写真(「ヒマラヤの花」)
    - 21: 写真(中尾佐助本人)
- PH389/N41



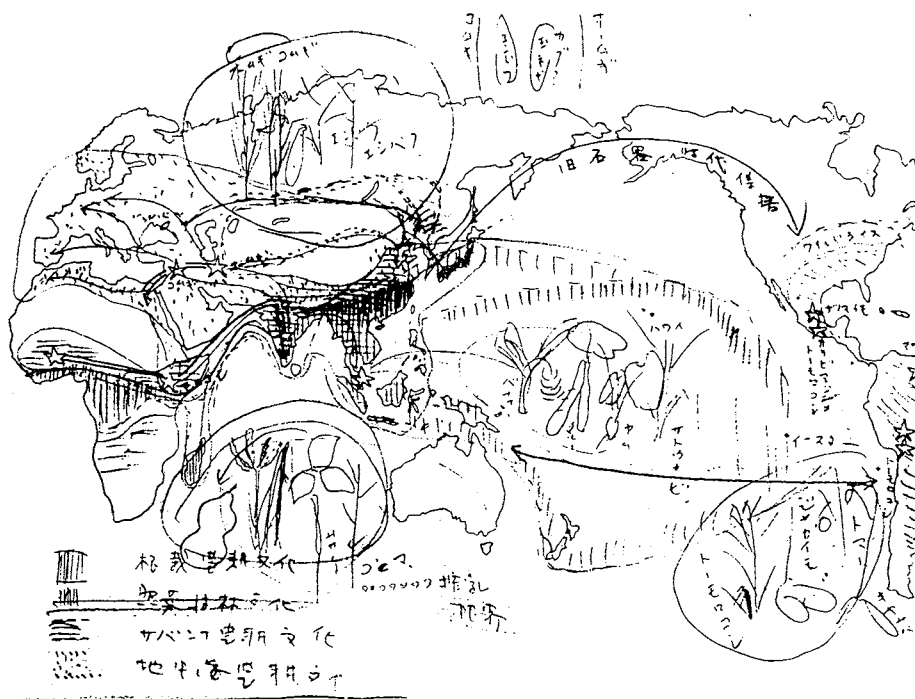
*Shorea robusta* のスケッチ

8. 8ミリテープ

1. 「8ミリテープ」 14巻

映画リール14巻(直径8cmリール13巻, 直径13cmリール1巻)

F389/N41



栽培植物と農耕の起源に関する原図



9. 録音テープ

1. 「録音テープ」 4巻

録音リール3巻 : 9.5cm/s + 録音カセット1巻

畑作シンポジウムの要旨, 録音印刷物(テープ起こししたもの)あり

1:朝の風景(鳥の泣き声)

2:Assam Agr. College

3:Paljor Namgyal Girl's High schoolの女生徒の斉唱

Miss Hamiltonのメッセージ その他

4:Weed Seed Collector(畑作シンポジウム 1985)

T389/N41

1

Celastraceae /	
1. *Celastrus equisetifolia L.	Voku-muō "1111"
Piperaceae /	
2. *Peperomia peliucica (L.) H.N.V.	
3. Piper methyaticum Forst.	Sigao
4. Piper nyp.	8
Ulmaceae /	
5. Sironniera cellidifolia Gaudich.	Kuku-no-zi-moooki
Moraceae / S 2	
6. Artocarpus incisa L. 2	Pan-no-zi
7. Ficus carolinensis Vahl.	Karor-mu-bisa
8. "F. elastica Roxb.	Indo-gomu-no-zi
9. F. tinctoria Forst.	
Urticaceae 3	
10. Doehmeria macrophylla B. Don.	
11. Fleurya ruderalis Gaudich.	
12. *Pilea microphylla (L.) Liebg.	
13. Prooria pedunculata (Forst.) Wedd.	
Loranthaceae 3	
14. <del>Amegma</del> <del>homonensis</del> <del>Honohara</del>	Ponape
<del>bazalium-ovoidifolium-Konzeira</del>	Kanaka-yaori-gi
Amaranthaceae 3	
15. *Cysthula prostrata (L.) Bluffe	Inokozuti-moooki
Anonaceae 3	
16. *Canarium odoratum (Lamour.) Bell.	Hanape-moooki Hypolepis pumila Kuhn Iran-Iran
Myrtillaceae 4	
17. Myrtillus hypericifolius A. Gray.	Kafara

LIST OF PLANTS ON PONAPE AND OTHER ISLANDS

Micronesia, collected by J. S. S. S.

(collected by the)

Ponape Expedition of

Kyoto Tanken Tiri Gakkaishi

July - Sept. 1941

Identified by

T. Yamamoto, S. S. S. S.

Kawano, S.

南洋植物目録ノート(ポナペ島, 1941)

10. 地図・計画書類

1. 「地図. 東亜各地」 1袋  
C290.38/N41/1
2. 「地図. 東亜百万分の一」 5袋  
C290.38/N41/2(1-5)
3. 「地図. 京阪神」 1袋  
C290.38/N41/3
4. 「地図. ヒマラヤ」 1袋  
C290.38/N41/4
5. 「計画書」 2袋  
中国, インド, 大サハラ等への学術調査探検計画書  
C290.38/N41/5(1-2)
6. 「パッキングリスト (ヒマラヤ)」 1袋  
C290.38/N41/6
7. 「ヒマラヤ 雑 (計画書)」 1袋  
ヒマラヤ, ネパール, ブータン等への学術調査探検計画書  
C290.38/N41/7
8. 「インド旅行案内」 1袋  
C290.38/N41/8
9. 「概要・案内書類」 1袋  
農業事業概要, しおり等  
C290.38/N41/9
10. 「展覧会目録」 1袋  
C290.38/N41/10
11. 「KUARA, KUAPE, KUASA 京大アフリカ研究会」 1袋  
調査計画内容, 報告等  
C290.38/N41/11
12. 「インデックス (アジア・ヒマラヤ)」 1袋  
C290.38/N41/12
13. 「資料 (Hemerocallis, Daylilly, その他)」 1袋  
主にHemerocallisやDaylillyなど花卉に関する洋雑誌, 抜刷  
C290.38/N41/13
14. 「List of Rhododendron species depicted and amended by D. B. Leach」 1袋  
C290.38/N41/14



## 第3部 研究用資料

### A. 著作原稿

(手書き、コピー、ゲラ、タイピング原稿等)

1. 「秘境ブータン」  
毎日新聞連載原稿(手書き)  
第1回～第50回までの本文と手書きの図表等  
掲載：1959. 1. 4-3. 25  
A-1
2. 「秘境ブータン」  
毎日新聞社出版用のゲラ(初校), 図(1959)  
「チョモラリ山群」手書き原稿9枚  
A-2
3. 「秘境ブータン」  
毎日新聞社出版用のゲラ(再校)  
1959  
A-3
4. 「ヒマラヤの花」  
写真説明の原稿, 割り付けノート, 写真  
「The origin and distribution of Himalayan plants」(英文による説明原稿,  
23項目あり)  
毎日新聞社 1964  
A-4
5. 「栽培植物と農耕の起源」  
手書き原稿, ゲラ刷り(再校)  
岩波書店 1966  
A-5
6. 「ニジェールからナイルへ」  
手書き原稿  
A-6
7. 「ブータンの花(1)」  
編集用ノート, ゲラ刷り(英文), 原稿コピー(英文, 和文共)  
朝日新聞社 1984  
A-7
8. 「ブータンの花(2)」  
挿入写真のコピー, 文章部分のゲラ, 刷り取り, ゲラ刷り(和文),  
寄贈者リスト, 刊行のお知らせ  
朝日新聞社 1984  
A-8

9. 「花と木の文化史」  
原稿の一部(手書き), 校正控(S. 61. 10. 22)  
メモ: 花と緑でたどる文化文明, 花の自然史と人間, 花と木の文化の歴史ほか  
岩波書店 1986  
A-9
10. 「分類の発想(1)」  
原稿コピー: はじめに, あとがき, 第1章 分類の始まりーアイデンティティ  
第2章 タクソンとクライテリオン, 第3章 類型分類  
朝日新聞社 1990  
A-10
11. 「分類の発想(2)」  
原稿コピー: 第3章の2 類型分類の厳密化 ディスクリプション  
第3章の3 分類以前ー孤立タクソン 練習問題ー宗教の分類, 第4章 規格分類  
A-11
12. 「分類の発想(3)」  
原稿コピー: 第5章 系譜分類, 第6章 動的分類, 第7章 総括と展望  
A-12
13. 「分類の発想(4)」  
ゲラ(再校)  
A-13
14. 「照葉樹林文化と日本(1)」  
ゲラ, 補(原稿)  
A-14
15. 「照葉樹林文化と日本(2)」  
「照葉樹林文化とは」ゲラ(初校, 再校)  
「照葉樹林文化と日本」台割表(1984)  
佐々木高明氏担当原稿のコピー「照葉樹林文化と日本文化の形成」  
植生・古代日本文化・祭り等に関する資料, 写真, 構成案, メモ等  
A-15
16. 「稲・麦の起源」  
参考文献: 「Rice brochure for Assam」L. K. Handique, B. N. Durra  
手書き原稿: 「Ecological Notes」(1952, 1953のネパール・ヒマラヤ探検隊調査記  
録), 「稲の起源・麦の起源」, 「アッサムの稲」, 「研究の歴史」,  
「稲の祖先とその研究」  
大麦起源の研究雑書類  
A-16

## A. 著作原稿

17. 「麦に関する原稿」  
「糯大麦について」, 「Nippon to Tibet no Omugi」(手書き),  
「大麦採集報告 2」(手書き), 「日本, チベット共通裸麦に就いて」(手書き),  
「On the Mongolian naked oats with special reference to its origin」(手書き,  
1947)  
原図: Bread wheat, ユーマイ, Maize等の伝播  
A-17
18. 「採種及種子貯蔵」  
手書き原稿(原図含む), メモ  
A-18
19. 「動的分類系による大麦分類の試案」  
論文: 緒言 1. 大麦分類の歴史 2. 動的分類系による分類方式 3. 大麦の標準形質  
(Criteria) 4. 標準形質系列(Criteria set)組合せ及偽組合せ  
5. 特異系及副組合せ 6. 組合せ各論 7. 標準形質の地理の地理的分布 8. 考察  
9. 摘要  
文献リスト, 写真, 図等  
A-19
20. 「大麦の動的分類」  
手書き原稿  
A-20
21. 「ネパール産野生大麦の研究」  
「ネパール産野生大麦の研究: 特にHorcleum agriocrithonの意義に就いて」,  
「Studies on the wild type barleys from Himalaya」(和文, 英文とも手書き),  
タイプ原稿(英文のみ)  
「The rice plant in Sikkim(H. Kihara)」  
図表4枚  
A-21
22. 「Notes on Mongolian vegetation」  
原稿(手書き, タイプ), 地図含む  
1946  
A-22
23. 「Studies on the Agriculture, Crop Taxonomy and their Origin and Transmittance  
in Sino-Himalaya Route」  
チベット野生型大麦表(1935-39)  
論文目録等を含む資料や手書き原稿, 写真入りゲラ刷り  
A-23
24. 「農耕文化の要素とアレライゼーション」  
手書き原稿  
A-24

25. 「分類の論理」  
『知の考古学』11号 社会思想社 1977.4  
手書き原稿, 原稿コピー, 図版  
A-25
26. 「照葉樹林文化の建築」  
『建築雑誌』Vol. 94, No. 1145 日本建築学会 1979.1  
手書き原稿, 引用文献, 引用文献(7)のコピー, 図表, 写真  
A-26
27. 「植物個体群の変異について」  
『集団遺伝学』 培風館 1956  
手書き原稿, 控用ゲラ  
資料: ツバキに関するもの(写真含), オオイヌノフグリに関するもの(写真含)  
報告書: 「つばきの変異」山下孝介, 中尾佐助, 中平幸助  
旅費の請求書等  
A-27
28. 「日本の高山植物は亜高山帯にある」  
手書き原稿  
A-28
29. 「栽培植物の風土と歴史」  
原稿コピー  
A-29
30. 「Ethnobotanical study on the stem and tuber starch collecting in Oceania with special reference to the pre-natural agriculture」  
原稿: 「Ethnobotanical study on the stem …… agriculture」(手書き);  
校正用, 再校と思われる原稿  
資料: Puerraria(クズ)に関するもの(標本写真, スライド, ネガ, メモ)  
手書き原稿: 「クズの植物学的分類について」(民博関連)  
A-30
31. 「一日三回の儀礼」  
『VESTA』巻頭言の原稿(1990.1), 原稿依頼文, メモ, 原稿控用(2.21修正)  
A-31
32. コメント1(「ヒト:植物関係の実相」)  
『季刊人類学』19巻1号(1988.2)の原稿コピー  
資料(重田真義: 図, 写真, 表)  
コメント用メモ  
A-32
33. 「小興安嶺の旅」  
含「狼林山脈」の3枚分  
A-33

## A. 著作原稿

34. 「ブータン旅行記」  
原図(“秘境ブータン”に使用), 地図(手書き), Route Map of Bhutan  
ブータン(地図. 吉沢一郎製図)1967  
手書き原稿: “ヒマラヤの名花”, “(神秘の)ブータン探検記” (1), (2)  
A-34
35. 「カラコラム・ヒンズークシにおけるMaize, Millet報告」  
手書き原稿: 「Maize from Karakoram and Afghanistan」(1965)(タイプ混在),  
「Baltoro Excursion」, 「Karakoram Team」, 「Travel to Skardu and Hunza」  
「Travel in Hispar and Biafo glacier」, 「Indus Branch Party」  
「Second Hisper Crossing」  
タイプ原稿: 「Millet from Afghanistan and Karakoram」(1965)  
資料: Table 3. Comparison of numerous criteria relating to the five types of  
maize  
A-35
36. 「K. U. S. E. (1952-1953) 報告書 (1)」  
タイプ原稿: 「Agricultural Improvement」(1956), 「Grain Amaranthus」(1956),  
「Barley」(1956), 「Wheat」(1956), 「Oats」(1956), 「African Millet」他  
原図, 写真等  
A-36
37. 「K. U. S. E. (1952-1953) 報告書 (2)」  
手書き原稿: 「Wheat」, 「Barley」等, タイプ原稿もあり  
植物採集リスト?含む  
A-37
38. 「K. U. S. E. (1952-1953) 報告書 (3)」  
手書き原稿: 「Ecological Notes by the collector」, 「Agricultural practice」  
「Oats」  
A-38
39. 「探検雑話」  
手書き原稿  
岩波書店  
A-39
40. 「生物の変異集団」  
『科学文献抄』Vol. 25 岩波書店 1953  
手書き原稿  
A-40
41. 「ヒマラヤのシャクナゲ」  
『日本つつじ協会報』Vol. 2 1959  
手書き原稿, ゲラ刷り  
A-41



42. 「ヌプチュー登頂記」  
『製鉄化学』No. 117. 9-10 製鉄化学工業株式会社 1962  
手書き原稿1-5  
刊行された文献は未確認  
A-42
43. 「Ascent of Nupchu」  
『Himalayan Journal』Vol. 24 1964  
原稿(手書き, タイプ), メモ, インド “The Himalayan Club” からの手紙  
A-43
44. 「農業起源論」  
今西錦司博士還暦記念論文集『自然：生態学的研究』 中央公論社 1967  
手書き原稿  
原図あり  
A-44
45. 「ポナペ島の食用植物」  
手書き原稿, 図版, 手書き原図, 関連資料, 文献リスト, 図の焼き付け写真  
論文に使用したと思われる写真  
英文原稿「Bread-fruits, yams and taros of Ponape island」(手書き, タイプ原稿)  
A-45
46. 「空白地帯を行く」  
手書き原稿：(1)の一部と(2)  
「ヒマラヤの奥深く」のボツ原稿と思われる  
ヒマラヤ・ルート図  
A-46
47. 「稲の祖先を求めて」  
手書き原稿  
A-47
48. 「ヒマラヤの奥深く」  
毎日新聞(東京版, 大阪版)連載記事の手書き原稿(初稿)15タイトル  
調査隊ルート図  
原稿No. 1-9：記事1-9, 原稿No. 14-15：記事(東京版)10-11, 原稿No. 10-12：記事(大阪版)10-12  
原稿No. 13「荘園屋敷」は掲載なし  
1962. 10. 1-17  
A-48
49. 「人類文化史研究の立場からの栽培植物採集」  
手書き原稿, 写真, 表の原版  
A-49
50. 「東南アジア農耕文化試論」  
手書き原稿  
A-50

## A. 著作原稿

51. 「West African crop complexes and their originations」  
原稿(手書き, タイプ), 手紙等  
A-51
52. 「中国に関する手書き原稿」  
「みちくさ」, 「霍縣(かくけん)」, 「黄土の岡」, 「樹木とその生えてゐる場所」  
「草原」, 「雨ごい」, 「黄牛」, 「行商人」, 「灌木」, 「夜獣」  
(連載用 1942頃?)  
A-52
53. 「蒙古のマンナ: 漂白地衣のはなし」  
手書き原稿  
A-53
54. 「日本人の探検」  
手書き原稿  
A-54
55. 「湯旺河紀行」  
手書き原稿  
A-55
56. 「土地利用の発展」  
手書き原稿 1946. 7. 1  
A-56
57. 「歴史意識と民族」  
『岩波世界歴史』 1970  
手書き原稿  
A-57
58. 「未発表原稿 1」 (1章 海を渡ってきた植物と日本人 2章 万葉の世界の植物)  
中尾佐助, 中西進, 山田宗睦, 前川文夫 [座談]  
全体のタイトルは不明  
NHKブックス用原稿用紙のコピー383枚, ただし全てではない  
中尾先生の手書きの挿入原稿が4枚あり  
内容の引用文献等により座談会の年は1982年あるいは1983年と推測できる  
A-58
59. 「未発表原稿 2」 (オーストロネシアの花弁文化史)  
手書き原稿 (200字詰め原稿用紙89枚, ただし全てではない)  
1993年頃の原稿?  
研究用資料E-3にオーストロネシア関連のメモあり  
A-59

## B. 著作関連資料

(メモ、資料、文献、写真等)

1. 「『科学朝日』『自然』連載関連」  
 メモ：石鹼・香油について，茶・コーヒー・コーラ・カカオ等連載に関するもの  
 資料：「山を歩けばササばかり」（『科学朝日』，'75.11）コピー，  
 「緑陰樹と風致樹」の章に関する図，「Dareys Blumenbuch」，  
 「Dispersion map of coffea arabica」コピー  
 中央公論社『自然』編集部よりの手紙  
 1973-75  
 B-1
2. コメント（「第6王朝ペピオンク第2王子墳墓出土の真空状に保存されたエジプト菓子」マックス・ヴェーレン著，舟田詠子訳）  
 『季刊人類学』Vol. 10, No. 3 1979  
 原稿，資料，解説原稿（訳者舟田詠子氏による本文解説）  
 B-2
3. 「酒・醱酵関連」  
 文献：「Language social context」（1972），「Shen and Liu S-5」，  
 「AJ4 Tibetans OCM 273」，「AK55 Lepcha OCM 273」，「Laupani and identity  
 : anthnohistorical exercise」，「アッサムおよびその周辺の酒：稲芽酒からカ  
 ビ発酵酒へ」  
 資料：「タイ国の酒類及び米に関する調査報告書」（沖縄国税事務所，1981.5），  
 「アッサム及びその周辺の酒」（1986.6），民博「HEAF室」よりの資料，  
 「発酵文化の起源」（『知の考古学』より），「醱酵法の故郷」，「酒の道」，南  
 方酒に関する漢文文献  
 雑誌：『季刊どるめん』11号，『食の科学』No. 36, 43  
 写真：ヒマラヤの酒に関するもの  
 覚書：「鬯」（チャン），鬯人，鬯人，苗族などに関する各書からの抜き書き，  
 「秬」（チュイ or チュイ），黍に関する抜き書き  
 メモ：粥酒，粒酒の種類，ネパールのコージ，ジャワの粥酒，麦作文化（西アジア）  
 OuとSato  
 B-3
4. 「花の文化史関連」  
 『日本の美学』Vol. 3 1984  
 依頼文  
 メモ：小題，古典園芸作物，盆栽，花札，造園  
 文献：『日本の美学』創刊のことば・目次内容  
 B-4
5. 「食の写真館 1-36」  
 NHK「今日のお料理」の放送テキスト連載分と「酒樓」（付け加え）の原稿，  
 「アジア食文化誌」（仮称）のためのメモ・ゲラ・編集者からの手紙  
 B-5

## B. 著作関連資料

### 6. 「花と木の文化史関連」

資料：花に関する本・雑誌からのコピー(自著含む)，  
園芸植物分類学会研究集会要旨(1986)，『花』(1, 2月号, 1986)，  
肥後花連，庭・畑・苑等に関する資料，日本，中国，地中海の庭に関する資料  
メモ：中国の園芸作物，ヨーロッパの庭  
書状葉書(著書送付リストあり)  
メモ：花と庭木の美学，日本の花と庭木など  
B-6

### 7. 「嘯み料の文化」

『VESTA』第14号 1993  
メモ  
資料：『VESTA』第14号初校  
文献：「Species of *ilex* used for tea」，「The polynesians:prehistory of an  
island people」コピー，「My consolate in Samoa」コピー  
B-7

### 8. 「東アジアの農耕文化」

表の版下，メモ，資料  
B-8

### 9. 「東アジアの酒文化」

文献：論文「東アジアの酒のスターターの分類とその発展」，  
月間『故宮文物』コピー  
資料：酒文化に関するもの(主に麴・スターター)  
書込用抜刷，執筆依頼  
B-9

### 10. 「分類の論理」

資料：種々の文献中から系統図・分類表などをピックアップしたもの，  
植物・人種・原子の周期表，昆虫・民族・ケッペンの気候分類，DNA，イネ，  
社会学，地質学，植物学等  
(補)中国本草，真菌植物門，植物の命名法，分類法  
(補)子のう菌，担子菌に関するメモ  
メモ：野菜の分類，ビルトインアイデンティティ，系譜分類，水平思考，  
孤立的タクソン，葬式儀礼，宗教の分類議案等，その他各種の分類材料・分類方  
法関連メモ，(雑)野菜の類型分類，覚書等  
原稿：第7章1-a 「分類学と分類論」(下書き或はボツ原稿?)  
B-10

### 11. 「手紙類(『分類の発想』関係)」

1990. 10. 7朝日新聞書評，献本リスト，出版(編集)関係の手紙，謝礼文  
B-11

### 12. 「麦関連」

調査ノートの一部?，採集メモ，大麦変種番号表，Himalayan oats  
B-12

13. 「乳製品関連 (1)」  
 資料1 : 1 「料理の起源」からのコピー, 『Health digest』 Vol. 5, No. 4  
           : 2 「モンゴルの乳製品とその製法」梅棹忠夫(ユーラシア学会研究報告3  
           内陸アジアの研究 1955)  
           : 3 「齊民要術」一部コピー : 6-9タイトルなし  
 資料2 : 『Health digest』 Vol. 6, No. 1-6  
 その他 : The american Journal of 「Clinical Nutrition」 (1998)他  
 B-13
14. 「乳製品関連 (2)」  
 主にチーズ関連  
 乳技協資料(1970, 1971), 食の科学(1974), 栄養と料理, Milk hygiene(1962), Cheese  
 and cheese cookery他  
 B-14
15. 「農耕や栽培植物の起源関連資料」  
 文献 : 「Enumeration of species」, 「Literatures on Maize」(遺伝育種関連?)  
       「Contribution to the knowledge of Citrus classification」(田中長三郎教  
       授の最終講義, 1961), その他論文7本(R. W. Allard著など)  
 資料 : 「The Indian journal of genetics & plant breeding」(1951),  
       「A History of technology, Vol. 1」(1954), 民族学的資料  
 メモ : 柑橘類にかんする図表  
 B-15
16. 「コムギ研究論文」  
 論文「栽培植物の起源 : コムギを中心として」田中正武(京大農学部)の全文コピー  
 B-16
17. 「雑草メロン」  
 府大藤下典之氏(当時助教授)の研究資料, 雑草メロンの呼称  
 育種学会第48回講演要旨(1975. 10)  
 B-17
18. 「デンプン関連」  
 小冊子 : デンプンの起源あれこれ, 『食の科学』別刷(デンプン関係),  
       『澱粉会報』  
 資料 : Division PTERIDOPHYTA(シダ植物門)  
 B-18
19. 「アフリカ」  
 資料 : Cucurbitaceae, Ochnaceae, Sterculiaceae, Bombacaceae, Malvaceae,  
       Mimosaceae, Bignoniaceae, Pedaliaceae, Hypoxidaceae, Orchidaceae,  
       Cyperaceae, Gramineae  
 メモ : アフリカの穀物土穴貯蔵(「ニジェールからナイルへ」の資料?)  
 B-19

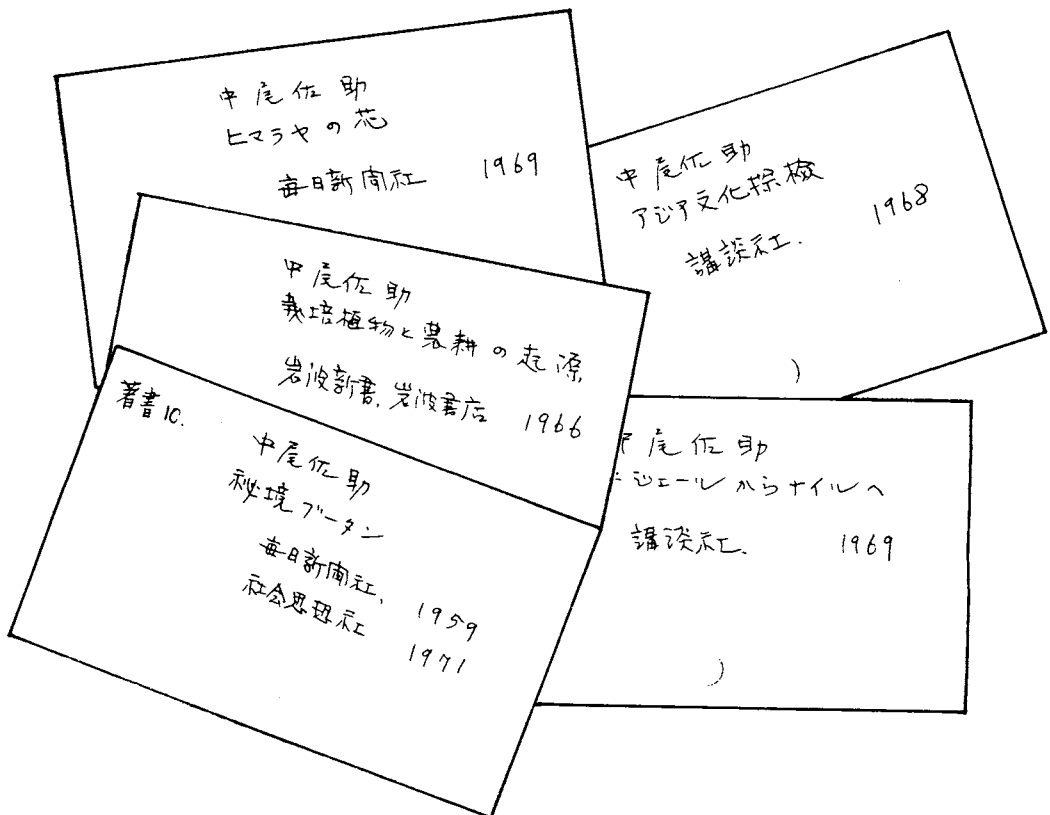
## B. 著作関連資料

20. 「パプアニューギニアの土器について」  
「Pottery of Papua New Guinea」の一部，小林繁樹氏からの手紙  
1983  
B-20
21. 「河口慧海」  
写真：生家跡(1978. 2. 17)  
資料：記者会見に使用したもの(市民科学後援会の件)，関係図書目録  
その他各種文献，河口慧海講演記録「西藏文化と我国との関係」  
手紙など  
B-21
22. 「アフリカの栽培植物」ほか  
Manual of cultivated plants(1949)よりのコピー  
アフリカの栽培植物の資料：Vigna(ササゲ)，Portulaca(スベリヒユ)，  
Hyphaene, Butyrospermum, Cola, Corchorus, Elaeis(アブラヤシ)，  
Phoenix(ナツメヤシ)  
B-22
23. 「聖書と万葉集の植物」  
資料：植物歌総番号  
メモ：聖書の野菜，聖書に登場する重要植物(オリーブ，コムギ，イチジク etc)  
1978  
B-23
24. 「米・食料問題関連」  
文献：「米」浜田秀男(1969)，「農書雑記帖(3)」東畑精一，「餅」鈴木繁男  
(重要とあり)，『食の科学』Vol. 24 “微生物蛋白特集”  
メモ：食料問題に関するメモ(『食の文化』Vol. 24の中の「蛋白問題への再認識」に  
関するもの?)  
B-24
25. 「日本ハム『ロータリー』への執筆の為の資料」  
資料：「肉の食文化」1-11のコピー  
メモ：生肉を食べる  
手紙：執筆依頼  
1960  
B-25
26. 「先農耕段階とその類型」  
S. 57年度共同研究申請書(民博関係)「日本における作物栽培技術の成立と展開」  
(代表佐々木高明)  
資料：「東南アジアにおける農耕の成立をめぐる」佐々木高明  
図「東アジアの農耕文化の層位」(1980)他  
B-26

27. 「大麦」  
出版用原図等(木原生研と関係?), 大麦写真・原図, 図版(モンゴルの麦)  
文献: Barley, 大麦, 小麦に関するもの  
B-27
28. 「オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ」  
『南日本新聞』連載1~33(中尾佐助著「石蒸料理」含む)  
記事コピー  
B-28
29. 「日本文化の系譜」  
資料: ナラ林文化, 新石器文化, 東南アジアの住居形式  
メモ: 図版の原案(Age and area 仮説による東アジアの農耕文化の整理),  
焼畑と雑穀, 黄河文明  
B-29
30. 「サトイモ」  
論文: 「サトイモとオーストロネシア民族」ピーター・マシューズ  
B-30
31. 「続照葉樹林文化」  
資料: 「NIJHOFF SELECT」, 植物(おそらく照葉樹の枝数種)標本のコピー,  
地図・図, 宮中新嘗祭・平城京の食器, 照葉樹林文化の図(スペア)  
メモ: 「列女伝」・「後漢書」からの書き抜き, 照葉樹林文化論の総まとめメモ  
(1976. 1. 21), インドの絹, 送付リスト  
B-31
32. 「世界地理風俗大系」出版関係資料  
構成案, ゲラ, 編集関係の通信  
B-32
33. 「ヒマラヤの花」  
メモ, 下書き, 編集ノート  
編集関係の通信  
正誤表, 発送名簿, 礼状など  
B-33
34. 「民族植物学一般」  
民族植物学基本文献リスト  
メモ: 民族植物学 Ethnobotany(の体系)  
Jane Cobbi フランスにおける「民族植物学」の研究について(1983. 7. 22)  
江戸の園芸書  
B-34

B. 著作関連資料

35. 「葛資料」  
Manual of Cultivated Plants 1949(54, Pueraria)  
Pueraria edulis PAMP, Pueraria lobata OHWI  
Pueraria Thunbergiana BENTH, Pueraria montana MERR. ほか  
論文Pueraria, Wealth of Indiaからのコピー, 中薬大辞典からのコピー  
B-35
36. 「いけばなと花環」  
『草月』171号(1987.4)  
英語の花利用単語例のメモ  
B-36
37. 「タロイモ開発研究調査案」  
日本科学協会補助事業  
計画書, 予算メモ, 支払明細書等  
B-37
38. 「中尾佐助自著文献カード目録」  
1949年から1993年までの自著文献の手書きカード目録  
B-38





## C. 調査・学会関連資料

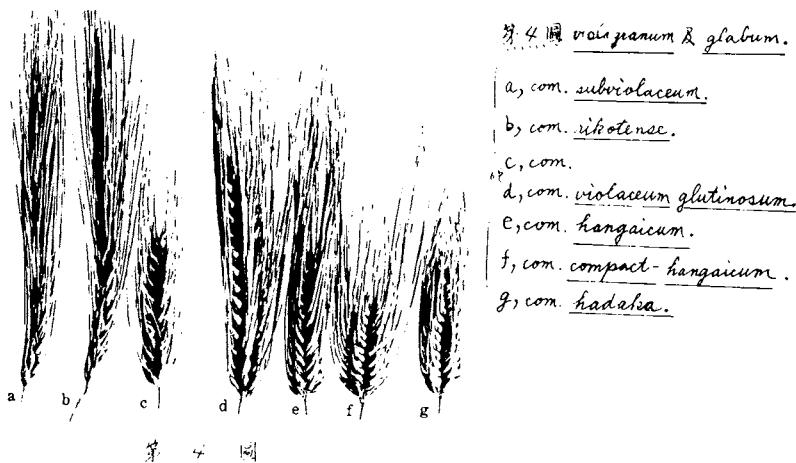
(調査資料、チャート、ノート類)

1. 「野生オオムギについて」  
野生オオムギについての論文・原稿, 「K. U. S. E. Barley」(1955-1956)原稿下書き  
(アワについて), 「S. 18春期特性調査表」, 卒論関係「キビ野帳」  
(1958年卒業生田中稔), 「採集報告大麦の研究近畿四府県下」(S. 17),  
「東北地方大麦採集報告」, 「大麦起源ノ研究プレパラート控え」(S. 19. 4. 20), 大  
麦栽植地図(S21, 22), チャート, データ  
C-1
2. 「オオイヌフグリ調査(1)」  
於広島  
チャート: 「Veronica 5 弁花頻度の分布」(広島全調査区, 1950),  
「爆心からの距離とVeronicaの5 弁花の頻度」(広島, 1950),  
「Veronica 広島調査(1950)概要」, 「サンプリング」(広島, 1951)  
地図  
調査ノート「HIROSHIMA(広島ノート)」は, オリジナル資料の部の記録ノートに 整理  
している(N615. 21/N41)  
「植物個体群の変異について」(1956)に使用  
C-2
3. 「オオイヌフグリ調査(2)」  
調査データ, 地図  
C-3
4. 「中国(チベット)の麦: 大麦・エンバクに関する調査」  
S. 57年度海外学術調査(現地調査)計画調書「チベット高原における栽培植物の調査」  
文献・資料: 「Annual Report Of The Institute Of Genetics Academia Sinica」,  
『研究工作年報』(中国科学院遺伝研究所, 1979),  
「日中科学技術交流協会第1回代表団訪中報告書 '79. 4-5」,  
「Sixth International Wheat Genetics Symposium '83」, 「西藏野生大麦 '82」,  
「大麦起源論 '79」, 「New Species Of Leymus From China」その他  
手紙  
C-4
5. 「エイジアン・オリエンタル・パプアニューギニアン“メジロ”の分布資料(種レベ  
ル)」  
移動・繁殖に関する図等  
坂根隆治氏からののがき  
1979  
C-5
6. 「植物の高度分布」  
高度分布のデータ  
落葉樹と気候に関するメモ  
C-6

## C. 調査・学会関連資料

7. 「ビルマ学術探検計画資料」  
ビルマ学術探検計画資料(生物誌研究会, 1955.1)  
「Indian Forest Records, Part. 1, Vol. 3」  
C-7
8. 「アッサム地域の民族誌研究」  
民博共同研究班, 1985. 5  
C-8
9. 「京大・日本植物学会関連及び学術論文メモ」  
履歴書, 手書き地図  
メモ: 「倍数体植物の棲み分け」  
C-9
10. 「学会発表関連」  
調査資料: 「浸透圧測定用細管番号表」1の41, 「小麦殻粒乾燥量/水分量比」1の41,  
「氷点降下測定値」1の41  
プリント類: 「日本植物学会京都支部第2回集会」(1948), 「京大農学部農林生物  
学科一覧」(1950), 自然史協会設立趣意書(1947), 「自然と文化」近刊予告ノート  
: 「種子含水量測定 I」1の46  
C-10
11. 「文部省科学研究費補助金関連 (1)」  
申請書('75. 9), 「食用植物のビブリオグラフィー」購入物品明細表(田中長三郎)  
「食用植物のエスノボタニー」S. 42年度試験研究計画調書(中尾佐助)  
「Edible Plants」出版契約書(田中長三郎), 科研費交付決定通知書,  
科研費関係書類ファイル  
C-11
12. 「日本育種学会第22回大会(1962) 関連」  
講演要旨, 幹事会資料その他  
中尾佐助先生は講演されていない  
C-12
13. 「シャクナゲのリスト」  
David G. Leachのシャクナゲ類のリスト(コピー)  
C-13
14. 「南洋植物目録ノート(ポナペ島)」  
南洋植物採集目録 原1-4(原2に「VII-IX, 1の41 パラオ, トラック, ポナペ,  
ヤルト」とあり)1941  
List of plants Panape-Micronesia  
写真1枚  
C-14
15. 「論文目録(一部)」  
履歴書含む  
参考論文  
C-15

16. 「カード, メモ類 (1) 支那の作物」  
文献カードの束「支那の作物」  
C-16
17. 「カード, メモ類 (2) 植物」  
植物カード(植物に関する覚書)  
C-17
18. 「南海研センター活動関連」  
「海外学術調査コロキウム」プログラム(1981), フィジー調査隊員名簿('81-82)センター協議会委員名簿('81), 同会議事要旨  
C-18
19. 「学会発表用チャート類」
  1. Veronica萎縮化頻度の分布(広島1950)
  2. ネパールヒマラヤにおけるシャクナゲの分布(1953)
  3. ネパールヒマラヤにおけるLigularia及びCremanthodiumの分布(1953)
  4. Origin of Japanese Agriculture (working Hypothesis)(1951)
  5. Distribution of some cereals
  6. Relations between archaeological and ethnological results by Menghin(1931)
  7. The proposed taxonomical units by numerous authors
  8. 平衡条件
  9. 自然個体群の状態(1931)
  10. 東亜農耕文化の系統とその史前展開(1960)
  11. 照葉樹林文化(1960)
 C-19



## D. 講演等関連資料

### D. 講演等関連資料

(シンポジウム、対談、速記録、講演要旨集、プログラム等)

1. 「日本育種学会第6回シンポジウム」  
開催：於高松市，1964  
プログラム等  
講演：「ネパール産のミツマタ」（中尾佐助，渡部忠広）ほか  
D-1
2. 「大阪市立自然科学博物館建設委員会記録」  
第1回，第2-4回，第5回 計3冊  
中尾佐助：建設委員の展示テーマ部会に所属  
D-2
3. シンポジウム「生物資源の活用」  
開催：於名古屋中日ビル，1979. 12. 15-16  
講演要旨集(P9-10に中尾佐助先生の要旨あり)，原稿，図  
資料：東南アジア半島部の諸民族集団の高度分布，東南アジアの住民形式，  
NOTHOPANAX  
D-3
4. 民博特別研究「日本民族文化の源流の比較研究シンポジウム」(1)  
開催：於国立民族博物館，1980. 1. 28-31，「1. 農耕文化」のプログラム抄録  
速記録：「東アジアの農耕文化複合」  
資料：総合討論や報告によせた図表のコピー  
D-4
5. 民博特別研究「日本民族文化の源流の比較研究シンポジウム」(2)  
開催：於国立民族博物館，1980. 1. 28-31  
プログラム，執筆要綱のお知らせ  
資料：“焼き畑から水田稲作へ” “東南アジア農耕文化試論” “サトイモ類の分布”  
参考文献メモ，各種図表  
文献：「蘇(しそ)」・「荳(え)ごま」(『木草綱目草部』第十四巻からのコピー)  
「Crops and man: evolution of dependence」，「Edible plants of Thailand」  
「Hoabinhian horticulture?」，「Agricultural origins in South-east Asia: a  
view from the East」，「Use of Barley in the Egyptian Late Paleolithic」  
「Melanesia: beyond diversity」  
その他各種資料，コピーあり  
D-5
6. 「食の文化シンポジウム'80」  
1980. 2. 16  
パンフレット(中尾佐助著「農耕の食」を含む)，資料，手紙  
D-6

7. シンポジウム「縄文農耕の実証性」  
 開催：於東京中野サンプラザ，1981.1.20  
 資料：「縄文遺跡出土のメメ類：とくに“リョクトウ”について」（前田和美）  
 ウリに関する資料（藤下典之），鳥浜貝塚の資料，  
 「最近の“中期農耕説”についての学界の動向ノート」  
 文献：「瓜子姫の民話と焼畑農耕文化」（猪野史子）コピー，  
 「縄文人の動物飼育」（加藤晋平）コピー，「擦文期の栽培植物について」  
 「アマワカヒコ神話と穀物盗み型農耕起源神話」コピー，  
 「エゴマと縄文中期農耕に関して」（朝日新聞'81.2.4）  
 D-7
8. 『文化とヒトの進化に関する接点』第2回コロキウム  
 開催：於学会分館，1983.2.11-12  
 速記録2冊，プログラム，講演資料  
 原稿とその複製 「生物のレベルモード」1983  
 プリント：「日本植物学会40回大会関連集会」進化学研究会 1975.11.3?  
 メモ（おそらく上記に関するもの）  
 コピー：「半野生馬の社会生活」（1950），「Current anthropology」（Current  
 anthropology Vol. 7, No. 5-6 1960 今西錦司の論文）  
 D-8
9. 「照葉樹林文化」  
 対談速記録  
 「古代は語る」（1. 照葉樹林文化 2. 栽培植物）森浩一インタビュー  
 『サンケイ新聞』1984.3.19-4.16のうちの第1回掲載分  
 D-9
10. 『食のワークショップ／2001年の調理学』．講演「調理とは何か」  
 開催：於パレスホテル，1985.9.13  
 速記録，講演メモ  
 資料：第3回「食卓の構成と食器」記録 『食の文化フォーラム第3期：調理の文化的  
 考察』  
 文献：「Pangium」，「調理学に望むこと」，「醱酵法のみなもと」，  
 「微生物学への認識」  
 D-10
11. 『第3回アッサム地域の民族誌研究会』  
 開催：1985.7.24  
 出席者：中尾佐助，栗田靖之，長野泰彦ほか  
 中尾佐助「アッサムにおける貫頭衣の研究」発表のための資料  
 関連文献コピー，参考文献カード  
 関連資料(C)あり  
 D-11
12. 「黄河流域の風土・文化そして生活」  
 開催：於京都．祇園富の井，1986.1.29  
 速記録（小松左京・中尾佐助対談）  
 『黄河物語』 旺文社 1986  
 D-12

#### D. 講演等関連資料

13. 「花と木の文化史講演」  
花の万博Expo'90特別講演  
花博国際シンポに関する新聞記事・プログラム・チケット等  
講演メモ、依頼文、(財)花博協会第1回シンポ企画委員会委員の就任願い、  
シンポ計画案  
冊子：Expo'90『花と緑』'87. Vol. 7, 「花とひと」第1回花博国際シンポ'87,  
Expo'90(パンフレット)  
資料：「江戸時代の園芸文書」  
D-13
  
14. 「東南アジア文化の基底部」  
開催：国立民族博物館  
出席者：中尾佐助、梅棹忠夫、渡部忠世、石井米雄  
速記録：「東南アジア文化」3日目①  
D-14
  
15. 「世界探検博覧会」  
草稿(手書きのもの)  
1:探検の精神 2:探検の種類 3:探検隊の組立て 4:日本の探検家 5:探検の実例  
6:古典的探検 7:海洋探検 8:行き先知れぬ河 9:北極探検 10:中央アジアの探検  
11:ヒマラヤ探検 12:福音の旅 13:若い探検隊 14:探検を助けた人  
15:日本の探検 16:探検の装備  
企画案、パピリオン配置図等  
D-15
  
16. 「内発文化の知的創造性に関するアジア・シンポジウム」  
Asian Symposium On Intellectual Creative In Endogenous Culture  
論文類、国際連合大学からの手紙、シンポジウムへの出席案内  
D-16
  
17. 「AACK座談会」  
1. 速記録「ヤルンカン登頂の意義と背景」(於京都ロイヤルホテル, 1974. 1. 27)  
出席者：中尾佐助、今西錦司、桑原武夫ほか  
2. 速記録「AACKと山岳部の戦後」(於京大友会館, 1986. 9. 7)  
出席者：中尾佐助、西堀栄三郎、近藤良夫ほか  
原稿コピー「混合樹林考」今西錦司  
D-17
  
18. 「コロキウム“乾燥・半乾燥地帯の農業—その伝統と変容”資料」  
1985. 12. 6-7, 於御車会館  
中尾佐助先生は討論参加者  
プログラム  
資料：「東部ケニア農村における階層化の展開」,  
「乾燥地農業における技術的適応」「環境変遷と土地利用」  
D-18

## E. メモ・素案・図等

(原図、ノート、チラシ、メモ等)

1. 「授業ノート, 各種メモ, フィールドノート」  
主に京都大学在学中のもの  
授業ノート: 「放射線遺伝学」木原教授(1946)  
フィールドノート: モンゴル1-2(1944-1945), レイタオ・ボナベ(1941)  
発電記録, 調査ノート(民族学関係?)  
アフリカに関するメモ(1959)  
その他3冊  
E-1
2. 「中尾型学問領域の発想」  
メモ: 各学問分野の相関図様のもの, 探検に関するもの, 歴史か環境か(E-4に類似あり), 生活の進歩(後進国論, 衣服論, 農業論, 民族文化論)  
E-2
3. 「オーストロネシア関連のメモ」  
メモ: オーストロネシアの花木と草花, Decorationの分類,  
人間のディスプレイ, 参考文献  
補: 1. オーストロネシアのエスノボタニー(1990)  
2. 東南アジアの花と木の文化  
手紙: 民博秋道智彌氏より2通(平成5. 6/5付, 平成5. 7/6付), 畑中幸子氏より1通  
E-3
4. 「探検歴, メモ」  
探検歴1939-1962  
メモ: post-communityの特色, Darwin/selection, ランドム社会, 熱帯降雨林の社会,  
資本の蓄積と企業精神, 後進国の未来予測, シナとインドの生活文化,  
農民とは何か, オキテとルール, 金(カネ)のねうち, はみ出した人間,  
シナといふ言葉, アマチュアアの議論, 歴史か環境か(E-2に類似あり),  
民族文化  
E-4
5. 「依頼文, チラシ, メモ」  
依頼文: サントリー「リカーショップ」, 朝日出版社出版局事典編集室,  
学研『UTAN』編集部, 文部省大臣官房情報処理課「教育と情報」編集部  
チラシ: 日本油脂協会創立20周年記念シンポジウム  
チラシ・メモ: '88創造的市民大学第11講「花と木の文化史」  
メモ: 穀類の加工, 酒, BhutanのEthnobotany, 週刊誌の料理店紹介, シダ,  
黄土台地, ハエ・クモ, サカハギ(抜き書き), 42図オームギの条列性  
(模式図), イギリスパン消費量, 21C農耕文化の発展方向('85. 1. 22)1-4  
E-5

## E. メモ・素案・図等

### 6. 「照葉樹林文化関連等メモ類」

- 1: 「照葉樹林文化と日本」追加原稿「チューラと焼米」コラムに関するもの
  - 2: “油”に関するもの
  - 3: 森林問題, 自然保護, 共生の生態系, 人間の生態系について
  - 4: 古典園芸作物(日本)に関するもの
  - 5: 「カラマツ林の四季」に関するもの(関連資料あり)
  - 6: 500年史観への提言(1993. 4. 9)
  - 7: Decolation系列の類型分類について
  - 8: ロシアの(近代?)農学の発展について
- その他メモ: 照葉樹林文化とナラ林文化, 照葉樹林文化と和ローソク  
カードメモ: 花束・ポプリ・レイ・生け花など花に関するもの,  
混合樹林に関するもの(遷移についての記述あり), 表“根裁文化の発展段階”  
Starch Producing Plants(西アジア, アメリカ, 東アジア-オセアニア),  
羊歯の野菜, 詩経の植物の頻度, アメリカのサゴヤシ, Weed Seed Collector,  
ソビエトに関するもの, 日本で繁殖する鳥とその棲息地

E-6

### 7. 「日本の森林文化」メモ

- 講談社科学図書出版部『森の生活入門』の一部  
メモ  
通信: 「あいまいさを科学する」関連

E-7

### 8. 「農業起源論」

- 原図  
手書き原稿(A)あり

E-8

### 9. 「栽培植物と農耕の起源」

- 原図, メモ, 写真と説明

E-9

### 10. 「莜麦文化圏」

- 原図, 原図説明, 写真(論文使用)2枚,  
タイプ原稿「On the Mongolian naked oats, with special reference to its origin」

E-10

### 11. 「ロードデンドロンの4群の分布」

- 図

E-11

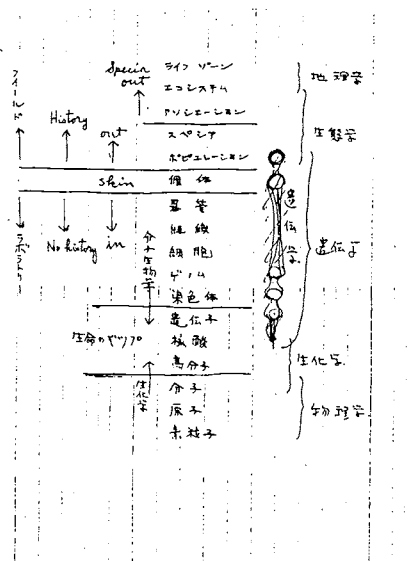
### 12. 「植物関連の図, 素案等」

- 「世界地理風俗大系」写真説明等, 「文化財としての遺伝資源」(『遺伝』“特集遺伝資源としての植物” Vol. 29, No. 10 1975)素案,  
毎日新聞に掲載された高山植物の図, その他  
メモ: エッソスタンダード石油広報「世界のキク」, 「栽培植物の風土と歴史」,  
「植物と文化」

E-12



13. 「文献リストカード」  
E-13
14. 「羌族の女王に関する資料」  
「随書」48巻 西域伝 女国, 「旧唐書(くとうじ)」巻147 西南蛮列伝 東女国,  
「新唐書」巻221 西域列伝 東女, 「後漢書」東夷 北沃沮(きたよくそ)伝,  
「南史」扶桑国伝, 「史記」大宛伝の注  
それぞれ原文の写しとその訳文  
E-14
15. 「O. F. H. E. 1962 シャクナゲ標本の写真焼き付け」  
21枚  
E-15
16. 「生物の変異集団」メモ  
E-16
17. 「ゴビとマンハ」図  
E-17
18. 「写真・表・大麦」  
北隆館出版への貸出資料か?  
E-18
19. 「藍に関する資料」  
メモ, 原稿コピー「雲南の少数民族—照葉樹林文化と納西族」諏訪哲郎著  
(中尾先生の文献からの引用あり)  
資料: 中国の植生  
E-19
20. 「引用文献と引用文メモ」  
カードBOX  
E-20



中尾型学問領域の発想メモ

F. TV・ラジオ台本

1. 「登山と日本人」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 41. 6. 25放映)  
F-1
2. 「東洋の食生活」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 41. 12. 27放映)  
F-2
3. 「水田の思想」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 42. 10. 7放映)  
F-3
4. 「探検と推理」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 43. 8. 1放映)  
F-4
5. 「稲の来たみち」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 45. 6. 3放映)  
打ち合せ稿もあり  
F-5
6. 「農耕文化の起源」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 46. 9. 25放映)  
F-6
7. 「肥満と文明」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 47. 2. 17放映)  
F-7
8. 「日中関係の2000年」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 47. 8. 4放映)  
F-8
9. 「米～その現在と未来」(教養特集)  
NHK TV放送台本(S. 50. 10. 5放映)  
F-9
10. 「体力不要時代」(婦人学級)  
NHK TV放送台本(S. 44. 8. 4放映)  
F-10
11. 「たべる」(婦人学級)  
NHK TV放送台本(S. 44. 11. 17放映)  
F-11

12. 「女性手帳」(食生活探検)  
NHK TV放送台本(S. 49. 5. 20-5. 24放映)  
1:「飯を炊く」 2:「マントウからバケツまで」 3:「豆を食べる」  
4:「肉と魚とスシと」 5:「バター・チーズを作る」  
資料あり  
F-12
13. 「草を育てる」(みんなの科学)  
NHK TV放送台本(S. 43. 5. 22放映)  
写真, 図の焼きつけ等42枚  
図, 打ち合せ稿  
F-13
14. 「ヒマラヤの植物」(みんなの科学)  
NHK TV放送台本(S. 45. 1. 8放映)  
F-14
15. 「風土と農耕文化」(市民大学講座)  
NHK TV放送台本  
第1回「農耕と生活」(S. 45. 1. 8放映)  
第4回「日本農耕文化の起源」(同7. 17放映)  
F-15
16. 「竹と風土」(NHK文化シリーズ「歴史と文明」)  
NHK TV放送台本(S. 52. 9. 15放映)  
F-16
17. 「魅惑の栽培植物」(NHK文化シリーズ「歴史と文明」)  
NHK TV放送台本  
1:タバコ・紫煙の光影(S. 55. 6. 3放映)  
2:ケシ・禁断の花(同6. 10放映)  
3:成功の甘き香りコーヒー(同6. 17放映)  
4:コショウ・世界を開いた果実(同6. 24放映)  
F-17
18. 「ヤマタイ国幻想」  
NHK TV放送台本(S. 54. 2. 11放映)  
F-18
19. 「日本雑煮地図」(正月特集)  
NHK TV放送台本(S. 53. 1. 1放映)  
F-19
20. 「近畿の農耕遺跡をさぐる」(近畿市民講座)  
NHK TV放送台本(S. 44. 9. 21放映)  
F-20

## F. TV・ラジオ台本

21. 「農耕文化の伝来」(現代の科学)  
NHK TV放送台本  
第1回「稲」(S. 50. 5. 21放映)  
F-21
22. 「米の炊き方とところかわれば…」(海外レポート)  
NHK TV放送台本(S. 53. 10. 29放映)  
F-22
23. 「わたしの探検」(教師の時間:クラブ活動のために)  
NHK TV放送台本(S. 48. 6. 22放映)  
F-23
24. 「西芳寺苔庭縁起」(スタジオ102)  
NHK TV放送台本  
F-24
25. 「よみがえる平城京 天平の生活白書」(文化の日特集)  
NHK TV放送台本(S. 54. 11. 3放映)  
F-25
26. 「モーニングティー」(おはよう広場)  
NHK TV放送台本(S. 57. 9. 2放映)  
F-26
27. 「趣味とあなたと野の草」  
NHK TV放送台本(S. 47. 5. 19放映)  
F-27
28. 「米の味」  
NHK 対談内容の要旨  
F-28
29. 「探検と私」  
最終講義「探検と私」, 探検についてのインタビュー  
NHK Studio 102(1980. 3. 5)  
F-29
30. 「海の銀座通り:潮干帯の生物いろいろ」  
読売 TV放送台本(S. 36. 8. 9放映)  
テレビ大学第30回「自然を観察しよう」第2回  
F-30
31. 「植物を楽しむ」  
読売 TV放送台本(S. 36. 8. 16放映)  
テレビ大学第31回「自然を観察しよう」第3回  
F-31

32. 「世界の原始をたずねて」  
朝日 TV放送台本(11. 3放映)  
F-32
33. 「フィジーレポート」(さつま八面鏡)  
鹿児島テレビ TV放送台本  
No. 1(S. 57. 3. 7放映)  
No. 4(同3. 26放映)  
F-33
34. 「わが農耕文化論」(話題の窓)  
鹿児島テレビ TV放送台本(1980. 10. 22放映)  
F-34
35. 「米の意外な効用」(八木治郎ショー)  
毎日 TV放送台本(9. 22放映)  
F-35
36. 「おしゃべり食らいふ」  
フジ TV放送台本  
No. 7「主食・常食お国ぶり」(S. 56. 5. 16放映)  
F-36
37. 「小川宏ショー」  
フジ TV放送台本(11. 16放映)  
F-37
38. 「米, 凶作なんてこわくない! ?」  
関西 TV放送台本(1980. 10. 25放映)  
「トークかんさい' 80」その54  
F-38
39. 「パンの道」  
RCC TV放送台本  
第1回(S. 60. 5. 26放映)  
F-39
40. 「米の味」(婦人の時間 話のスポット)  
TV放送台本(S. 39. 10. 27放映)  
F-40
41. 「私の秘密」  
TV放送台本  
第441回(S. 38. 12. 16放映)  
F-41

## F. TV・ラジオ台本

42. 「RFD通信員の記録」  
ラジオ台本  
5月号, 6月号  
F-42
43. 「タイの納豆 アチーアカ族」  
ラジオ台本('88.10)  
民博ビデオテーク  
F-43
44. 「沖縄熱帯ドリームセンタービデオディスク」  
I-VI ビデオ台本(S.60.4)  
沖縄開発庁企画, (株)日本シネセル製作  
F-44
45. 「人類進化の謎をさぐる:京大アフリカ学術調査隊の記録」  
海外取材番組提案  
F-45
46. 「生麩・ゆば」  
ロケに向けた概念的コンテ  
F-46
47. 「雲南に日本文化のルーツを見る」(雲南シリーズ)  
読売 TV放送台本 「雲南と日本文化(仮題)」(企画案)  
『映像カルチャーホール』Vol.9 上映プログラムS.56.12.4-S.57.3.31  
NAVL(日本映像カルチャーセンター)  
番組構成の資料, 討論テーマ関連の資料, 企画説明, 雲南に関する資料  
F-47
48. 「雲の中に住む人々(仮題)」  
大阪府立大学東部ネパール調査隊(昭和36.9)  
TV連載番組用構成(案)(中尾佐助自身による)  
空中撮影用の指示メモ  
F-48
49. 「K. U. S. E. 1955」  
京都大学カラコルム・ヒンズークシ学術探検隊  
記録映画メモ, 企画案  
「氷河と砂漠の果てに」解説原稿  
F-49

## G. 海外遠征関連資料

(調査概要、計画書、資料、文献、パッキングリスト等)

1. 「西アフリカ探検資料」  
調査概要, 図表  
1968. 1-3  
G-1
  
2. 「京大大サハラ学術探検隊活動記録」  
中尾佐助先生は農耕文化班として参加  
調査地域: サハラ中央部, ニジェール川流域, サハラ南方地帯  
計画書(1967. 9, 10), パッキングリスト  
活動記録1968. 7  
G-2
  
3. 「インドネシア共和国, パプア・ニューギニア, ソロモン, 遠征資料」  
調査計画書(調査事項: 根栽農耕文化圏における果樹の探索と利用の調査)  
資料: 「References on PNG and Irian Jaya」, 「Abstracts of the second Papua  
New Guinea food crops conference」, 「Itinerary of Japanese team in PNG  
and Solomon」, 「Crafts of Papua New Guinea」  
文献: 「The wild bananas of Papua New Guinea」 「Breeding for resistance to  
diseases of Taro, COLOCASIA ESCULENTA in Solomon Islands」  
「パプア・ニューギニアの自然と緑化への努力」  
1980. 7  
G-3
  
4. 「鹿大『Fijian Expedition』関連資料」  
資料: オセアニア関連, フィジーの地図(コピー)とS. 56. 12. 12~S. 57. 1. 22の調査  
名簿, フィジー調査のための資料, 「Fiji facts and figures, 1979」のコピー  
JICA「任国情報」のコピー, 「The institute of Pacific Studies」,  
研究報告書, 「かごしま丸」鹿児島大学(冊子), 日程表, 滞在地(地図),  
'55留学生名簿(鹿大), スイジ貝  
1981  
G-4
  
5. 「ブータンツアー資料」  
日程表, 参加者名簿, ブータンについての豆知識, その他ツアー書類  
1981. 10-  
G-5

## G. 海外遠征関連資料

6. 「オセアニア関連資料」  
鹿児島大学南方海域研究  
主にパラオ・ヤップ研究  
「オセアニア物語：鹿大南海研ルポ」1-3(新聞記事コピー) 1987. 4  
資料：S. 61年度「オセアニア海域における水陸総合学術調査」(パラオ・ヤップ)  
研究報告会(於鹿大理学部, 1987. 4. 27)
  - ・鹿大南方海域研究センター「ミクロネシア報告」1-6
  - ・「最終年迎える“南海研”」(新聞記事のコピー)含む「Palau, Yapの教育事情」平川忠敏(鹿大), 「パラオ・ヤップの水産開発」  
松田恵明ほか  
文献：『鹿大歯学部紀要』第7巻別刷「ミクロネシア学術調査に参加して」  
標本：ヒトツバタゴ  
新聞記事のコピー(南海研のものだが中尾先生とは無関係)  
1986-87  
G-6
7. 「府大スラウェシ(セレベス)農業調査計画資料」  
計画書, 名簿等  
1963  
G-7
8. 「インド関係資料」  
バックングリスト, 生物誌研究会からの支払通知, メモ  
1981  
G-8
9. 「参考文献」  
「Subsistence agriculture:its benefits for PNG」, 「Subsistence gardening on the hoskins oil palm sceneme」, 「Cultivation of traditional leaf vegetables」, 「Second Papua New Guinea food crops conference」, 「Root crops in Papua New Guinea」, 「Intensification of subsistence agriculture on the Nimbi Plateau Preliminary Results」, 「Some Nut-Breeding plants in Papua New Guinea」, 「植物と文明 1. 西アジア新石器時代の場合」, 「房総半島の後期新生代植物群 III. 沖積層から得た資料」, 「The wild bananas Of Papua New Guinea」, 「Plants and men」  
主に海外の植物関係, フィールド用かどうかは不明  
G-9
10. 「ブータン個人探検」  
バックングリスト  
1958  
G-10



11. 「生物誌研究会 (FF) 関連」  
FF委員会議事録, 調査隊よりの報告, 市大東南アジア学術調査隊(2次)計画書(FF), 西  
イリアン計画覚書(1963), 紹介状?(桑原武夫氏が海外の人物にあてたもの,  
北村二郎と中尾佐助の二人分), ネパール西北部学術探検計画案(1955),  
AACKカラコラム隊報告(1960)  
G-11
12. 「マナスル, マナスル科学班」  
企画書, 見積, パッキングリスト, 研究項目, 参考文献  
「インディアン・サイエンス・ロングレス」における木原均の挨拶文  
「Barometric Altitudes of Important Places」(キャンプを示したチャート?)  
植物採取リスト(1952), 毎日新聞S 28. 8. 26科学班帰還記事,  
「The Altitudinal distribution of some important trees」(チャート)  
1952-1953  
G-12
13. 「K. U. S. E. 1955 (登山関係)」  
パッキングリスト(Part 1, 2), 計画書, キャンプ見取図, 隊員必携, 日程表,  
出納簿  
1955  
G-13
14. 「K. U. S. E. 1955 (研究等)」  
麦写真, 実験結果記入用紙, メモ, 検疫の書類  
冊子「Karakoram-Hindukushu Expedition」  
G-14
15. 「O. F. H. E. 1962」  
計画書(1961. 5), 日程表, 文献(チョモラリ関係)  
ネパール政府よりの回答(1961. 12), 入国申請書(1961. 7)  
探検ルート, 「ヒマラヤの花」出版計画  
TOHE関係通信(東京都立大学・大阪府立大学合同ヒマラヤ学術調査隊)(1963)  
別にO. F. H. E. のスクラップブック 11冊あり  
G-15
16. 「レシート類」  
海外調査の内, インド, ネパール関係のもの  
G-16
17. 「K12事故調査委員会関連」  
委員会抄録  
調査書作成用の資料, 原稿(コピー)等  
G-17

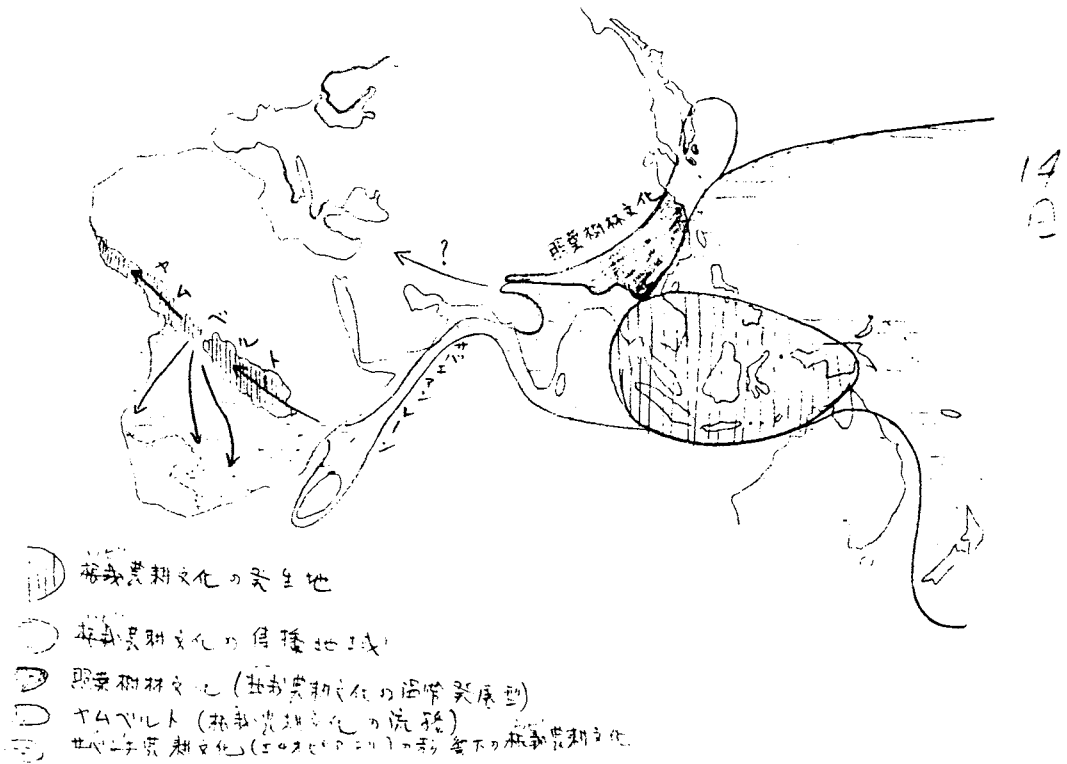
## H. 地図・チャート

### H. 地図・チャート (書込みのある地図、手書きチャート類)

1. 「インド・ヒマラヤ（手書き地図）」  
ヒマラヤ地域の栽培植物探検図，ネパール地図用航空写真(全5枚)  
インド調査図，ヒマラヤ概図，Herrlich's and Schafer's Expeditions  
H-1
2. 「ブータン」  
オリジナル地図作成用資料，気候区分メモ，完成地図下書き  
H-2
3. 「ネパール（山関係）」  
Pokhara Valley, Central Nepal(書込みあり)  
H-3
4. 「東北ネパール」（手書き）  
ヌプチュー登攀ルート図  
H-4
5. 「マナスル登山隊科学班ルート1953」  
H-5
6. 「中東」  
Mazanderan(地図の焼き付け写真)，Iran  
H-6
7. 「中国」  
中国北部地図(小全9枚，大全4枚)，中国年降水量図，中華人民共和国植被図  
北部大興安嶺支隊経路実測図草稿  
H-7
8. 「湯旺河登山ルート（手書き）」  
H-8
9. 「樺太・満州（手書き）」  
1/100,000水系図(昭和16)，北満砂金鉱区図，樺太島全図(印刷)，  
樺太多来加湖周辺地形図  
H-9
10. 「南洋」  
南洋諸島，ボナベ島(京都探検地理学会)，南洋拓殖株式会社要覧  
H-10
11. 「アフリカ（書込あり）」  
Michelin Afrque(Nord et Ouest)，Central & East Africa 1963  
H-11

12. 「対馬（書込みあり）」  
和久，小茂田，泉など全7枚  
H-12
13. 「広島（書込みあり）」  
広島，海田市  
H-13
14. 「熊本・大分」  
全12枚  
H-14
15. 「高知」  
全10枚  
H-15
16. 「三重・滋賀」  
全2枚  
H-16
17. 「近畿」  
紀元二千六百年記念植物園 1/5,000図(神戸)，兵庫綾部，京都近郊，  
伊丹(育種研究用)  
H-17
18. 「愛知・滋賀」  
北小松，名古屋南部，名古屋北部  
H-18
19. 「岐阜・長野・山梨（書込みあり）」  
全10枚  
H-19
20. 「白山（書込みあり）」  
白山植生図，大谷原現地調査報告，ほか5枚  
H-20
21. 「朝鮮狼林山脈1940」  
江界営林署資料(2通)，北鮮開拓事業実施区域図，  
サンプルルート図(手書き3枚)，地図(書込みあり2枚)  
H-21
22. 「京都大学東南アジア研究センター所蔵アジア地域地図目録」  
地図コード(1975.6)  
研究センター活動報告(昭和44～46年度)  
研究センター所報Ⅲ(1965/1966)  
H-22

23. 「広島調査チャート」  
 "Studies on nucleus-sesplacement in two species of Aegilops"  
 採集エリアメモ  
 チャート(湿性遷移の植生)  
 H-23



1. その他一般的資料  
(メモ、通信文等)

1. 「椿山焼畑調査計画書」  
調査内容：高知県吾川郡池川町にある椿山及びその近隣地域における調査，  
京都大学焼き畑研究会(会長梅棹忠夫，顧問中尾佐助ほか)  
1969-70  
I-1
2. 「ヒマラヤの人と自然」  
伊丹市立博物館第12回特別展(写真協力)  
パンフレット(4部)，アルバム(展覧会風景)  
1980  
I-2
3. 「中尾佐助宛送付資料」  
“KUEC”のコピー，日本モンキーセンターから新聞記事，  
C. S. ジャー駐日印度大使講演要旨，文献借用のお礼，椿に関する文献  
I-3
4. 「府大教授時代の職務に関するもの」  
人事記録，農学部ブドウ棚見積書・基礎図(S. 42. 3. 18)，  
Landscape Plan For Court Agricultural Sciences Building  
I-4
5. 「鈴田巖先生退官記念行事関連」  
写真・ネガ，速記録(鈴田巖氏のあいさつ?)  
I-5
6. 「第26回秩父宮記念学術賞表彰式資料」  
I-6
7. 「アルバム：海外農業研究会」  
展示会への協力(1984)  
I-7
8. 「マナスル(1952-1953)関係の通信文」  
主に現地で受信したもの，私信を含む  
I-8
9. 「カラコルム，ヒンズークシ(1955)関係の通信文」  
主に現地で受信したもの，私信を含む  
I-9

## I. その他一般的資料

10. 「ブータン関係の通信文」  
1958個人調査の際当地で受信したもの  
ブータン国王よりの招待状  
多田等観氏よりの回答含む  
その他  
I-10
11. 「シッキム・アッサム調査（1959）関係の通信文」  
主に当地で受信したもの  
I-11
12. 「富山県北日本種苗統制株式会社の通信文」  
植物の種子研究のことなど（昭和21年頃より）  
大阪帝国大学理学部，良農園営業部，三栄工業所  
木原均宛も含む  
I-12
13. 「東部ネパール学術調査隊：ヌプチュー登攀」編集関係  
中尾佐助先生による構成（案）  
加納巖氏による原稿  
添付地図下書き  
I-13
14. 「海外遠征資料（他団体のもの）」  
顧問として意見を求められたもの，またはバックングリスト等遠征計画の参考にしたと思われるもの  
バックングリスト「都大，府大合同ヒマラヤ遠征隊」（1963）  
「京大学士山岳会アンナプルナ遠征隊」（1953）写真  
「日緬親善ビルマ研究資料蒐集計画案・最低予算見積書」ビルマ文化調査隊  
「京大パンジャブ大合同カラコルム探検計画」（1956）京大探検部  
「京大パンジャブ大合同スワート・ヒマラヤ探検計画」（1957）京大探検部  
「ヒマラヤ遠征計画書」（1952）福岡山の会ヒマラヤ遠征委員会  
「日智合同パタゴニア探検趣意書」日智合同パタゴニア探検後援会  
「Mt. Everest Expedition 1952 in transit through India to Kathmando/Nepal」  
Swiss Foundation for Alpine Research  
「京大学士山岳会ヒマラヤ遠征計画概要」（1953）  
「早稲田大学アコンカグア遠征趣意書」（1952）  
「早稲田大学カラコルム遠征計画概要」（1952）  
I-14
15. 「種子貯蔵と発芽に関する通信と記録」  
昭和21年～昭和23年，竹田良二宛て  
I-15
16. 「著書，資料等の寄贈文」  
寄贈資料に同封されていたと思われる手紙類  
I-16

17. 「研究者からの通信，私的な報告等」  
柳田国男，山内年彦，堀田満，相良直彦，FFの芦田譲治氏よりの通信ほか  
海外の研究者からのものも含む  
I-17
18. 「日本ネパール文化協会主催“講演とネパール映画”関係」  
日ネ協会関係の通信文  
映画製作会社との連絡文，中尾佐助先生講演の招待ハガキ  
I-18
19. 「出版関係の通信文」  
毎日新聞社(ブータン渡航の際の契約書含む)  
日本放送出版協会，「岳人」編集部，くもん出版，「嗜好」編集部，岩波書店  
I-19
20. 「木原均先生関係の通信文」  
木原均先生から中尾佐助先生宛てのもの  
遺伝学研究所からのもの  
大麦の種子標本含む  
その他  
I-20
21. 「日本山岳関係の通信文」  
会員からの連絡  
山岳会を通して転送された渡航先からの手紙ほか  
I-21
22. 「依頼文，案内など」  
例会等への参加案内，参加依頼  
出版関係の依頼文  
日本エッセイストクラブ賞授賞式案内  
講演と映画「探検への招待」パンフレット(書込みあり)，  
北大生協・北大図書刊行会主催，講師中尾佐助先生  
I-22

## J. その他個人的資料

### J. その他個人的資料 (手紙、日記、アルバム等)

1. 「大学生時代のノート、レポート」  
実験レポート、スケッチ等  
J-1
2. 「メモ一般、スケジュール表」  
メモ・住所録  
スケジュール表('56-'57, '59-'61, '63-'67, '69, '71-'72, '75-'77, '79)  
定期  
J-2
3. 「愛知県立豊橋中学校第三十五回卒業記念アルバム」  
J-3
4. 「個人的な手紙」  
年賀状、クリスマスカード、遠征先から家族へ宛てた手紙等  
J-4
5. 「パスポート類」  
海外探検時のパスポート(7冊)、ビザ  
マナスル調査(1952)のポーターのものと思われるサインと住所  
ブータン調査(1958)の領収書類  
J-5
6. 「最終講義記念祝賀会芳名録など」  
最終講義：昭和55年2月20日  
「中尾私有図書借用簿」1冊(1961)  
J-6
7. 「名刺ファイル」  
名刺をアルバムに貼付したもの(全9冊)  
J-7
8. 「記念写真集、色紙など」  
色紙今西錦司、桑原知風より  
記念写真集林一彦より(1985)  
J-8



## 第4部 参照資料

### P. 農耕・植物関連

1. 『Sesame:status and improvement』  
①-④  
P-1
2. 『Descriptors for sesame』  
P-2
3. 「箕面関係」  
箕面の生物他  
P-3
4. 「花博関係」  
プラントフォトハンティング解説23-37(堀田満編)  
P-4
5. 「山形の植生」  
植生図など  
P-5
6. 「白山植生」  
P-6
7. 「府大生物研究会(顧問)」  
P-7
8. 「日本ツツジシャクナゲ協会会報等」  
1-20 欠: 10, 13, 14, 17-19  
P-8
9. 「植物の分類(Hordeum vulgar L. S. l.)」  
P-9
10. 「植苗紙稲作」  
P-10
11. 「Parasexual Interspecific Plant Hybridization」  
P-11
12. 「赤米の話」  
盛永俊太郎執筆  
P-12

## P. 農耕・植物関連

13. 「環境科学研究所所報 13」  
1988. 10  
P-13
14. 「焼畑・出作りと焼畑経営の技術」  
P-14
15. 「園芸植物関連文献」  
P-15
16. 「日本の掘り棒」 (『会津植物愛好会会報』 No. 9)  
P-16
17. シンポジウム「近畿地方の植物地理」資料  
P-17
18. 『自然と野生ラン』ほか  
『自然と野生ラン』(1988. 12月号, 1989. 1月号)  
『本場のハナ』('60-'61年春号)  
『Amateur GARDENING』(1934)  
P-18
19. 「植物に関する文献」  
『Economic botany』Vol. 28 1974, 「Trends in linguistics」, 「Food plants of the South Sea Islands」, 「Wild edible plants of Nepal」, 「An introduction to Nepalese food plants」, 『News letter of Himalayan botany』No. 4 Dec. 1988  
P-19
20. 「世界の生態気候区分図」  
吉良竜夫(作図)  
P-20
21. 「Bananas」  
by N. W. Simmonds  
P-21
22. 「Taros and yautias」  
by R. A. Young  
P-22
23. 「熱帯アフリカにおける植物利用に関するデータ作成の手引き」ほか  
「西藏野生大麦」(本文は漢語)  
P-23
24. 「台湾農耕の資料」  
卒業論文：福村光敏「台湾蘭嶼ナミ族の伝統的農耕」(1984)  
P-24

25. 「アメリカの農耕など」  
古代アンデス文明の編年(1989民博)  
新世界における更新世末大型哺乳類の絶滅(1990)  
Language Families of the Americas(1987)  
P-25
26. 「河川下流の洪水に関する資料」  
P-26
27. 「Paleorient (1980) のコピー」  
Sorghumの記述あり  
P-27
28. 「園芸植物分類研究会」  
集会要旨：第16回, 第19回  
P-28
29. 「シンボリズム—婚姻に関わる植物」  
P-29
30. 「ムギ関連」  
阪本寧男氏よりの資料  
コムギの系, 種及び型の分類  
Rye Cenome in "Terminillo Weat(1)"  
Hexaploid Triticale  
Wheat Information Service, No. 27(1968), 39(1974), 40(1975)  
P-30
31. 「Rerillaに関する文献」  
P-31
32. 「Flora Malesiana」  
P-32
33. 『農学研究』  
56巻3号(昭和52.3) 岡山大学農業生物研究所  
P-33
34. 『植物防疫法による輸入禁止植物及び輸入禁止地域』  
昭和40年6月1日改正  
P-34
35. 『国立遺伝学研究所年報』  
第26号(1976)  
P-35

P. 農耕・植物関連

36. 『自然学研究』  
創刊号(1986) 自然学研究会  
中尾佐助先生は研究会に参加  
P-36
37. 『倍数性』  
『農学綜報 第一輯』1947 創元社  
P-37
38. 『椿』  
1966 京都園芸倶楽部  
P-38
39. 『桜』  
1968 京都園芸倶楽部  
P-39
40. 『京山草』  
第拾卷(1974) 京都山草会  
P-40
41. 『のみち』  
2, 4-7号(1968-1970) 近畿野草会  
P-41
42. 『生理遺伝』  
『農業技術研究所報告 D』第26号(1975)  
P-42
43. 『種生物学研究 1』  
第7回植物実験分類学シンポジウムの集録  
植物実験分類シンポジウム準備会 1977  
P-43
44. 『麦類試験成績書概要1960年度』  
1960 農林省関東東山農事試験場  
『麦類試験成績書1962年度』1963 農林省農事試験場  
P-44
45. 『稲品種に関する試験成績1959年度』  
1960 農林省農業技術研究所  
P-45

## Q. 食文化関連

1. 『アサヒグラフ』  
“コメ特集”  
Q-1
2. 「味の素食の文化センター関連」  
Q-2
3. 『Vegeta』  
藤下典之氏資料含む  
Q-3
4. 『ニューフレーバー』 フレーバー技術研究会  
137(1983), 186-187(1987)  
Q-4
5. 『Salon Kinoko』  
No. 3  
山口聰, 衣川堅二郎など  
Q-5
6. 「ツルムラサキ資料」  
種子, 写真含む  
Q-6
7. 「韓国の食文化に関するもの」  
Q-7
8. 『刊行資料目録』  
国際食糧農業協会発行  
Q-8
9. 「人間の栄養と小麦」  
『のびゆく技術』150・151合併号  
Q-9
10. 「食用植物文献」  
コンブ, ヒョウタン, シイタケ, Pangium, 水前寺菜など  
Q-10
11. 「鹿児島大よりの資料」  
太田静六編「九州のかたち“民家”」よりのコピー “鹿児島県の民家:二棟造の本場”, 「九州の須恵器」, 「食の文化展—variety of food」北九州市立歴史博物館  
Q-11

Q. 食文化関連

12. 「食糧問題」ほか  
統計資料，農試ニュース等  
Q-12
13. 「コムギ粉とパンの生産」  
『技術の歴史』第3巻，「地中海文明と中世 上」の4章「食物と飲料」第1節  
Q-13
14. 「アッサムの保存魚」  
石毛直道執筆  
Q-14
15. 「日本食と魚」  
第37回栄養食糧学会より  
Q-15
16. 「飲食史林」  
第2号(1980) 飲食史林刊行会  
Q-16
17. 『茶の起源研究』  
第1号—第4号(1964-1966) 茶の起源研究会  
Q-17
18. 『嗜好』 明治屋  
425-529(1964-1993)，欠：428-476，478，487  
『嗜好』別冊 26冊(1971-1992)  
その他小冊子(味の素発行) 4冊  
Q-18



## R. 山・登山関連

1. 『毎日グラフ』  
2冊(山岳関係と植物名の監修でそれぞれ名前が出ている)  
R-1
2. 『カラコラム』 (アサヒ写真ブック 30)  
R-2
3. 『日本山岳会会報』  
162号(1952)-257号(1966)  
欠：163-168, 170-172, 176, 179, 180, 182, 184-186, 192, 194, 206, 219-221  
R-3
4. 「日本山岳会会報『山』」  
258(1960)-493(1986)  
欠：279, 300-361, 363-492  
R-4
5. 『日本山岳会関西支部報』, 『博格達』  
支部報：No. 2, 4, 6, 7, 9, 10, 11, 15-17, 19, 21, 22, 24(1958-1972)  
博格達(同会学生部発行)：1983  
R-5
6. 『山稜会誌』  
第八高等学校山岳部  
27-32号, 別冊, 追悼号2冊(昭和11-昭和18) 計9冊  
八高時代に在籍, 年度の報告を執筆：別冊(昭和14. 4) pp. 93-96  
32号(昭和18. 3) pp. 85-87,  
R-6
7. 『探検』  
京大探検部  
0(1956)-12(1970)号  
欠：2, 5, 6, 11, 知床特集号(1962) 計9冊  
R-7
8. 「京大探検部」, 「生物誌研究会」  
西イリアン, スラウェシ計画関係  
R-8
9. 「京大山岳部関連」  
ブータンヒマラヤ(1985), マサ・コン(1985), カラコラム(1974)  
「報告」10, 12, 15, 16  
R-9



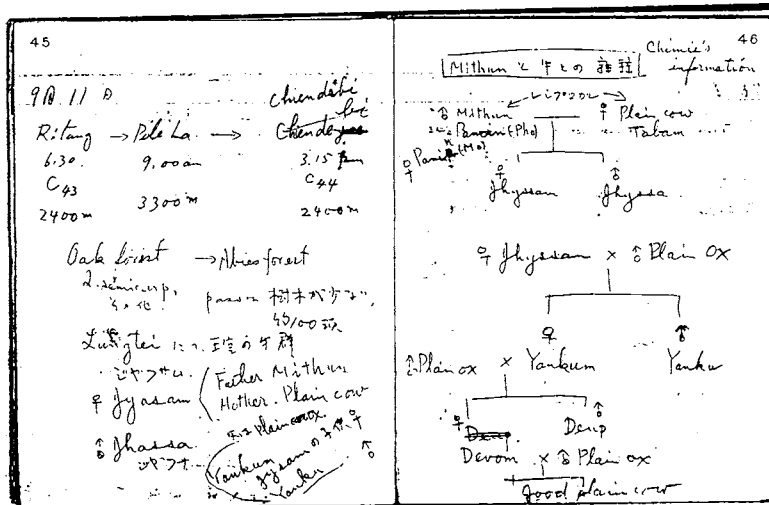


## S. ネパール・ブータン関連

1. 「ブータンの相聞歌」  
ゲラ(糸永正之著)  
本人からの手紙含む  
S-1
2. 「ブータンに関する文献」  
「ブータン」(日本ブータン友好協会, 1983. 7), 「京都大学ブータンヒマラヤ学術登山隊計画書」 「京都大学ブータンヒマラヤ学術登山隊報告会」(京大山岳部, 1985. 1), 「KUENSEL」(Bhutan's National Newspaper, 1987. 12), 『アサヒグラフ』(朝日新聞社), 「DRUK LOSEL」vol. 3, no. 2(1981)  
ブータンの写真コピー, カリンボンのクリスマスカード  
S-2
3. 「ブータン関連」  
「ブータン王国事情」(外務省, 1971. 12)  
「Punakha Dzong」 『Dzong In Bhutan』 Vol. 1  
『岳人』(1983. 8)  
S-3
4. 『ブータン』  
日本ブータン友好協会  
1(1982. 9), 3, 5, 8, 9-18, 26号 計15冊  
S-4
5. 『日本ネパール協会会報 1』  
1:No. 7-No. 30(1972. 12-1978. 8) 欠:10, 21  
S-5
6. 『日本ネパール協会会報 2』  
2:No. 31-No. 50(1978. 10-1981. 12) 欠:39  
S-6
7. 『日本ネパール協会会報 3』  
3:No. 51-No. 70(1982. 2-1985. 4) 欠:57  
S-7
8. 『日本ネパール協会会報 4』  
4:No. 71-No. 99(1985. 6-1990. 3) 欠:74, 90-92, 98  
S-8
9. 『日本ネパール協会会報 5』  
5:号外等 「号外」(1985. 2), 特別号(1985. 7),  
「シンポジウム・ネパール」第15回-第17回(1986-1989)  
「ネパールキャンペーン報告書」(1980)  
S-9

S. ネパール・ブータン関連

10. 『日本ネパール文化協会会報等』  
 会報 No. 1-2, 5-6 (1965. 9-1971. 12)  
 『NEPAL』 『ネパール研究の集い・講演記録第1集』  
 会則 (1965. 3)  
 S-10
11. 「日本ネパール協会関連」  
 書類, 通信文, ネパール研究学会プログラム, 各種イベント案内等  
 S-11
12. 「ブータンのグリーティングカード」  
 民俗的な衣裳, 風俗を描いたもの  
 著作に挿絵として使用されたもの含む  
 S-12
13. 「ネパールの紙と原料を訪ねて」  
 1973  
 中尾佐助著「栽培植物と農耕の起源」が参考文献に記載されている  
 S-13
14. 『ネパールの手漉紙』  
 在ネパールコロボプラン専門家塩野目光  
 S-14
15. 「西岡京治氏関連」  
 「ブータンの手工芸品」西岡里子(『あるくみるきく』142),  
 「ブータンの相聞歌」新聞記事コピー, 西岡京治プロフィール(英文),  
 『Aak』, 『approach』 Autumn 1988(西岡里子の記事あり), 1981  
 『NEPAL』西部ネパール民族文化調査隊  
 S-15



フィールドノート「ブータン」(1958)

## T. その他

1. 「名簿」  
日本ブータン協会(1954), 日本ネパール文化協会(1972), 京大人類学研究会(近衛ロンドン)(1977), 辰巳会(1975), 日中科学技術交流協会(1981), 日本ネパール協会(1978), 時習館同窓会関西支部(1984), 日本育種学会(1985), 府大山岳会(1985), 関西八高会(1986), 善隣会(1986), 日本植物学会(1986), 日本ブータン友好協会(1989), サツキ会(1990), 日本民族学会(1991), 京大探検部OB会(1991), AACK会員名簿(1993), 日本遺伝学会(1992), (社)日本山岳会(1992), 名古屋大学山岳会, 日本学術振興会奨励研究員名簿(1980), 日本生態学会(1975)  
T-1
2. 「アジア関係」  
「東南アジア研究の7年」, 「パラワン山地民の樹上共同家屋」(フィリピン), 「Some considerations on conservation of nature in Siberut Island」(インドネシア), 『やくしん韓国』('71)  
T-2
3. 「中国資料」  
『学芸』“特集東亜の科学”, ペリー提督の通訳羅森の子孫を訪ねて, 『人民中国』, 「東ユーラシア文化: 雲南省納西族」1, 2  
T-3
4. 「衣裳について」  
『被服文化』, 「タバ」, 『染色α』  
T-4
5. 「沖縄, 南西諸島」  
「沖縄民俗研究」, 「八重山旅行記」, 「徳之島郷土研究会報」  
T-5
6. 「日本の民俗(族)文化」  
「山の王小考」, 「江津湖苗代津遺跡」, 「鹿狩り」, 「日本文化季報」, 「海上の道」(解説)佐々木高明, 臼に関する文献(2部), 「造酒司と大嘗祭」, 『創造の世界』72(「地名と語源」シンポジウムを参照?), 『古代文化』“特集倭と倭人の世界”, 『歴史と現代』(「卑弥呼と倭人のルーツ」を参照?)  
T-6
7. 「インド雑誌」  
5冊(現地で買ったもの?)  
T-7
8. 『関係の生態』ほか  
『関係の生態』創刊号, 対談「博物館の思想」(梅棹忠夫, 井上光貞)  
『流通経済新聞』“特集今西錦司”, 『ゑれきてる』No. 28 1988  
竹林公園のパンフレット  
T-8

## T. その他

9. 『石寨古墓群発掘報告（1956）』  
云南省博物館考古発掘工作組  
T-9
10. 『石寨古墓群発掘報告図版集成（1959）』  
云南省博物館編  
T-10
11. 「中国雲南省少数民族の歌と踊り」  
民博研究講演構成案？  
T-11
12. 「エコロジー緑化の先兵—グリーンサイト」  
「都市と自然」1986. 8  
T-12
13. 「パプア・ニューギニア関係」  
パプア・ニューギニア” マンドック島” に関して(Ward and Lea eds, 1970)  
Ecology of Sogo-Eaters in Lowland Papua. (Univ. Tokyo Press, 1983)  
T-13
14. 「抜き刷り文献カード」  
カードBOX  
T-14
15. 『無限大』  
47-50号(1980) 日本アイ・ビー・エム  
T-15
16. 『民族学研究』  
日本民族学協会編 第13巻3号-4号(1949) 図書院  
T-16
17. 『地平線』  
新第1号(1947) 地平線同人会  
T-17
18. 『総合的地域研究』  
第1号(1993), 第4号(1994)  
T-18
19. 『South Pacific Research Register 1988』  
T-19
20. 『朝鮮学報』  
第58輯(1971) 朝鮮学会  
T-20







タイトル索引

KUARA, KUAPE, KUASA 京大アフリカ研究会 《オ》	8 2
Land and crops of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953 《収》	⑦2 7 2 8
Light up. The Quality Magazine 《収》	6 5
Liquor Shop 《収》	6 2
List of Rhododendron species depicted and amended by D.B.Leach 《オ》	8 2
Living Himalayan Flowers 《サ》	2 5
Maize from Afghanistan and Karakoram	2 9
Maize from Karakoram and Afghanistan 《研》	8 8
Meconopsis Vig. メコノプシス属	2 9
Millet from Afghanistan and Karakoram	2 9
Millet from Afghanistan and Karakoram 《研》	8 8
Miss Hamiltonのメッセージ 《オ》	8 1
NEPAL HIMALAYA Seed catalog (J.H.E.) 1952-1953 《オ》	7 5
News Letter 《参》	1 3 3
NHK婦人百科 《収》	4 2
NHKブックス 173 《収》	2 5
NHK歴史への招待 《収》	5 7
Nippon to Tibet no Omugi 《研》	8 6
Nishida 《オ》	7 4
Note on Spore Germination and Protonemal Growth Controlled by Day Length in Bryum pseudo-triquetrum	4 1
Notes on Mongolian vegetation 《研》	8 6
Notes on the Mongolian vegetation	3 5
Nukada 《オ》	7 4
O.F.H.E. 1962 《オ》	7 2
	7 3
	7 6
O.F.H.E. 1962 《研》	1 1 3
O.F.H.E. 1962 シャクナゲ標本の写真焼き付け 《研》	1 0 5
O.F.H.E. EASTERN Nepal 1962 《オ》	7 4
O.F.H.E. (Yasuda) 1962 《オ》	6 9
O.F.H.E.関連(1) 《参》	1 2 8
O.F.H.E.関連(2) 《参》	1 2 8
Oats	2 7
Oats 《研》	②8 8
On the Mongolian naked oats 《研》	1 0 4
On the Mongolian naked oats, with special reference to their origins	3 5
On the Mongolian naked oats with special reference to its origin 《研》	8 6
On the origin of Tuber-growing culture complex in Eastern Asia	5 3
The origin and distribution of Himalayan plants 《研》	8 4
Paleorient (1980)のコピー 《参》	1 2 3
Peljor Namgyal Girl's High schoolの女生徒の斉唱 《オ》	8 1
Parasexual Interspecific Plant Hybridization 《参》	1 2 1

Peoples of Nepal Himalaya:Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953 《収》	2 8
Peroxidase system in the floral organs of Begonia rex Putz	4 8
Perpetuation of Begonia Rex by aseptic culture with micro-leaf cuttings under various conditions of auxin and cytokinin	4 5
Petuniaの胚珠培養に関する基礎的研究 PHP 《収》	4 4 4 6
Proc.Seventh Pacific Sci.Cong.Wellington 《収》	3 6
A report of the Scientific Mission 《サ》	3 8
Rerillaiに関する文献 《参》	1 2 3
Research in the effects and influence of the nuclear bomb test explosion 《収》	3 7
Results of Kyoto Univ.Sci.Expedition to the Karakoram and Hindukush 1955 《収》	②2 9
RFD通信員の記録 《研》	1 1 0
Rhododendron L. シャクナゲ属	2 9
The rice plant in Sikkim: a report of the Scientific Mission	3 8
Saiensu 《収》	3 5
Salon Kinoko 《参》	1 2 5
Sangaku 《収》	3 9
Sci.Rep.Fac.Agr.Naniwa Univ. 《収》	3 5
Scientific Results of the Japanese Expeditions to Nepal Himalaya 1952-1953 《収》	⑧2 7 ②2 8
Second Hisper Crossing 《研》	8 8
Seiken Ziho 《収》	3 5
	3 8
Sesame:status and improvement 《参》	1 2 1
SNOW 《収》	5 3
South Pacific 1981 《オ》	7 6
South Pacific Research Register 1988 《参》	1 3 2
Status and improvement 《参》	1 2 1
Studies on the Agriculture,Crop Taxonomy and their Origin and Transmittance in Sino-Himalaya Route 《研》	8 6
Studies on the origin of weed oats in Japan	4 9
Studies on the wild type barleys from Himalaya 《研》	8 6
T.O.J.H.E. (W.Mori) 1963 《オ》	7 4
T.O.J.H.E. (Y.Tatsumi) 1963-1964 《オ》	7 4
Taros and yautias 《参》	1 2 2
THAKTO 《参》	1 2 8
THAKTO 《収》	3 7
	②4 0
	4 2
	4 4
Transmittance of Cultivated Plants through the Sino-Himalayan Route	2 8



Travel in Hispar and Biafo glacier 《研》	8 8	朝日ジャーナルの時代：1959→1992 《収》	6 7
Travel to Skardu and Hunza 《研》	8 8	朝日新聞 《収》	3 8
Tsubaki 《オ》	7 4		② 3 9
UTAN 《収》	6 1		4 0
Variability for salt tolerance among some rice varieties	4 6		4 1
Vegeta 《参》	1 2 5		② 4 3
Veronica 1949 《オ》	7 5		③ 4 4
Veronica persica in Hiroshima	3 7		4 5
VESTA 食文化を考える 《収》	6 6		② 4 6
	6 7		4 7
Weed Seed Collector 《オ》	8 1		⑨ 4 8
West African crop complexes and their originations	9 0		② 4 9
《研》			③ 5 3
Wheat	2 7		5 6
Wheat 《研》	② 8 8		5 8
Wheat Information Service 《収》	3 6		6 0
With Green 《収》	5 1		② 6 1
With special reference to its origin 《研》	1 0 4		6 4
Yasuda 《オ》	7 4		6 6
		朝日選書 110 《収》	2 5
あ アイ・アム・ソリーの精神：日本こそ世界最後の秘境である！	4 1	朝日選書 23 《収》	3 0
愛知県立豊橋中学校第三十五回卒業記念アルバム 《研》	1 2 0	朝日選書 409 《収》	2 6
愛知・滋賀 《研》	1 1 5	朝日ブックレット 58 《収》	6 2
藍に関する資料 《研》	1 0 5	朝日文庫 《収》	3 4
あいまいさを科学する 《研》	1 0 4	朝日放送 《収》	4 8
あいまいさを科学する：トワイライト・カテゴリーへの招待	3 3	アジア 《収》	4 9
《収》		アジア・アフリカ地域研究のあり方についてのシンポジウム	2 9
葵 《収》	5 5	(スワヒリ語地域を中心に)記録 《収》	
	6 2	アジア関係 《参》	1 3 1
	6 3	アジア“照葉樹林文化”地帯を歩いた半生 《サ》	6 7
青いクシ	3 7	アジア大峽谷地帯への憧れ：日中合同学術登山隊京大グループ	6 6
	3 9	雲南省・最後の秘境に挑む	
青いクシの咲く村	5 1	アジア・中近東のムギ食	5 8
赤米の話 《参》	1 2 1	アジア・農耕文化に思う	5 0
阿寒国立公園の針葉樹林 《サ》	6 5	アジア農耕文化に思う	3 2
亜高山帯針葉樹林	6 5	アジアの酒、アフリカの酒	4 3
朝市	3 4	アジアの自然環境と文化複合	4 9
	6 5	アジアの自然と文化 《収》	3 4
朝の風景(鳥の泣き声) 《オ》	8 1	アジアの食文化 《収》	6 3
朝日園芸百科 8 《収》	6 1	アジアの無塩発酵大豆食品：アジア無塩発酵大豆会議講演集	6 2
朝日カルチャーブックス 52 《収》	6 3	《収》	
アサヒグラフ 《参》	1 2 5	アジアの野生イネ	3 9
朝日材料料理シリーズ 2 《収》	6 0	アジア文化探検	2 5
朝日ジャーナル 《収》	4 1		4 3
	4 3	アジア無塩発酵大豆会議講演集 《収》	6 2
	4 8	味の素食の文化センター関連 《参》	1 2 5
	5 1	味は脳でできる	6 1
	5 5	味は文化なり	6 2
	6 4	足踏包丁と鞠突包丁	5 6

# タイトル索引

味わおう近景の美：比叡山	4 1	一番列車の音とともに	6 0
アゼマメのひろがり	3 9		6 2
頭の痛い問題：コメと日本人	②4 2	宜昌柑（イーチャンカン）を求めて	3 9
アッサム地域の民族誌研究《研》	9 8	一水会会報《収》	3 8
アッサム地方	2 8	遺伝《収》	3 5
アッサムにおける貫頭衣の研究《研》	1 0 1		3 8
アッサムの稲《研》	8 5		4 0
アッサムの保存魚《参》	1 2 6		4 4
あなたとサンスター《収》	6 6		4 5
アニメ《収》	5 0		4 9
	5 1		6 4
アフガニスタンの稲物	4 0	稲作の展開をめぐる諸問題	3 3
アフリカ《研》	9 3	稲作文化：照葉樹林文化の展開	2 6
アフリカ 1968《オ》	6 9	稲作文化と調理 1	6 0
アフリカ（書込みあり）《研》	1 1 4	稲作文化と調理 2	6 0
アフリカ産のイネ	3 9	稲作文化を見直す	5 9
アフリカ農業の起源	4 3	稲	3 7
アフリカの栽培稲物《研》	9 4	稲《研》	1 0 8
アフリカの豚から	4 3	イネ数品種間にみられる耐塩性に関する変異性	4 6
「甘い」は「美味しい」か	6 1	稲の起源・麦の起源《研》	8 5
雨ごい《研》	9 0	稲の米たみら《研》	1 0 6
アマチュア根性：河口慧海師の探検に思う	4 3	稲の祖先とその研究《研》	8 5
甘味の歴史	4 8	“稲の祖先”をさぐる	3 8
アメリカの農耕など《参》	1 2 3	稲の祖先を訪ねて：シッキム・アッサム探検紀行	3 8
アーユルヴェーダ研究《収》	6 1	稲の祖先を求めて《研》	8 9
アルバム：海外農業研究会《研》	1 1 7	イネのはじまり《サ》	4 2
		稲のふるさと：シッキム・アッサム調査記	3 8
い 飯沼氏のコメントに寄せて：リブライ	5 2	稲のルーツやはり雲南	5 8
医科学大辞典《収》	3 2	稲品種に関する試験成績1959年度《参》	1 2 4
イカリニュース《収》	3 6	稲・麦の起源	2 8
生きる《収》	6 6	稲・麦の起源《研》	8 5
育種学最近の進歩《収》	4 4	稲より桜、日本文化	6 7
	5 1	今西錦司：その人と思想《収》	6 6
	5 6	今西錦司全集《収》	4 8
育種学雑誌《収》	3 8	今西錦司博士遺稿記念論文集《収》	2 9
	4 2	今西錦司博士古稀記念論文集 1《収》	3 0
	②4 3	今西さんとの出会い	4 8
育種材料の諸問題：稲物探索の戦略および戦術	4 4		6 6
いけばなと花環《研》	9 6	今橋ニュース《収》	3 7
いけばなと花環：花を鑑賞する文化	6 3		3 8
石蒸し料理	3 4		4 0
	6 4		4 3
石蒸し料理《研》	9 5	芋	4 7
衣裳について《参》	1 3 1	イモの文化とイネの文化：岩波の文化講演会から	5 0
いずみ《収》	4 2	イモの文化とイネの文化：岩波の文化講演会から2	5 0
板倉康二郎対談集《収》	3 2	イモ類と根栽農耕文化	3 3
一日三回の儀礼	6 6	イモ類の起源と分化	5 6
一日三回の儀礼《研》	8 7	イモ類の毒ぬき	4 7
		イモを食べる文化	5 8

依頼文、案内など《研》	119
依頼文、チラシ、メモ《研》	103
炒り麦	47
岩と雪《収》	43
岩波講座世界歴史月報《収》	44
岩波新書 青版583《収》	25
岩波新書 黄版357《収》	26
岩波の文化講演会から《サ》	50
岩波の文化講演会から?《サ》	50
飲食史林《参》	126
インデックス(アジア・ヒマラヤ)《オ》	82
インド亜大陸の人びとと文化：討論会第二部	30
インドから熱砂の国へ《収》	28
インド関係資料《研》	112
インド雑誌《参》	131
インドネシア共和国、パプア・ニューギニア、ソロモン、遠征資料《研》	111
インド・ネパール 1981《オ》	70
	76
インドの味チャパティ	46
インドのチャパティ	55
インドの山と森の信仰	51
インド半島《収》	③28
	29
インド・ヒマラヤ(手書き地図)《研》	114
インド旅行案内《オ》	82
インベリアル《収》	64
引用文献と引用文メモ《研》	105
う	
雨期の照葉樹林	60
雨期のヒマラヤの花	52
潮《収》	49
薄味の法則	61
歌垣考	32
歌声の民族	38
海の銀座通り：潮干蒔の生物いろいろ《研》	108
海を渡ってきた植物と日本人《研》	90
梅棹忠夫対談集《収》	33
梅棹忠夫著作集《収》	66
漆の国	37
雲南 1984《オ》	70
雲南周辺の植物採集概史	30
雲南に照葉樹林をたずねて	33
	62
雲南に日本文化のルーツを見る《研》	110
雲南の照葉樹林	61
え	
永久凍土層を思んで：阿寒国立公園の針葉樹林	65

エイジャン・オリエンタル・パプアニューギニアン“メジロ”の分布資料(種レベル)《研》	97
栄養指導者のしおり《収》	48
栄養と料理《収》	46
	⑩47
エコノミスト《収》	②45
	54
エコロジー緑化の先兵ーグリーンサイト《参》	132
エッセイスト・クラブ賞受賞選文集《収》	32
エッセンス・オブ・エッセイ：エッセイスト・クラブ賞受賞選文集《収》	32
江戸期の花卉園芸文化	34
江戸の花狂い	64
	68
エナジー対話 12《収》	31
園芸春秋《収》	43
園芸植物関連文献《参》	122
園芸植物大事典《収》	66
園芸植物分類研究会《参》	123
園芸新知識《収》	51
遠征アルバムタイトルなし《オ》	74
お	
黄牛《研》	90
王様にお目見え	37
黄土の岡《研》	90
オウハリガネコク原系体の培養的性質	41
大分・宮崎・鹿児島《収》	58
オオイヌフグリ	48
オオイヌフグリ調査(1)《研》	97
オオイヌフグリ調査(2)《研》	97
大江戸曼陀羅《収》	68
大江戸曼陀羅 1987《オ》	71
おおさか《収》	40
大阪国際サイエンスクラブ会報《収》	②43
大阪市立自然科学博物館建設委員会記録《研》	100
大阪市立自然科学博物館第2回建設委員会(展示テーマ部会第2回)	44
大阪農業《収》	48
大阪・兵庫・奈良・京都《収》	67
大阪府立大学学生部たより《収》	④43
大阪府立大学新聞《収》	36
	37
大阪府立大学附属図書館報図書館たより《収》	55
たまき祭り	37
大麦《研》	95
大麦・エンバクに関する調査《研》	97
大麦起源研究 S.16-《オ》	75
大麦起源研究原因集《オ》	71
大麦研究用資料《オ》	83

# タイトル索引

大麦採集報告 2《サ》	35	字芸《収》	③35
大麦採集報告 2《研》	86	霍縣(かくけん)《研》	90
大麦の概念のうつりかわり	35	字士会会報《収》	64
大麦の動的分類《研》	86	かくし妻	37
大弓コンテスト	37	学術月報《収》	67
小川宏シヨウ《研》	109	岳人《収》	②35
沖縄 1976, 1983《オ》	69		②36
沖縄タイムス《収》	50		38
沖縄, 南西諸島《参》	131		63
沖縄熱帯ドリームセンタービデオディスク《研》	110	鹿児島大学南海研紀要《収》	58
沖縄の食から世界の食をみる	65	鹿児島大よりの資料《参》	125
奥只見の紅葉《サ》	65	鹿児島島の南方野菜	58
奥地への希望	37	カシアの丘	38
お米のうまさ	42	菓子の起源とその定義をめぐって	53
押し花の楽しみ	55	菓子の発達とその周辺	55
おしゃべり食らいふ《研》	109	河川下流の洪水に関する資料《参》	123
オーストロネシア関連のメモ《研》	103	鹿大『Fijian Expedition』関連資料《研》	111
オーストロネシアのエスポタニー《研》	103	鹿大南海研ルポ《研》	95
オーストロネシアの花卉文化史《研》	90	鹿大南海研ルポ 29《サ》	64
オセアニア関連資料《研》	112	鹿大南海研ルポ 85《サ》	65
オセアニア物語《収》	34	鹿大フィジー調査隊報告 1《サ》	57
オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ《研》	95	カタクリ	48
オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ 29	64	学会発表関連《研》	98
オセアニア物語: 鹿大南海研ルポ 85	65	学会発表用チャート類《研》	99
おそい山の香	39	学校放送《収》	51
思う《収》	53	ガーデン・フローラ《オ》	70
オリザ・ベレニス(野生種)	38	ガーデンライフ《収》	44
温泉と悪夢と	37	ガーデンライフ《収》	47
			⑥5
			⑥6
か 海外遠征資料(他団体のもの)《研》	118	カード、メモ類(1)《研》	99
海外学術調査ニュースレター《収》	62	カード、メモ類(2)《研》	99
海外農業研究会《研》	117	河南省洛陽漢墓出土のコメについて	36
海外の学術調査 1《収》	34	ガネシュ・ヒマールの神祕	36
回教圏の米料理バラオ	46	華北で味わう露店料理	46
カイコの話	38	禾本草原と穀類	47
解説(『アジア食文化の旅』大村次郎著)	34	神々の座に祈る	39
解説(『ニューギニア高地人』本多謙一著)	32	“噛み料”の文化	67
怪物探検	37	噛み料の文化《研》	92
会報(富山県小学校教育研究会)《収》	49	粥	47
概要・案内書類《オ》	82	カラコラム《参》	127
海洋探検《研》	102	カラコラム 1955《オ》	69
かかあ天下	37	カラコラム探検隊の食糧	36
科学朝日《収》	36	カラコラム(中尾佐助撮影写真13枚)	27
	49	カラコラムの印象 上	36
『科学朝日』『自然』連載関連《研》	91	カラコラムの印象 下	36
科学班の旅	36	カラコラムの氷河	36
花卉園芸の発達を中心に《サ》	55	カラコラム・ヒンズークシにおけるMaize, Millet報告《研》	88
花卉・庭園 1982《オ》	70	カラコラムの印象	36
花卉と庭木	47		

カラコルム、ヒンズークシ(1955)関係の通信文 《研》	117
からだの科学 《収》	41
樺太・満州(手書き) 《研》	114
カラマツ林の四季 《研》	104
河口慧海 《研》	94
河口慧海師の探検に思う 《サ》	43
河口慧海と堺：探検と町人精神	52
柑橘学と食用植物学の田中長三郎博士逝く	50
環境科学研究所報 13 《参》	122
関係の生態 《参》	131
刊行資料目録 《参》	125
韓国の食文化に関するもの 《参》	125
看護展望 《収》	②59
完全種の基本条件を考える：生きている生物の社会から出発した概念規定	61
“乾燥・半乾燥地帯の農業—その伝統と変容” コロキアム資料 《研》	102
カンツバキ	47
灌木 《研》	90
き	
消えゆく照葉樹林帯：中国・雲南省を旅して	61
消えゆくチベット人	38
季刊人類学 《収》	④45
	②46
	③50
	②52
	53
	③61
	63
	64
	65
危機	37
菊 《収》	31
技術と普及 《収》	49
	56
築かれるか“米と乳”の文化	53
記念写真集、色紙など 《研》	120
木原生研の思い出 《収》	61
木原均先生関係の通信文 《研》	119
木原均先生の憶いで：追悼	63
木原均先生への追憶	63
キビとアワの始まり	39
キブンの花	45
岐阜・長野・山梨(書込みあり) 《研》	115
キヤンプ	39
九州考古学 《収》	44
牛乳	48
牛乳と乳酸酸酵	48
牛乳は完全食品か	61

教育と情報 《収》	60
京山草 《参》	124
行商人 《研》	90
共食器の文化、個人食器の文化	59
羌族の女王に関する資料 《研》	105
京大アフリカ学術調査隊の記録 《研》	110
京大土山岳会関連(AACK)(1) 《参》	128
京大土山岳会関連(AACK)(2) 《参》	128
京大土山岳部関連 《参》	127
京大サハラ学術探検隊活動記録 《研》	111
京大探検部 《参》	127
京大・日本植物学会関連及び学術論文メモ 《研》	98
京都園芸 《収》	43
京都新聞 《収》	41
	60
	65
京都大学東南アジア研究センター所蔵アジア地域地図目録 《研》	115
京都・紫野	64
共立科学ブックス 35 《収》	31
儀礼専ら“稲作文化圏”	66
記録ノート 《オ》	75
近畿 《研》	115
近畿4府県の大麦麦種の分布：大麦採集報告 2	35
近畿作物・育種談話会報 《収》	44
	56
近畿地方の植物地理 《参》	122
近畿の農耕遺跡をさぐる 《研》	107
近代化する国	37
近代化に揺れる秘境：ブータン課題抱える歩み	56
<	
空白地帯を行く 《研》	89
草を育てる 《研》	107
葛資料 《研》	96
クズの植物学的分類について	66
クズの植物学的分類について 《研》	87
くだもの	47
果物でないスイカ	39
果物とナッツ	55
果物とナッツの文化 《収》	②59
熊本・大分 《研》	115
雲の中に住む人々(仮題) 《研》	110
暮らしと緑 上・下	60
グリーンパワー(森林文化) 《収》	62
黒アフリカの狩猟・採集・牧畜文化 《収》	56
黒アフリカの農耕と牧畜	56
黒アフリカの農耕文化 《収》	56
黒潮の恵み：マンゴローブとサキシマスオウ	65
クロスロード 《収》	57

タイトル索引

け	計画書《オ》	82	合理と心情	50
	経済往来《収》	44	国際協力《収》	54
		48		57
	芸能史研究《収》	47		64
	下剋上と地方の時代《サ》	55	国際農業情勢と日本	50
	ケシ・禁断の花《研》	107	国際文化《収》	39
	月刊NHKサラリーマンライフ《収》	62	穀物科学《収》	64
	月刊NIRA《収》	59	国立遺伝学研究所年報《参》	123
	月刊ウィークス《収》	64	国立民族学博物館シンポジウムの記録《収》	68
	月刊エコノミスト《収》	48	国立民族学博物館特別研究 日本民族文化の源流の比較研究シ	54
	月刊教育の森《収》	54	ンポジウム1 農耕文化《収》	
	月刊みんぱく《収》	55	穀類の品種群から見た東北アジアに於ける新しい一つの文化類	35
		62	型《サ》	
	欠乏段階の食、過剰段階の食	60	心のふるさと金沢をめざして《収》	45
	研究者からの通信、私的な報告等《研》	119	コショウ・世界を開いた果実《研》	107
	研究の歴史《研》	85	個人的な手紙《研》	120
	健康と体力《収》	55	古代技術の復権：技術から見た古代人の生活と知恵：森浩一対	33
	原始の姿をとどめるヤンバルの森	65	談集《収》	
	現代教養文庫 727《収》	25	古代史講座《収》	28
	現代文明ふたつの源流：照葉樹林文化・硬葉樹林文化	25	古代人にとって自然とは何であったか	45
	建築家《収》	55	個体と集団：生物の本性をさぐる	33
	建築雑誌《収》	53	古代は語る	61
	厳冬のモンゴル高原	66	古代は語る《研》	101
	元禄の美と粹：町人文化の勃興《収》	34	国境の村	39
			国境を越えて	38
こ	公開シンポジウム「ヒマラヤの生態系と環境」《収》	63	古典的探検《研》	102
	考花学	67	ことば	37
	黄河物語《収》	33	古郡フナカ	37
	黄河流域の風土・文化そして生活	33	子どもとオチュラル・ヒストリー	49
	黄河流域の風土・文化そして生活《研》	101	小鳥や魚と遊ぶ	54
	公研《収》	67	コーヒー	55
	高校通信東書日本史世界史《収》	59	ゴビとマンハ	35
	考古学資料《オ》	72	ゴビとマンハ《研》	105
	高山植物写真図譜《収》	30	コムギ研究論文《研》	93
	高山植物と私	51	コムギ粉とパンの生産《参》	126
	高山の草や木	37	小麦粉博物誌《収》	62
	高山の花	30	コムギとオムギ	48
	高山の花：高山植物写真図譜《収》	30	コムギとオムギ	64
	麴酒の系譜	59	コムギと粉食	39
	コウシンバラの野生種	61	小麦の食べ方	46
	香辛料さまざま	48	米、凶作なんてこわくない!?《研》	109
	講談社現代新書 139《収》	25	米、酒、すし：食生活	29
	高知《研》	115	米・食料問題関連《研》	94
	交配操作に関係したトウモロコシの若干の性質	43	米~その現在と未来《研》	106
	神戸新聞《収》	40	米って、本当にすばらしい作物	52
		42	米とイモの文化《収》	58
		45	コムと日本人	42
		61	コムと日本人《サ》	42
	硬葉樹林文化《サ》	25	米と野菜と魚の食事体系《サ》	63

米の味 《研》	108
	109
米の意外な効用 《研》	109
米の炊き方とかわれば… 《研》	108
米の食べ方	55
米の料理法さまざま：炊き方と炊飯器	60
米への考え方	50
コメント（「アフリカの米」竹沢尚一朗著）	61
コメント1（「エチオピアの栽培植物の呼称の分類とその史的考察：雑穀類をめぐって」福井勝義著）	45
コメント（「カビ発酵酒の起源：アッサムの酒」吉田集而著）	63
コメント1（「混合樹林考」今西錦司著）	61
コメント（「栽培植物の起源：コムギを中心として」田中正武著）	46
コメント（「シコクビエと早乙女：田畑の起源についての一仮説」佐々木高明著）	45
コメント1（「照葉樹林文化をめぐって1」）	62
コメント（「第6王朝ペビオンク第2王子墳墓出土の真空状に保存されたエジプト菓子」マックス・ヴェーレン著、舟田詠子訳）《研》	91
コメント（「第6王朝ペビオンク第2王子墳墓出土の真空状に保存されたエジプト菓子」舟田詠子訳）	53
コメント（「タイにおける「モチ稲栽培圏」の成立：栽培稲の変遷過程からの考察」渡部忠世著）	45
コメント1（「定住革命：新石器時代の人類史的意味」西田正規著）	61
コメント（「醱酵法の故郷」徳井賢著）	50
コメント（「東アジアの雑草燕麦：その民族植物学的考察」山口裕文著）	50
コメント1（「ヒト：植物関係の実相」）《研》	87
コメント1（「ヒト：植物関係の実相—エチオピア西南部オモ系農耕民アリのエンセーテ栽培と利用」重田眞義著）	64
コメント（「ヒマラヤ三圃制の発見とその試論的展開」上野登著）	52
転ばぬ先の杖	62
コンゴをつくった根栽文化	39
根栽農耕文化が地金	58
コンニャク談議	39
さ 最後の秘境ニッポン	30
最終講義記念祝賀会芳名録など 《研》	120
採集と飼育 《収》	53
	⑥54
	61
採種及び種子貯蔵	27
採種及び種子貯蔵 《研》	86
最新園芸大辞典 《収》	②29
栽培からの脱出雑草	52
栽培植物	61

栽培植物 《研》	101
栽培植物：豊富だった古代のメニュー	33
栽培植物と農耕の起源	25
	30
栽培植物と農耕の起源 《研》	84
	104
討論：栽培植物と農耕の起源	50
栽培植物の起源	32
栽培植物の起源：イネのはじまり	42
栽培植物の起源をたずねて	30
栽培植物の世界	25
栽培植物の年代	48
栽培植物の風土 《サ》	66
栽培植物の風土と歴史 《研》	87
	104
栽培植物の変異	48
栽培植物の未来	48
栽培植物のルーツを探る	66
栽培植物は気候風土というより、その国の文化が選択する	64
栽培 定植 《オ》	72
西芳寺苔庭縁起 《研》	108
再論：米穀一万年貯蔵のすすめ	56
魔王のモンスター 《サ》	66
堺ロータリー・クラブ 《収》	40
佐賀県梅坂遺跡出土古代米について	44
魚	47
作物起源伝承の系譜と伝播	33
作物と雑草	32
	35
作物のある風景	52
桜 《参》	124
酒と料理とのかかわりについて	60
酒・醱酵関連 《研》	91
ササニキとコシヒカリ	60
雑草	55
雑 1976-1977- 《オ》	70
雑穀	55
雑穀とマメの文化 《収》	58
雑穀の世界	47
雑穀の特性と農耕文化	33
雑草 《オ》	72
雑草と栽培植物	47
雑草と人間文化	54
雑草の文化史	52
雑草のような穀物	39
雑草メロン 《研》	93
サトイモ	55
サトイモ 《オ》	70
サトイモ 《研》	95

# タイトル索引

サトイモ 1978 《オ》	7 1	自然と生態学者の目 《収》	3 1
サトウキビ	3 9	自然と人間	3 1
	5 5	自然と人	3 0
ザンナ：無数の帝国が興亡	4 5		3 4
ザンナ農耕文化 《サ》	5 4	自然と文化 《収》	3 5
さようなら	3 7	自然と文明の調和を求めて：自然環境保全と都市開発	4 5
ザライ 《収》	6 8	自然と野生ラン 《参》	1 2 2
山岳 《収》	3 6	自然の文化誌、栽培植物篇	4 7
	4 0		4 8
産業経済新聞 《収》	3 8	自然風土と食べ物の系譜	5 6
	3 9	自然への開眼：人間形成の原点に	4 5
サンケイ新聞 《収》	5 2	自然への復帰：つねに人跡未踏の地を求めて	4 2
	②5 7	自然保護と農業	4 8
	②6 1	思想の冒険	6 1
	6 2	七人の王様	3 7
産経新聞 《収》	6 6	シツキム・アツサム 1959 《オ》	6 9
参考文献 《研》	1 1 2		7 3
サンデー毎日 《収》	4 1		7 6
	4 2	シツキム・アツサム探検紀行 《サ》	3 8
	4 4	シツキム・アツサム調査（1959）関係の通信文 《研》	1 1 8
山東、山西、東北 《収》	5 8	シツキム・アツサム調査記 《サ》	3 8
山陽新聞 《収》	4 2	シツキム・ヒマラヤの思い出	4 3
山梨会誌 《参》	1 2 7	自動販売機	4 8
三和家庭グラフ 《収》	3 9	茶	4 7
		シトギ考	4 6
し 瀬干帯の生物いろいろ 《研》	1 0 8	支那の作物 《研》	9 9
紫外線によるトウモロコシ胚乳遺伝子の突然変異について	4 4	信濃路 《収》	4 7
資源植物の進化・遺伝と生化学 《収》	5 3	土・農・工・商	3 7
嗜好 《参》	1 2 6	死の谷ブナカ	3 2
嗜好 《収》	6 0	市民科学講演会 《収》	5 2
思考のルールをつくる 《サ》	2 6	ジャガイモ・根菜料理100選 《収》	6 0
	6 7	シャクナゲのリスト 《研》	9 8
四国新聞 《収》	6 5	社寺林に残るその面影：奈良・春日山	6 5
自己体験からみた花と緑の文化	3 4	写真 《オ》	7 4
地酒	3 7	写真・絵はがき 《参》	1 3 3
	3 9	写真ネガ 《オ》	7 9
自然 《収》	4 7	写真パネル 《オ》	7 8
	4 8	写真・表・大麦 《研》	1 0 5
	4 9	上海、湖南、湖北 《収》	5 8
	②5 0	週刊朝日 《収》	5 5
	5 1		6 0
	②5 4	週刊朝日百科 世界の植物 《収》	②5 1
	6 0		②5 2
自然：生態学的研究 《収》	2 9		5 3
自然学研究 《参》	1 2 4	週刊朝日百科 世界の食べもの アフリカ 《収》	②5 6
自然環境保全と都市開発 《サ》	4 5	週刊朝日百科 世界の食べもの インド亜大陸 《収》	②5 6
史前帰化植物	4 5	週刊朝日百科 世界の食べもの 郷土の料理 《収》	5 8
自然児たちの生活	3 7	週刊朝日百科 世界の食べもの 索引 《収》	5 9
自然選書 《収》	2 5	週刊朝日百科 世界の食べもの 中国 《収》	②5 8



週刊朝日百科 世界の食べもの テーマ編 《収》	⑦58	照葉樹林のおもかげ 2	50
	⑧59	照葉樹林の文化	39
週刊朝日百科 世界の食べもの 東南アジア 《収》	58	照葉樹林文化	40
週刊朝日百科 世界の食べもの 日本編 《収》	58		61
週刊朝日百科 世界の食べもの ヒマラヤ 《収》	56	照葉樹林文化 《サ》	54
週刊朝日百科 世界の食べもの フランス 《収》	55	照葉樹林文化 《研》	②101
週刊朝日百科 日本の歴史 《収》	②63	統照葉樹林文化 《研》	95
	66	照葉樹林文化：日本文化の深層	25
週刊誌の料理店紹介	60	統・照葉樹林文化：東アジア文化の源流	25
週刊読書人 《収》	65	照葉樹林文化関連等メモ類 《研》	104
秋日、テイスニランドをゆく	59	照葉樹林文化・硬葉樹林文化 《サ》	25
集団遺伝学	35	照葉樹林文化小論	44
集団遺伝学 《収》	27	照葉樹林文化帯	57
授業ノート、各種メモ、フィールドノート 《研》	103		66
種子食用から種なし果物へ 《サ》	46	照葉樹林文化と稲作文化：植物栽培からみた東アジア文化論	30
種子貯蔵と発芽に関する通信と記録 《研》	118	照葉樹林文化と鹿児島	57
受賞式に孤独の出席	38	照葉樹林文化とその周辺 《サ》	25
主食・常食お国ぶり 《研》	109	照葉樹林文化とナラ林文化	56
主食としての果実	47	照葉樹林文化と日本	26
主食と副食：南北問題の一断面	47		50
種生物学研究 1 《参》	124	照葉樹林文化と日本 《研》	104
出発	36	照葉樹林文化と日本 (1) 《研》	85
出版関係の通信文 《研》	119	照葉樹林文化と日本 (2) 《研》	85
趣味とあなたと野の草 《研》	108	照葉樹林文化との関連 《サ》	61
樹木とその生えてある場所 《研》	90	照葉樹林文化との接点 《サ》	54
樹木の博物誌	56	照葉樹林文化の位相 《サ》	45
純日本産のヤサイ!	39	照葉樹林文化の建築	53
純日本産のヤサイ?	39	照葉樹林文化の建築 《研》	87
小学校学級担任 《収》	61	照葉樹林文化の森林観	55
小興安嶺湯旺河紀行	35	照葉樹林文化の展開 《サ》	26
小興安嶺の旅 《研》	87	照葉樹林文化論 《サ》	49
松竹梅、ほろ酔い百科 《収》	43	照葉樹林を認識するまで 《サ》	54
少年画報 《収》	38	小葉片の無菌培養によるペゴニアの再生	45
少年時代の花作り	61	蒸留酒のインド起源説	59
少年写真ニュース 《収》	36	常緑樹の落葉	48
縄文的自然から弥生的自然へ：照葉樹林文化論	49	昭和49年度理科研修会研究集録 《収》	30
縄文日本と外国 《サ》	62	昭和55年度大阪府立大学府民講座テキスト 《収》	31
縄文農耕の実証性 《研》	101	序(『オセアニア海域における水陸総合学術調査(NAV.'81)!』)	32
縄文農耕論へのアプローチ 《収》	33	職員時報 《収》	52
縄文の畑作農耕とその検証の可能性をめくって	33	食事の文化 《収》	31
縄文弥生文化 《収》	34	食事文化、果物、野菜 《収》	58
照葉樹林	49	食生活 《サ》	29
照葉樹林：東アジア文化の源	45	食生活研究 《収》	②60
照葉樹林圏と重なって 《サ》	63	“食生活”をさぐる：われら第三の地球家族	54
照葉樹林用語が農耕文化と共にタルミにもバブアにも広がった	55	食卓をめくって：肉の食文化を語る	62
照葉樹林との出会い	62	食と微生物 《収》	62
照葉樹林と私	64	食の科学 《収》	53
照葉樹林のおもかげ	32	食の写真館 1-36 《研》	91
照葉樹林のおもかげ 1	50	食の周辺文化論：地域で異なる“包丁とまな板の文化”	61

タイトル索引

食の展望	63	食器と素材	59
食の文化《収》	31	序にかえて(『山岳 森林 生態学』加藤泰安, 中尾佐助, 梅 神忠夫編)	30
食の文化シンポジウム'80《研》	100	書評(『雲南の照葉樹のもとで』佐々木高明編著)	62
食の文化シンポジウム'80 人間・たべもの・文化《収》	32	書評(『お茶の文化誌: その民族学的研究』周達生著)	64
食の文化フォーラム: 食と微生物《収》	62	書評(『北の稲』柳卯平著)	41
食のワークショップ/2001年の調理学《研》	101	書評(『原始文化ノート』古野清人著)	42
食のワークショップ/2001年の調理学: “プリセッション” 記 録《収》	33	書評(『栽培植物発祥地の研究』N. ヴァヴィロフ著 中村英 司訳)	54
食パン	48	書評(『作物のなかの歴史』堀谷格著)	51
植苗紙耕作《参》	121	書評(『雑穀のきた道: ユーラシア民族植物誌から』阪本寧男 著)	65
植物《才》	72	書評(『砂漠』スターカー・レオボルト著 奈須紀幸訳)	44
植物《研》	99	書評(『集団遺伝学概論』木村資生著)	39
植物遺伝学より見た秘境プータン	38	書評(『食卓の文化誌』石毛直道著)	51
植物園《才》	72	書評(『植物と文明』H.G. Baker 著 阪本寧男, 福田一朗訳)	50
	83	書評(『植物と文明』ハーバート・G. ベイカー著 阪本寧男, 福田一朗訳)	49
植物関連の図: 素案等《研》	104	書評(『植物文化史』北村四郎著)	65
植物個体群の変異について	27	書評(『森林・草原・水河』加藤泰安著)	42
植物個体群の変異について《研》	87	書評(『杉のきた道: 日本人の暮らしを支えて』遠山富太郎著)	50
	97	書評(『中国食物誌』篠田統著)	48
植物栽培からみた東アジア文化論《才》	30	書評(『日本登山史』山崎安治著)	43
植物栽培のはじまり	51	書評(『ニューギニア中央高地: 京都市西イリアン学術探検 隊報告1963-1964』京都大学生物誌研究会編)	52
植物帯のきずな	39	書評(『ネパール・ヒマラヤ探検記録』川喜田二郎文, 日高信 六郎編)	42
植物と文化	55	書評(『農業文化の起源』エミール・ヴェルト著 森内芳彦, 飯沼二郎訳)	45
植物と文化《研》	104	書評(『ブナ帯文化』市川健夫, 梅原猛ほか著)	62
植物と文化 1981《才》	71	書評(『プラント・ハンター物語: 植物を世界に求めて』T. ホイットル著 白幡洋三郎, 白幡節子訳)	60
植物に関する文献《参》	122	書評(『ベルシアの農村』大野盛雄著)	45
植物の高度分布《研》	97	書評(『モンゴル: 遊牧民と人民委員』オーエン・ラティモア 著 磯野富士子訳)	42
植物の採集と栽培植物	54	書評(『焼畑のむら』福井勝義著)	48
植物の種類 (Hordeum vulgare L.S.l.) 《参》	121	序(『雲龍の花園』森和男著)	64
植物の至聖時代	63	飼料作物	47
植物防疫法による輸入禁止植物及び輸入禁止地域《参》	123		55
植物油の文明史	32	資料写真の撮り方	36
植物を楽しむ《研》	108	史話日本の歴史 1 《収》	34
食文化 1	59	史話日本の歴史 18 《収》	34
食文化 2	59	進化が眼前に	37
食文化から世界を考える	59	新花卉《収》	42
食物と社会	31		50
	46		56
食物文化史: 料理の起源について	31		61
食用油	47	新教育懇和会叢書《収》	40
食用植物のエスノボタニー《研》	98	新・くらしの本《収》	64
食用植物文献《参》	125		
食糧管理月報《収》	50		
食糧危機をもたらす集団農法	46		
食糧問題《参》	126		
食糧を求めて: 栽培植物の風土	66		
諸君《収》	46		
女性手帳《研》	107		
食器と食卓の文化《収》	②59		

66	信州《ウ》	29	生態学的研究《収》
31	人生基本、たへもの《収》	45	生態学における日本：関東樹林文化の伝相
54	新入道の農耕文化《ウ》	49	生態学から観照する人間：SF小説の世界には、人間の未来のか
40	神秘的文化的秘境をたずねて	49	りかたにたいする、無意識の願望が反映されている
53	神祕の王国：フーテンに「日本のふるさと」を見たと妻11年	49	生態系の保護
	の記録《収》	73	生態写真集 1935-1937 《オ》
41	人文学報《収》	73	西畑小翠安魂、999 《オ》
35	人文地理《収》	39	生物科学《収》
31	新編現代国語 2《収》	50	生物科学ニユース《収》
57	シブシブ文壇文壇の美証性《収》	29	生物学
32	シブシブ「茶」の文化：報告と討論の記録《収》	64	生物学における基礎研究
29	シブシブ「日本と東洋文化」《収》	127	生物誌研究会《参》
63	シブシブ「コム・スタイル」《収》	113	生物誌研究会 (F) 関連《研》
65	森林限界の樹林：日本アルプス	100	生物資源の活用《研》
33	森林のすすめ《収》	53	生物資源の活用：貴重植物の進化・適応と生物学《収》
110	人類進化の謎をさぐる：京大フロンティア学術調査隊の記録	88	生物の変異集団《研》
29	人類生活とイネ	105	生物の変異集団
56	人類は毒をうすめて食べた	35	生物の変異集団と環境《収》
44	人類文化史研究の立場からの栽培植物採集	36	生物の本性をさぐる《ウ》
89	人類文化史研究の立場からの栽培植物採集《研》	64	精密工学誌《収》
46	西瓜の歴史：種子食用から種なし果物へ	124	生理遺伝《参》
39	水産地の雑談	62	正義《収》
66	植書文『有用植物事典』(平凡社 1989)の帯	42	世界《収》
61	附録	45	
33	水田化をめぐる諸問題	60	世界各地で土地利用
106	水田の思想《研》	27	世界大百科事典《収》
75	水稲系統白飯《オ》	102	世界探検協会《研》
117	桂田新先生感念記念行事関連《研》	30	世界地理《収》
41	くだらなくとも	95	世界地理風俗大系《研》
29	スーパースの農耕文化とコム・スタイル	28	世界地理風俗体系 Vol.11《収》
37	可ばらしい食事	29	
39	よくての文化は、バチから	47	世界的にみたローランドロフの分布
35	スホーリツ毎日《収》	66	世界にひろく花文化
37	任まじい	57	世界の船をめぐって：その歴史、文化的背景と望まれる国際協
68	生活技術の人類学：国立民族学博物館シブシブの記録	31	世界の千才
	《収》	104	世界の千才《研》
37	生活のリアルム	109	世界の原始をたずねて《研》
41	生活文化研究《収》	59	世界の酒《収》
35	生研時報《収》	31	世界の食文化《収》
107	成功の日香リコー七一《研》	122	世界の生態気候区分図《参》
41	青少年大版《収》	59	世界の白羽と調理器具
53	書と万葉の植物	55	世界の旅《収》
94	書と万葉の植物《研》	28	世界の旅 Vol.2《収》
47	生態学講座《収》	37	世界の秘境フーテンをゆく

《オ》 サブタイトル 《収》 収載資料 《オ》 オリジナル資料 《研》 研究用資料 《参》 参照資料 ②等：同頁に引かれる同タイトルの文献・資料数

タイトル索引

世界の民族：ゼミナール《収》	31	大日本百科事典《収》	29
世界文化地理体系 8《収》	⑥28	タイの納豆 アチーアカ族《研》	110
世界冒険シリーズ《収》	29	大名行列とともに	37
石炭古葉群発掘報告(1956)《参》	132	太陽《収》	40
石炭古葉群発掘報告図版集成(1959)《参》	132		60
石器時代からのクズ	39		67
絶景でなくても	49	大陸の花の憶い出	35
石ケンの代用品	39	体力不要時代《研》	106
繊維作物の食味	48	対論 3《収》	25
洗濯用の植物	48	台湾農耕の資料《参》	122
遷都	37	ダーウィン、今西錦司と並ぶ	31
先農耕段階とその類型《研》	94	タカコンのことなど《サ》	37
先農耕段階とその類型：農耕起源論と関連して	33	タカラブネインフォメーション《収》	53
			55
そ 草月《収》	63	炊き方と炊飯器《サ》	60
草原《研》	90	竹ガサ文化	39
草原：戦争と略奪の過去	45	竹と建築：空間演出のバイ・プレイヤー《収》	63
総合的地域研究《参》	132	竹と風土《研》	107
総合討論	57	竹と文化：照葉樹林圏と重なって	63
創造的市民《収》	61	多彩な栽培植物を開発：新大陸の農耕文化	54
創造の世界《収》	②55	ダーズリン・ボタニカル・ガーデン	51
瀟湘への心がまえ	42	タバコ・紫煙の光影《研》	107
鮮苔地衣雑報《収》	②41	旅《収》	⑥46
そば《収》	37	旅の終わりに	39
ソバの味	39	食べ物としての果物とナッツ	59
ソビエト 1978《オ》	69	食べ物と料理：民族の基層文化	53
	71	食べ物に見る共通の土壌	45
		食べ物 の 価格	61
		たべる	48
た 第11回近畿地区遺伝研究発表会《収》	44	たべる《研》	106
第1回花の万博国際シンポジウム・花とひと：花と木の文化史	34	食べる食物史	39
《収》		食べるということ	31
第1回洛北セミナー開かる	51	タマリンドの木陰	39
第26回秩父宮記念学術賞表彰式資料《研》	117	タルハン・オーラ	35
第29回都市銀行研修会講義集《収》	30	タロイモ開発研究調査案《研》	96
第2回建設委員会(展示テーマ部会第2回)審議記録《収》	44	タロイモとズイキ	39
第3回アッサム地域の民族誌研究会《研》	101	タロイモの起源と文化	56
第65回大学共同セミナー関西地区大学セミナーハウス《収》	63	タロイモは未来の重要な作物となるか	53
耐塩性イネ品種の育種	46	談《収》	56
大学生時代のノート、レポート《研》	120	探検《参》	127
大学たより《収》	48	探検《収》	36
	49		43
大学の紀要	49	探検雑話	43
大家番の伝播とブタの家畜化	33	探検雑話《研》	88
大サハラ《収》	29	探検する学者 7	39
体質は湖南型、言語はチベット・ビルマ語系、文化は照葉樹林	51	探検組織論	30
文化。これが日本人の原点だ《サ》		探検隊の組立て《研》	102
大雪山《サ》	66	探検・展示会写真《オ》	72
台所と調理器具の文化《収》	59	探検と推理《研》	106
台所に見るインドの食文化	56		

探検と町人精神 《サ》	5.2
探検と冒険	6.3
探検と冒険 《収》	⑥3.0
探検と私 《研》	1.0.8
探検と私：照葉樹林を認識するまで	5.4
探検の実例 《研》	1.0.2
探検の種類 《研》	1.0.2
探検の精神 《研》	1.0.2
探検の装備 《研》	1.0.2
探検歴：メモ 《研》	1.0.3
探検を助けた人 《研》	1.0.2
探検をはばむ政治	4.1
淡交 《収》	3.9
	4.8
男女のスタイル	3.7
湯旺河紀行 《研》	9.0
湯旺河登山ルート（手書き） 《研》	1.1.4
ち 地域で異なる“包子とまな板の文化” 《サ》	6.1
地球文明論	6.6
地上 《収》	5.0
地図、京阪神 《オ》	8.2
地図、東垂各地 《オ》	8.2
地図、東垂百万分の一 《オ》	8.2
地図、ヒマラヤ 《オ》	8.2
地中海 1977 《オ》	6.9
	7.1
地中海農耕文化 《サ》	5.4
知の考古学 《収》	4.9
	5.1
地平線 《参》	1.3.2
チベット国境へ	3.6
チベット人の知恵	3.9
チベットのチユルビー	4.6
茶の起源研究 《参》	1.2.6
茶のはじまり	4.8
茶は未代養生の仙薬なり	3.9
中央アジア 《収》	⑤2.8
中央アジアとヒマラヤの栽培植物	2.8
中央アジアの植物界	2.8
中央アジアの探検 《研》	1.0.2
中央アジアの動物	2.8
中央公論 《収》	6.3
中公新書 201 《収》	2.5
中公新書 438 《収》	2.5
中公新書 752 《収》	2.6
中国 《研》	1.1.4
中国 1977 《オ》	6.9
	7.1

中国雲南省少数民族の歌と踊り 《参》	1.3.2
中国・雲南省を旅して 《サ》	6.1
中国周辺山岳地帯の農耕文化類型について：苜蓿とそのなかまの穀物	3.5
中国資料 《参》	1.3.1
中国新聞 《収》	6.5
中国（チベット）の麦：大麦・エンバクに関する調査 《研》	9.7
中国展にみる農業と手工芸 上	4.7
中国に関する手書き原稿 《研》	9.0
中国の古典 《収》	5.8
中国の米と粒食	5.8
中国の少数民族を語る：梅棹忠夫対談集 《収》	3.3
中国の風土と歴史を語る 8	5.8
中国の粉食	5.8
中東 《研》	1.1.4
チューラと焼米 《研》	1.0.4
調査情報 《収》	5.6
	5.9
長日条件で起こる酵母子の発芽および原米体生長	4.1
長寿多壽 《収》	5.3
朝鮮学報 《参》	1.3.2
朝鮮嶺南山脈1940 《研》	1.1.5
町人文化の勃興 《収》	3.4
調理と調理の場 《サ》	5.9
調理とは何か	3.3
	3.4
調理とは何か 《研》	1.0.1
香書、資料等の寄贈文 《研》	1.1.8
チヨモリ山群 《研》	8.4
チヨモリへの道	3.6
血をとる日本人	3.8
つ 対馬 1951 《オ》	7.6
対馬（書込みあり） 《研》	1.1.5
対馬へ大麦の採取旅行に	3.8
土穴貯蔵へのコメント	6.8
ツツジ	5.1
椿 《参》	1.2.4
ツバキとサクラ	4.8
つばきの変異 《研》	8.7
椿山焼畑調査計画書 《研》	1.1.7
妻どい	3.7
ツルムラサキ資料 《参》	1.2.5
て 庭園 《オ》	7.2
手紙類（『分類の発想』関係） 《研》	9.2
<敵対的な自然>それがほんものだ	4.4
テス・ラさんの恋	3.7
手で皮のむける果物	6.0

タイトル索引

テルテル坊主	39
田園都市構想と森林《収》	31
田園都市には小植物園を数多くつくれ	31
伝統的食事文化の系譜をめぐって	33
伝統と現代《収》	45
天平の生活白書《収》	②32
天平のメニュー	32
テンボン関連《研》	93
展覧会写真 (O.F.H.E. 1962) 《オ》	74
展覧会目録《オ》	82
と 東京新聞《収》	39
	②40
東京タイムズ《収》	42
東西花卉の発達	47
東・西食文化の接点ヒマラヤ	60
東西の花の文化	55
同時代ライブラリー 150《収》	26
東書中学技術・家庭 71《収》	60
動的分類系による大麦分類の試案《研》	86
東南アジア：米と野菜と魚の食事体系	63
東南アジア 1976-1977《オ》	69
東南アジア 1976-1977, 1978《オ》	71
東南アジア 1978《オ》	69
東南アジア・オセアニアの農耕文化論	54
東南アジア及びオセアニアの農村における果樹を中心とした植 物利用の生態学的研究《収》	32
東南アジア農耕文化試論	31
東南アジア農耕文化試論《研》	89
東南アジアの花卉文化	64
東南アジアの農村における果樹を中心とした植物利用の生態学 的研究《収》	31
東南アジアの花	64
東南アジアの花と木の文化《研》	103
東南アジアの野菜	58
東南アジアの野生サトイモについて	56
東南アジア, 東アフリカ(複写)《オ》	70
東南アジア文化《研》	102
東南アジア文化の基底部	44
東南アジア文化の基底部《研》	102
東部小興安嶺 1943《オ》	73
どうぶつと動物園《収》	62
東部ネパール学術調査隊：ヌブチュー登攀《研》	118
東北ネパール《研》	114
東北ネパール1962年：ヌブチューの登頂その他	40
東北ネパールの自然と民族	40
東洋史研究《収》	36
東洋の食生活《研》	106
毒イモ	55

徳岡・ヒマラヤ・日本人《オ》	71
徳島新聞《収》	42
どこへ行く日本人の嗜好	46
登山と日本人《研》	106
都市の遠近：大阪・兵庫・奈良・京都《収》	67
図書《収》	②64
図書紹介 (『The Flora of Eastern Himalaya』 H. Hara)	43
図書推薦文 (『ヒマラヤ紀行』 J.D. フーカー著 業師義美訳)	53
土地利用の発展《研》	90
富山県北日本種苗統制株式会社の通信文《研》	118
どるめん《収》	②51
ドロボーの植物学：民族植物学の体系	64
ドングリと鳥	50
な 内発文化の知的創造性に関するアジア・シンポジウム《研》	102
内蒙草原類型研究《オ》	75
中尾型学問領域の発想《研》	103
中尾佐助宛送付資料《研》	117
中尾佐助育種学・栽培植物学者	68
中尾佐助教授退職記念号目録集：略歴・海外探検調査歴・著作 目録	58
中尾佐助自著文献カード目録《研》	96
中尾佐助、〈花と木〉の本を語る	64
中尾助教授の探検記《サ》	36
	37
なぜ「イネの起源」をさぐるか	38
謎の国ブータン探検	38
ナットウとミノの来た道	57
ナットウ分布の大三角形	44
菜の花	48
生麩・ゆば《研》	110
奈良・春日山《サ》	65
ナルコテイクス	47
南海研紀要《収》	57
南海研センター活動関連《研》	99
南海研だより《夢》	133
南海研だより《収》	②57
『南海研だより』と改名するにあたって	57
南海の自然と人：歴大フィジック調査隊報告 1	57
南総研紀要《収》	55
南総研だより《収》	②54
	57
南総研だより発刊にあたり	54
『南方海域研究センター』の発足にあたって	57
南方海域と鹿児島	57
南方地域総合研究センターの紀要の発刊にあたって	55
南北問題の一断面《サ》	47
南洋《研》	114
南洋植物目録ノート(ボナベ島)《研》	98

に	新潟清酒研究会設立十周年記念誌：10年のあゆみ 《収》	6 0	日本製の化繊	3 9
	新潟日報 《収》	4 2	日本雑煮地図 《研》	1 0 7
	肉食の文化 《収》	5 8	日本、チベット共通裸麦に就いて 《研》	8 6
	肉と魚とスシと 《研》	1 0 7	日本中部山岳：1935-1937 《オ》	7 3
	肉と魚の料理	3 1	日本つつじ協会報 《収》	3 7
	肉の食文化を語る 《サ》	6 2	日本つつじシャクナゲ協会会報等 《参》	1 2 1
	西アフリカ探検資料 《研》	1 1 1	日本誌書新聞 《収》	②4 2
	西アフリカのコーラ文化	5 6	日本とチベットの大麦	3 5
	ニジェールからナイルへ 《サ》	2 6	日本ネパール協会会報 1 《参》	1 2 9
	ニジェールからナイルへ 《研》	8 4	日本ネパール協会会報 2 《参》	1 2 9
	ニジェールからナイルへ：農業起源の旅	2 5	日本ネパール協会会報 3 《参》	1 2 9
	ニジェール河のほとり：サバナ農耕文化	5 4	日本ネパール協会会報 4 《参》	1 2 9
	西岡京治氏関連 《参》	1 3 0	日本ネパール協会会報 5 《参》	1 2 9
	二次作物とは？	3 9	日本ネパール協会関連 《参》	1 3 0
	二十三年目のブータン	5 7	日本ネパール文化協会会報等 《参》	1 3 0
	西脇君をいたむ	4 0	日本ネパール文化協会主催“講演とネパール映画”関係	1 1 9
	ニゼル川の雑穀文化	3 9	《研》	
	二〇〇一年の調理学 《収》	3 4	日本の市場 《収》	6 2
	日中関係の2000年 《研》	1 0 6	日本農業新聞 《収》	6 6
	日中合同学術登山隊京大グループ雲南省・最後の秘境に挑む	6 6	日本農耕文化源流論の展望と課題	3 3
	《サ》		日本農耕文化の起源 《研》	1 0 7
	日中食文化比較考	6 0	日本農耕文化の源流：日本文化の原像を求めて 《収》	3 3
	日本アルプス 《サ》	6 5	日本の第1次ブータン	4 3
	日本育種学会第22回大会(1962)関連 《研》	9 8	日本の原生林：水越武写真集	6 7
	日本育種学会第27回講演会講演要旨・昭和40年4月6～7日	4 1	日本の源流を探る：縄文弥生文化 《収》	3 4
	《収》		日本の高山植物は亜高山帯にある	3 1
	日本育種学会第6回シンポジウム 《研》	1 0 0		4 7
	日本エッセイスト・クラブ会報 《収》	3 8	日本の高山植物は亜高山帯にある 《研》	8 7
	日本海の重い雪：魔王のモンスター	6 6	日本の雑草燕麦の起源に関する研究	4 9
	日本花卉園芸協会会報 《収》	3 5	日本の食生活全集 《収》	6 5
	日本経済新聞 《収》	3 9	日本の森林文化	3 3
		5 8	日本の森林文化 《研》	1 0 4
		6 0	日本の探検 《研》	1 0 2
		6 7	日本の探検家 《研》	1 0 2
	日本雑穀文化論：料理に絶対的権威はない	4 3	日本の茶・将来と伝播	3 2
	日本山岳会会報 《参》	1 2 7	日本の美学 《収》	6 1
	日本山岳会会報『山』 《参》	1 2 7	日本の掘り棒 《参》	1 2 2
	日本山岳会関西支部報 《参》	1 2 7	日本の民俗(族)文化 《参》	1 3 1
	日本山岳会関西支部報 《収》	4 1	日本の野菜と果物	5 8
	日本山岳関係の通信文 《研》	1 1 9	日本ハム『ロータリー』への執業の為の資料 《研》	9 4
	日本醸造協会雑誌 《収》	6 1	日本文化の系譜 《研》	9 5
	日本食と魚 《参》	1 2 6	日本文化の系譜：照葉樹林文化とその周辺	2 5
	日本人の起源はヒマラヤか	4 0	日本文化の原像を求めて 《収》	3 3
	日本人の来た道	5 1	日本文化の源流を探る：照葉樹林文化との接点	5 4
	日本人の来た道：体質は湖南型、言語はチベット-ヒルマ語系	5 1	日本文化の深層 《サ》	2 5
	、文化は照葉樹林文化。これが日本人の原点だ		日本文化の母として：照葉樹林文化	5 4
	日本人の記録による大ヒマラヤ展パンフレット 《収》	3 8	日本文化の室町形成：花卉園芸の発達を中心に	5 5
	日本人の探検 《研》	9 0	日本民族文化の源流の比較研究シンポジウム 《研》	②1 0 0
	日本人の味覚を採点する	4 2	日本綿業倶楽部 《収》	5 1

# タイトル索引

これからの10年：食と健康 《収》	3 2
乳	4 7
乳食文化の系譜	3 4
乳食文化の原像：その原点と展開の諸相を探る	②6 7
乳製品	4 7
乳製品関連 (1) 《研》	9 3
乳製品関連 (2) 《研》	9 3
乳の加工	5 3
乳文化と日本人	4 9
乳利用の民族誌 《収》	3 4
乳利用の歴史	5 2
ニューギニア高地人	6 7
ニュースの辺境	3 7
ニューフレーバー 《参》	1 2 5
ニューフレーバー 《収》	6 5
庭へ来る鳥	4 8
人間とゴリラ	4 6
人間と自然生態系	6 3
人間と農業	4 8
人間と薬用植物の歴史	6 5
人間の栄養と小麦 《参》	1 2 5
人間の住居をながめて	5 5
人間は肉食獣	6 1
人間は肉食動物である	6 7
ぬ 抜き刷り文献カード 《参》	1 3 2
ヌブチュー登頂記	4 0
ヌブチュー登頂記 《研》	8 9
ヌブチュー登攀 《研》	1 1 8
ヌブチューの登頂その他 《付》	4 0
ね 熱帯アフリカにおける植物利用に関するデータ作成の手引き	1 2 2
《参》	
ネパール	②2 8
ネパール 1952 《オ》	7 3
ネパール 1952-1953 《オ》	7 3
ネパール 1953 《オ》	7 3
ネパール 1962 《オ》	6 9
ネパール産の新生型大麦について	3 8
ネパール産のミツマタ 《研》	1 0 0
ネパール産野生大麦の研究 《研》	8 6
ネパールの紙と原料を訪ねて 《参》	1 3 0
ネパールの手漉紙 《参》	1 3 0
ネパール (山関係) 《研》	1 1 4
ネール首相の道	3 7
年代別スクラップブック 1954-1990、1990- 《オ》	7 1
の 農学研究 《参》	1 2 3
農学講座 《収》	2 7
農家への招待	3 7
農業起源の旅 《サ》	2 5
農業起源論	2 9
農業起源論 《研》	8 9
	1 0 4
農業起源をたずねる旅：ニジェールからナイルへ	2 6
農業時代の食べもの	5 5
農業にみる日本文化の起源	5 2
農耕起源論と関連して 《サ》	3 3
農耕と生活 《研》	1 0 7
農耕の起源と食生活	5 1
農耕の食	3 2
農耕の食 《研》	1 0 0
農耕文化史から見た東南アジア	5 7
農耕文化と共に 《収》	3 2
農耕文化の起源 《研》	1 0 6
農耕文化の源流を訪ねて	3 2
	5 0
農耕文化の伝来 《研》	1 0 8
農耕文化の要素とアレライゼーション	4 1
農耕文化の要素とアレライゼーション 《研》	8 6
農耕や栽培植物の起源関連資料 《研》	9 3
農夫たち	3 7
農林水産図書資料月報 《収》	6 4
野の草：人知れず咲きかおる季節のめぐみ 《収》	3 2
のみち 《参》	1 2 4
のれん 《収》	4 1
のんびりした囚人	3 7
は 倍数性 《参》	1 2 4
胚タンパクの電気泳動像に基づくトウモロコシの数種系統の比較	4 4
ばいぶ 《収》	5 7
博格達 《参》	1 2 7
白山 (書込みあり) 《研》	1 1 5
白山植生 《参》	1 2 1
八郡の統治者	3 7
パスポート類 《研》	1 2 0
畑作シンポジウム 1985 《オ》	8 1
畑作文化の誕生：縄文農耕論へのアプローチ 《収》	3 3
バター・チーズを作る 《研》	1 0 7
畑地農業 《収》	②5 0
	5 3
バターとチーズ	3 7
八丈島 1982 《オ》	7 0
バッキングリスト (ヒマラヤ) 《オ》	8 2
餅餅と食の文化 《収》	6 3
ハトムギとモチ	3 9
花 《収》	5 1



花と木の文化史	26	東アジアの酒の源流を求めて	62
	65	東アジアの酒文化	53
花と木の文化史《研》	85	東アジアの酒文化《研》	92
花と木の文化史関連《研》	92	東アジアの食事文化	59
花と木の文化史講演《研》	102	東アジアの農耕とムギ	33
「花と木の文化史」特別講演	34	東アジアの農耕文化《研》	92
花と小鳥と星	61	東アジアの農耕文化の種類と縄文農耕	57
花と庭木《オ》	71	東アジアの農耕文化複合《研》	100
花と緑《収》	65	東アジアのむぎ農耕論	54
花と民族文化	66	東アジア文化の源流《サ》	25
バナナ	55	東アジア文化は照葉樹林帯から	50
花の王しやくなげ	39	東の米、西の米	64
花の美は人の心の中にある	65	ヒガールと自動育種	48
花の文化史	61	秘境ブータン	②25
花の文化史関連《研》	91		28
花博関係《参》	121		29
花文化の流れ	66	秘境ブータン《研》	③84
花文化も西洋化	67	秘境ブータン：中尾助教授の探検記	36
花を鑑賞する文化《サ》	63		37
バブア・ソロモン 1980《オ》	70	人：仕事	58
バブア・ニューギニア関係《参》	132	人知れず咲きかおる季節のめぐみ《収》	32
バブア・ニューギニア・ソロモン 1980《オ》	76	人と国土《収》	50
バブア・ニューギニアにおける半栽培植物群について	32	人と花の世界史	57
バブアニューギニアの土器について《研》	94	人はなぜ小麦を選んだか？	62
はみだし生物学《収》	31	人はなぜ旅をするか	49
ばら《収》	39	人はなぜ山へ登るか《サ》	40
バラバラ落ちる野生イネ	39	ビーナッツのような豆	39
バリの市場《収》	55	被服文化《収》	40
はるかなる道	38	ヒマラヤ学誌《参》	128
バルミラヤシ	39	ヒマラヤ、カラコルムを写す	36
パン	47	ヒマラヤ 雑（計画書）《オ》	82
	55	ヒマラヤ植物雑記 1952《オ》	75
パンガード《収》	60	ヒマラヤ植物の馴化	42
パンコムギの秘密	39	ヒマラヤ探検《研》	102
半栽培という段階	47	ヒマラヤ地図類《参》	128
半栽培という段階について	51	ヒマラヤとその周辺：討論会第三部	30
半栽培とシベリア・ルートとツブ酒	33	ヒマラヤと日本人	39
半自然	46	ヒマラヤにおける在来和紙の製造原料植物について	41
晩秋のブナ林：奥只見の紅葉	65	ヒマラヤにかおる野生のバラ	39
パンの味メシの味	40	ヒマラヤに日本文明の源流を見た：アジア“照葉樹林文化”地帯を歩いた半生	67
パンノキ	55	ヒマラヤに魅せられた夫妻	53
パンの木のはんらん	39	ヒマラヤの青いケシ	52
パンの道《研》	109	ヒマラヤの奥深く	39
万有百科大事典 10《収》	30	ヒマラヤの奥深く《研》	89
ひ 非稲作から稲作へ	33	ヒマラヤのカランセ	43
比叡山《サ》	41	ヒマラヤの京都	40
日かげの谷	37	ヒマラヤの結婚式	39
東アジアの酒	61	ヒマラヤの高山植物	38

# タイトル索引

ヒマラヤの高山植物の生態 《サ》	36	広島調査チャート 《研》	116
ヒマラヤの酒	56		
ヒマラヤの自然保護私見	②63	ふ	
ヒマラヤの自然を見る	36	フィジー航海 1981-1982 《オ》	70
ヒマラヤのシャクナゲ	37	フィジーレポート 《研》	109
ヒマラヤのシャクナゲ 《研》	88	フィールドノート論	56
ヒマラヤの情趣タージリン	45	フィールド・ワークの記録 3 《収》	26
ヒマラヤの植物	28	風車にいどんだ私 《サ》	41
	35	風土と農耕文化 《研》	107
	40	福音の旅 《研》	102
	43	限地	37
ヒマラヤの植物 《研》	107	複写文献 《オ》	72
ヒマラヤの植物帯	38	武家文化、名花生む	67
ヒマラヤの生物	28	不思議なシコクビエ	39
ヒマラヤの蕎麦：ブータン王国に招かれて	37	藤谷淳之介君の憶いで	61
ヒマラヤの動物たち	62	富士竹類植物園報告 《収》	68
ヒマラヤの花	37	フジマーケティング・レポート食品シリーズ 《収》	60
	39	府大教授時代の職務に関するもの 《研》	117
	40	府大山岳部台湾遠征報告 《参》	128
	41	府大スラウエシ（セレバス）農業調査計画資料 《研》	112
ヒマラヤの花 《オ》	70	府大生物研究会（顧問） 《参》	121
	71	府大東北ネパール調査隊 昆虫目録ほか 《オ》	72
ヒマラヤの花 《研》	84	ブータン	29
	95		30
ヒマラヤの花：Living Himalayan Flowers	25		60
ヒマラヤの香	40	ブータン 《研》	114
ヒマラヤの香の花	36	ブータン 《参》	129
ヒマラヤの人と自然 《研》	117	ブータン 1958 《オ》	73
ヒマラヤのプリムラ	56		76
ヒマラヤの本	46	ブータン 1981 《オ》	70
ヒマラヤの屋根	37	ブータン王国に招かれて 《サ》	37
ヒマラヤの蘭	38	龍国（ブータン）王に招かれて	37
ヒマラヤのロードデンドロン	42	ブータン覚え書	43
	51	ブータン課題抱える歩み 《サ》	56
ヒマラヤへの道	40	ブータン関係の通信文 《研》	118
ヒマラヤミツマタの染色体数	42	ブータン関連 《参》	129
ヒマラヤ名香全集 《収》	43	ブータン国の風俗	40
ヒマラヤを越えながら連ぶ	39	ブータン雇人探検 《研》	112
肥満と文明 《研》	106	ブータン西北の旅：タカコンのことなど	37
氷河期の足あと	37	ブータンツアー資料 《研》	111
「氷河と砂漠の果てに」解説 《研》	110	ブータンに関する文献 《参》	129
ヒョウタンの思い出	44	ブータンのイラクサ布	47
ヒョウタンの旅	63	ブータンのグリーティングカード 《参》	130
清白地衣のはなし 《研》	90	ブータンの香壺	44
開かれたブータン・ヒマラヤ	63	ブータンの相籠歌 《参》	129
ひらけゆく電気 《収》	59	ブータンの旅	37
ピラミッドをつくったムギ	39	ブータンの花：Flowers of Bhutan	26
ヒルマ学術探検計画資料 《研》	98	ブータンの花 (1) 《研》	84
広島（書込みあり） 《研》	115	ブータンの花 (2) 《研》	84
		ブータンの山山	38

ブータン旅行記 《研》	8 8	北鮮 1940, 樺太 1940-1941 《オ》	7 3
ブータンを旅して	3 7	北部大興安嶺幻影 1942 《オ》	7 3
フッカー・シッキムのシャクナゲ 《オ》	7 2	北滿に似た植物	3 8
フッカー・ヒマラヤン プランツ 《オ》	7 2	榎高・木曾駒 1935-1937 《オ》	7 3
船岡公園	6 0	北極探検 《研》	1 0 2
ブナ林早春誌	6 5	北方からの農耕文化	4 4
冬休み朝日科学教室第12回 地球と人類の歴史 《収》	3 1	ボナベ島 1941 《オ》	7 3
ブルーボックス 556 《収》	3 3	ボナベ島の食用植物 《研》	8 9
不老長生の国・フンザ	4 1	ボナベ島のヤムのパン	4 6
文化財としての遺伝資源	4 9	骨つらなひ：蒙古族の奇習	3 5
文化財としての遺伝資源 《研》	1 0 4	本 《収》	5 4
文化的にみた医学：照葉樹林文化との関連	6 1	盆栽 1979- 《オ》	7 2
文化としての酪農	5 3	本多勝一シリーズ 《収》	3 2
文化と花	4 2	本多勝一を解説する 《収》	6 7
文化とヒトの進化に関する接点 《研》	1 0 1	ホンマに好き勝手にやってきた	6 0
文化の秘境	3 9		
文化を生んだ栽培植物	5 2	ま 埋土醗酵加工法	6 2
文芸春秋 《収》	3 8		6 3
	3 9	毎日グラフ 《参》	1 2 7
	4 1	毎日グラフ 《収》	3 7
	4 2	毎日新聞 《収》	③ 3 6
	4 6		② 3 7
	6 0		③ 3 8
文献リストカード 《研》	1 0 5		3 9
文明人が生肉を食べる時代に...	6 3		4 1
文明のクロスロード Museum Kyushu 《収》	5 6		4 5
文明の母胎となった農耕文化	3 1		② 4 6
分類の発想：思考のルールをつくる	2 6		4 7
	6 7		④ 4 9
分類の発想 (1) 《研》	8 5		5 7
分類の発想 (2) 《研》	8 5		6 0
分類の発想 (3) 《研》	8 5		6 3
分類の発想 (4) 《研》	8 5	マイホームの木と草	5 1
分類の論理	5 1	まかないの文化：調理と調理の場	5 9
分類の論理 《研》	8 7	牧野植物図鑑：小学生の時の決定的な出遇い	4 9
	9 2	まだない世界の有用植物誌	4 4
		マチャンの中の恋	3 7
へ 米穀一万年貯蔵のすずめ	5 6	マードック・アフリカ 《オ》	7 2
米食民族の食生活	5 5	マトン料理は草原の香り	6 7
ベチユニアとシロイヌナズナのγ線感受性	4 3	マナスル 《オ》	7 0
編集用白黒高山植物写真 《オ》	7 1	マナスル (1952-1953) 関係の通信文 《研》	1 1 7
へんな制度	4 0	マナスル1953年科学班の旅	3 6
		マナスル登山隊科学班ルート1953 《研》	1 1 4
ほ 冒険とは	4 3	マナスル登山によせて：ヒマラヤの高山植物の生態	3 6
嶺南 《収》	5 7	マナスル, マナスル科学班 《研》	1 1 3
豊富だった古代のメニュー 《サ》	3 3	まほろしの山	3 7
ポエカ 《収》	5 1	マミヤクラブ 《収》	3 6
ホカホカ飯とスカスカ豆腐	5 3	豆	4 7
ポカラ	4 0		5 5

タイトル索引

マメの国インド	39
マメの料理文化	58
マメのローカル性	47
豆を食べる《研》	107
マラソンのひみつ	39
マングローブとサキシマスオウ《サ》	65
マントウからバケツまで《研》	107
万葉の世界の植物《研》	90
-----	
み 三重・滋賀《研》	115
水越武写真集《サ》	67
ミスター・ラクスム	38
ミタンという牛	37
みちくさ《研》	90
密林	37
緑と人間	59
緑なすアルプの彼方の白い峰々	63
南太平洋 1981《オ》	70
南太平洋の根栽農耕文化	54
南日本新聞《収》	55
	57
	64
	65
真面関係《参》	121
未発表原稿 1《研》	90
未発表原稿 2《研》	90
明星食品30年の歩み《収》	63
魅惑の栽培植物《研》	107
民族学研究《参》	132
民族学研究《収》	62
民族学研究《収》	64
民族学者として出会ったことども	62
民族植物学一般《研》	95
民族植物学と文化複合	34
	67
民族植物学の体系《サ》	64
民族と植物学	41
民族と肉食	58
民族・農耕文化・主食	58
民族の感情	37
民族の基層文化《サ》	53
民博通信《収》	52
	56
	62
	66
-----	
む ムギ	55
麦	37
ムギ関連《参》	123
-----	
麦関連《研》	92
ムギ食の成立	58
ムギと雑草	39
ムギとパンのふるさと：地中海農耕文化	54
麦に関する原稿《研》	86
ムギの文化《収》	②58
麦《文蔵》《オ》	72
麦類試験成績書概要1960年度《参》	124
ムギ類と古代国家	61
無限大《参》	132
無限大《収》	55
無償の満足：人はなぜ山へ登るか	40
霧氷舞い散るカラマツ林：信州	66
紫野	67
室町期：下剋上と地方の萌代	55
-----	
め 名月や……	42
名刺ファイル《研》	120
名簿《参》	131
飯を炊く《研》	107
メモ一般、スケジュール表《研》	120
めんづくり味づくり：明星食品30年の歩み《収》	63
-----	
も 蒙古族の奇習《サ》	35
蒙古のマント：漂白地衣のはなし《研》	90
糯大麦について	35
糯大麦について《研》	86
モチ性デンプン	55
モチとウルチ	48
モーニングテイク《研》	108
モノ誕生「いまの生活」《収》	67
森造一対談集《収》	33
門外漢の古典	64
モンキー《収》	37
モンゴルにまほろしの大牧場：風車にいどんだ私	41
モンゴールの羊肉料理	46
文部省科学研究費補助金関連(1)《研》	98
-----	
や 焼畑・出作りと焼畑経営の技術《参》	122
焼畑の文化	46
薬剤による禾穀類の集団交雑法の研究(予報)	41
屋久杉夢幻	65
藜草はなぜ育ちにくい	47
ヤクの牧人たち	37
ヤクも食べぬワラビの芽	39
野菜	47
	55
野菜食いの国	48
野菜・果物《収》	58



## タイトル索引

レブチャ族	38
レーベットというお茶	39
ろ	
狼林山脈《研》	87
録音テープ《オ》	81
ロータリー《収》	62
	63
ロードデンドロンの4群の分布《研》	104
ロードデンドロンの原種の分布と環境	50
論文目録(一部)《研》	98
わ	
ワインとチーズ	64
若い探検隊《研》	102
若奥さんがんばる	39
わが学術探検の楽しみ	48
わが思索わが風土	45
わが思索わが風土《収》	30
わが農耕文化論《研》	109
わが文明論的人口・食糧論	55
	67
私たちの風景 4, 中尾佐助 上	49
私たちの風景 5, 中尾佐助 中	49
私たちの風景 6, 中尾佐助 下	49
私とササユリ	52
私の研究	43
私の三冊	64
私の好きな旅行家と旅行記	38
わたしの探検《研》	108
私の秘密《研》	109
私のラバさんのイモ	39
私の冷凍食生活	65

## あとがき

京都の中尾佐助先生のお宅に、保田淑郎先生に従って当時の河毛情報管理班長と下見に伺ったのは、平成6年3月末のことであった。数日後、その資料類が当総合情報センターに運び込まれ、300もの段ボール箱が山積みされた状況に、改めて畏れを感じたのであった。

とりあえず大きく資料種別に分けたうえで3年計画をたてた。1年目の平成6年度には、中尾先生旧蔵の和洋図書3500冊(重複本も全て受入れた)、雑誌60タイトルを本学図書館システムに登録し、総合情報センターに中尾佐助コーナーを開設して利用に供せる環境を整備することができた。一方夏休み中の暑いさなか、保田先生はご多忙の時間を割いて私たちを指揮しながら汗だくの作業に身を挺してくださった。この折、1962年の中尾先生を隊長とする大阪府立大学東北ネパール学術調査隊の様などを興味深く聞かせていただき、照葉樹林文化論創唱の貴重な原資料に携わらせていただく巡りあわせを有難いことと受けとめた。

同年12月に開催された中尾佐助コレクション展は、これらの資料類を使って中尾先生の様々なご活躍の場面がイメージ化できればと考えた。かたちができるかどうか、責任の重大さに不安と緊張を覚えた反面、ルーチン・ワークでは味わうことのできない新鮮な体験であった。照葉樹林文化論と中尾佐助先生への関心は高く、一級の資料が放つ魅力は、參觀された多くの方々に感動をもたらした。また、中尾先生の写真や資料類にじっと見入っていらっしやった梅棹忠夫先生のお姿は、50年以上にもわたる心友に深く思いを馳せておられるようにお見受けし、ご遺族との和やかなご歓談も深く印象に残った。

2年目には、照葉樹林文化研究会と協力して『中尾佐助著述彙編』を完成した。これは、本目録の編集過程で文献を確認しながら全文をコピーし、発表年順に纏めたものである。中尾資料を基盤として活動を展開しようとする照葉樹林文化研究会が学内に発足したことを受け、中尾文献を手元で一覧できるようにした研究用の館内資料である。短期間では到底不可能にちかいと思われた膨大な作業を一つの形となし得たのは、中尾先生ご自身が、もともと資料の分類・整理を驚くほど几帳面になされていたからである。

今年度は、手稿、メモ、書類、原図等研究用資料と参照資料の整理を手がけた。分類については作業を進めながら考えざるを得ず、とりあえずの手がかりと考えている。

本目録が、照葉樹林文化論研究の一つのツールとしてご利用いただけるなら、これに勝る喜びはありません。また、本目録に収録漏れの文献や書誌的な事項に誤記があるかとも思われます。ご教示頂ければ幸いです。

この3年間、中尾佐助コレクションの整備に内外の多くの方々のお力添えをいただきましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。さらに、高校生の頃に中尾先生の著書に出会い、それゆえに大阪府立大学を選んだという総合科学部学生の歌野礼さんには、授業の合間を縫って資料整理に携わっていただき、適材の人を得た思いで心から感謝しています。

なお、この間株式会社村田製作所からの研究奨励寄付金のご支援を頂き、本目録はその成果でございます。ここに記して謝意といたします。

平成9年3月

大阪府立大学総合情報センター  
情報管理班長 山野美贊子

LIBRARY OF  
*S. Nakao*

中尾佐助蔵書印

中尾佐助文献・資料総目

— 照葉樹林文化論の源流 —

---

平成9年3月18日 発行

編集 大阪府立大学総合情報センター

発行 大阪府立大学総合情報センター

所長 金子 務

〒593 堺市学園町1番1号

TEL. 0722-52-1161代

---

印刷・装幀 あおい印刷



